

令和3年度

事業計画書

社会福祉法人 北星会

## 【基本理念・方針】

### 1. 誰もが暮らしやすい地域づくりに貢献します。

北星会は、社会的包摂の考え方を中心に置き、法人の持つあらゆる機能を活用し、共生、共助の地域づくりを推進し、誰もが安心して住み、慣れ親しんだ場所で暮らし続けられるよう地域包括ケアの一翼を担っていきます。

### 2. 地域の福祉ニーズに目を向け、新たな福祉サービスの創造に努めます。

介護保険サービスの提供だけにとどまらず、地域のニーズに目を向け、公益的な活動、介護保険外のサービスの創造に努め、利用者のニーズを満たすことができるようにさまざまな事業を展開していきます。

### 3. 北星会の職員が、感謝の念と謙虚な気持ちを忘れず、誇りと喜びをもって仕事に取り組むことにより、自己実現を果たせる職場環境をめざします。

人に生かされ、地域に生かされていることに感謝し、謙虚な気持ちで仕事に取り組みます。法人は、仕事を通じ働く人たちを生かすことを常に考えます。その中で仕事自体が社会に貢献している実感をもてる人材を育成します。

## 【長期計画】

1. 法人の活動が施設やそれぞれの事業内で完結するのではなく、家族や医療機関、地域住民、行政機関との良好な関係を維持、継続することで、地域における様々な福祉課題、生活課題に主体的に関わり、既存の制度では対応できない公益的な事項にも取り組みます。また、福祉の啓発のための情報発信、福祉教育にも取り組みます。
2. 利用者の自己決定と選択を尊重し、個人の尊厳に配慮した良質かつ安心・安全なサービスを提供するとともに、サービスの質の向上に向けた体制を構築し、生活環境や利用環境整備にも取り組みます。
3. 公益法人として、地域や行政から信頼と協力を得られるよう、積極的な情報の発信に取り組み、公益性の高い事業活動を推進することで、安定した経営基盤を構築します。また、諸規程の整備等で、法令等順守の徹底を行い、職員が安心して働ける職場づくりにつとめます。
4. 新たな基本理念を実現するため、人や地域に生かされていることを感謝しながら謙虚な気持ちで仕事に取り組む、仕事を通じて働き甲斐を持ち、社会に貢献している実感をもてる人材を育成します。

	中期計画	重点項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
1	法人の全施設事業所が連携、連動した働きを行ないます。	職種や部署毎の会議を定期的開催する。	→				
	高齢者福祉以外の事業にも積極的に取り組みます。	栗田小学校学区学童保育の受託運営。	→	→	→	→	→
	在宅での生活を支えるサービスを提供できるよう努めます。	現存のサービスと共に必要な社会資源の検討を行う。	→				
		宮津市配食サービスの受託	→	→	→	→	→
		認知症カフェの受託運営	→	→	→	→	→
	法人全体でボランティアを積極的に受け入れます。	担当職員を配置し事業展開を検討	→				
	他法人、事業所、保険者等関係機関との連携強化に努めます。	各種委員会・研修会や協議会に講師等として職員を積極的に派遣する。	→	→	→	→	→
	施設と地域が相方向で交流できる仕組み作り(災害時含)に努めます。	事業所毎に様々な形で地域との交流機会を求め。地域交流スペースの活用	→	→	→		
2	職員からの意見を聞き取れるシステム構築に努めます。	施設長と職員の面談に加え、必要に応じて法人事務局長と施設職員との面談を実施。	→	→	→	→	→
	苦情解決第三者委員会を開催します。	実施要項の改定と開催方法の検討を行う。	→	→	→	→	→
	老朽化した施設の改修等に取り組み、利用しやすい環境を整備します。	天橋園群 改修。	→				
		与謝の園 移転新築事業の検討実施。	→	→	→		
	利用者からの意見を聞き取る仕組みを整備します。	事業所ごとに行います。	→	→	→	→	→
サービス自主点検を行い、常にサービスの改善に努めます。	事業所ごとに毎年実施します。	→	→	→	→	→	
3	中長期計画を策定し、継続的な法人運営に努めます。	本部が中心となり、定期的に見直しを行う。	→	→	→	→	→
	経営状況、事業計画、事業報告等の公表をおこないます。	ホームページを用いて公表し、運営の透明性を確保する。	→				
	必要に応じ、法人規程の見直しを行ないます。	本部が中心となり、定期的に見直しを行う。	→				
	広報誌を定期的に発行し、法人の活動を広く周知します。	本部が中心となり、読みやすい広報誌発行を目指す。	→				
	安定した経営基盤を構築します。	介護報酬改定に対応出来る様に法人全体での協力支援体制を検討します。	→				
4	“基本理念”職員に浸透するよう努めます。	理事長から職員への説明の機会を設ける。	→	→	→	→	→
	法人職員全員が法人の基本理念や方針を理解して業務を行ないます。						
	全職員が職責に応じた研修を受講できるシステムを構築します。	各事業所での研修に加え、zoomを用いた法人全体研修を開催する。	→	→	→	→	→
	全職員が新人育成を意識する職場作りに努めます。						
	キャリアパスを再構築します。	給与規程と連動するシステムを構築する。	→	→			
	人事考課制度の効率的な運用に努めます。	評価者研修の開催。 給与システムとの連動。	→	→			
	求人及び職員異動の管理を法人本部が中心となって行います。	学卒と共に中途採用活動にも取り組み、人事交流を図りながら組織の活性化に努める。	→	→	→	→	→

## 【令和3年度 事業計画】

宮津与謝地域においては、過疎化による人口減少と少子高齢化が一層進行する中で、高齢者の単身世帯や老夫婦世帯の増加に加え、認知症の人の増加も見込まれています。こうした状況の中で介護サービスのニーズの増加と多様化が想定され、今後ますます地域包括ケアシステム、特に「医療」と「介護」の連携を進める上で各施設・事業所間の横のつながりを重視し、法人一体となったサービスの提供が求められています。こうした法人間の連携強化を進める為に、風通しのよい組織化と働きやすい職場環境の整備に努めていきます。

北星会の職員構成については高齢化が進み、平均年齢が49歳、職員の半数以上が40歳代から50歳代を占め、介護を支える人材の確保も法人だけでなくこの地域の今後の大きな課題となっており、地域全体で他法人と共に取り組むことが求められています。

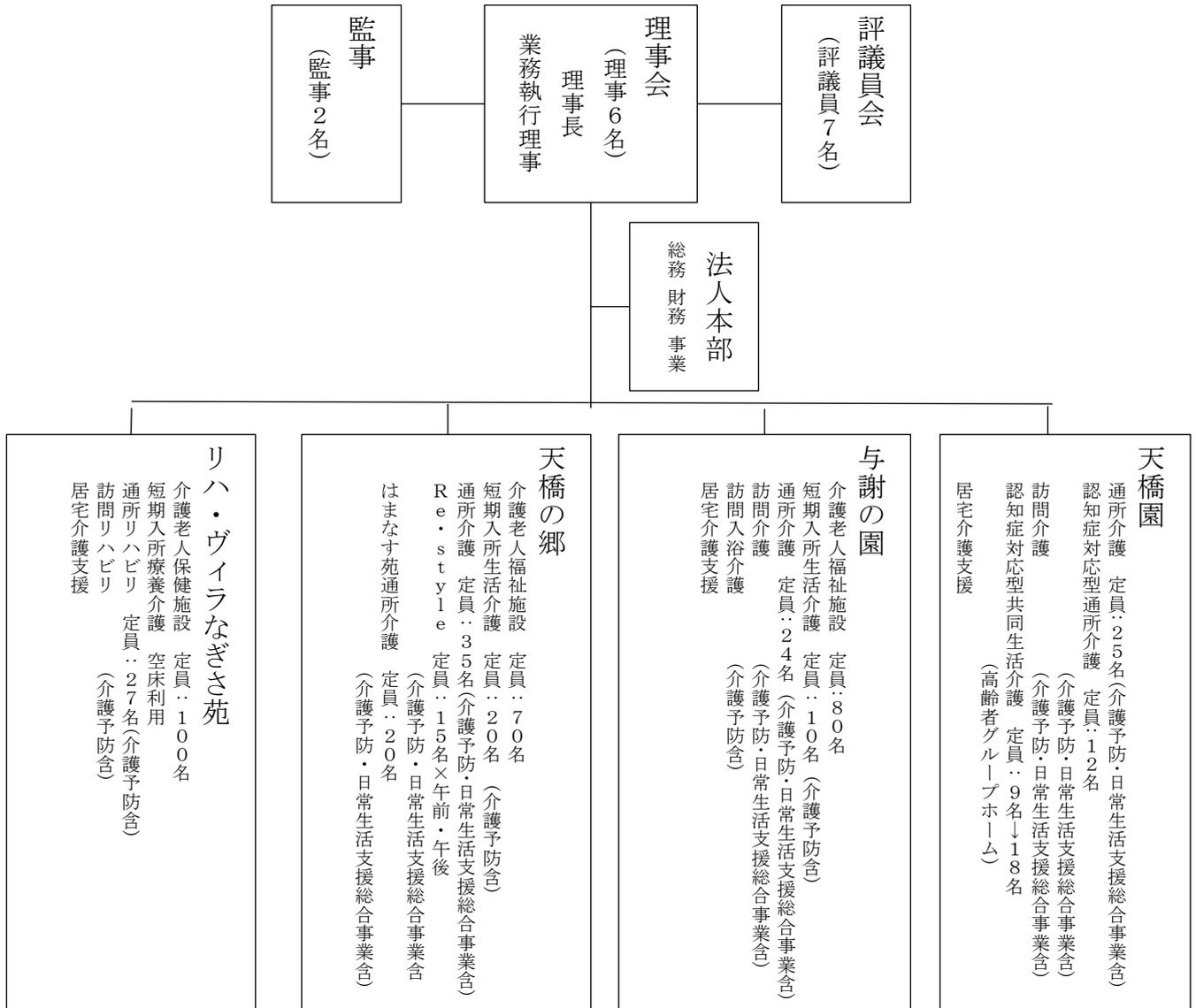
また、令和2年1月、国内で初めて感染者が確認された新型コロナウイルスはその後、瞬く間に国内だけでなく全世界中に感染拡大をもたらし、これまでの日常的に過ごすことが出来た生活が制限され、常に感染拡大に怯えながら過ごす毎日となり、この一年で生活様式は大きく様変わりしてきています。

こうした状況下において、地域で複雑かつ多様化する福祉ニーズに対応し、法人の信頼性向上と地域の方から選ばれ、職員が誇りを持って働ける事業の展開を目指します。

### ○今年度の重点項目

- ・天橋園の改修後の事業展開について検討実施
- ・与謝の園 移転・新築計画の検討実施
- ・働き方改革の理念・キャリアパスに沿った職員給与体系及び諸手当の見直し
- ・北星会全体の災害対策マニュアルの作成に向けて検討(感染症対策も含め)
- ・吉岡均二名誉理事長の遺贈を受け、活用方法について検討

【組織図】



## 法人本部 事業計画書

### 【重点目標】

- 天橋園の改修後の地域交流スペースの活用を含めた地域への取り組み事業の検討
- 与謝の園 移転・新築事業への協力支援
- リクルート活動の強化（若手職員及び中途採用活動の強化）
- 法人本部事務局の機能と役割の検討（職員給与体系及び諸手当の見直し）

### 【令和3年度事業計画】

法人本部各課が各々の働きをたかめる事で各事業所の運営を支援し、法人の能力を引き出す事により重点目標の達成に努める。

これまでに法人が取り組んできた諸課題は、2015年9月の国連サミットで採択されたSDGs（持続可能な開発目標）と関連するものであり、SDGsの17ゴールの中から、主に私たちの事業と関連が深く注力すべき項目の施策を通して、社会課題の解決を支援し持続可能な世界を実現するため、SDGs目標達成に努める。

#### ○ 総務課

令和2年度は、法人本部で一元化された人事・労務・給与の安定した業務遂行と、引き続き人材確保に向けた各種就職説明会の出展・広報活動・他法人との連携による福祉業界育成事業を進めてきました。

令和3年度はそれらを更に具体化することで、確実に実践し、法人本部の重点目標が達成できるよう努めます。

#### 1. 人事・採用・労務・給与関係

- ① 労務管理における各種申請を効率的に行えるように、社会保険の他税務についても、電子申請ができる体制づくりについて検討します。
- ② 時間外労働の上限規制、一定日数の年次有給休暇の確実な取得等、働き方改革の取り組み事項に的確に対応していきます。
- ③ 就職情報サイトへの掲載や就職フェアへの参加、実習及びインターンシップの受け入れにより、職員採用に繋がるようにします。
- ④ 京都府北部地域における福祉人材確保を、近隣他法人との連携により戦略的に検討します。
- ⑤ 福祉人材養成校からの資格取得に係る定期的な実習の受け入れを検討・実施し、地域における人材育成に貢献します。

#### 2. 広報活動の充実

- ① 広報誌「きらめき」の発行や、法人パンフレットの作成（事業紹介用・求職者用）により、地域の方や求職者に法人の魅力が伝わるように工夫し、法人の取り組みについて広く知ってもらえるようにします。
- ② 法人が求める人材を獲得するために、採用のための広報活動（ホームページの管理・運営、SNSを活用した求人情報のPR等）を行っていきます。

### 3. 規則規程関係の整備

- ① 働き方改革（同一労働同一賃金ルールにのっとった賃金制度の見直し）、女性活躍推進等、国が推し進める政策に対応できるよう、就業規則等現状の規則・規程を精査し、必要な整備を行っていきます。

### 4. 消耗品等一括購入等効率的な費用管理

- ① 各施設での物品購入にかかるコストを下げるために、購入先を集約する等、仕入れ価格を検討します。
- ② 各種契約関係の内容を精査し、再見積り合わせ等により価格を見直します。

### 5. 与謝の園移転・新築に係る各種手続き

- ① 与謝の園移転・新築に必要な補助金申請・各種届出等、計画がスムーズに進められるよう必要な事務手続きを行います。

### 6. 法人本部事務局の機能と役割の検討

- ① 各拠点の事務負担軽減に繋がる新たな本部業務の取り組みについて、具体的に検討し、スムーズな移行を行っていきます。
- ② 安定した法人経営のための組織体系について、本部事務局の役割を踏まえたうえで、検討を行います。

### 7. 法人内文書の書式統一を検討

- ① 拠点ごとに存在する報告書による書式や承認フローを統一し、業務改善についてペーパーレス化・ハンコの省略も含め検討を行います。

## ○ 財務課

昨年度は総合在宅支援天橋園の整備事業に係る資金調達、会計処理、取得財産の管理等、財務上必要な業務に取り組みました。

今後は、与謝の園移転・新築事業が実施に向けて本格化する中、資金計画等財務面において建設準備室と連携しサポートするとともに、現存施設の老朽化に伴う設備等の修繕・更新費用についても必要な措置を講じていきます。

今後さらに厳しい施設経営が予測される中、事業規模に応じた適正な収支管理ができるよう、下記の項目に取り組みます。

### 1. 会計処理業務等の見直し

社会福祉法人会計基準に則った正確な会計処理業務を行うとともに、各拠点での処理の均一化、効率の良い事務体制の構築を目的に以下の事項に取り組みます。

- ① 本部と各拠点が連携した事務集中化の検討協議
- ② 現状に即した経理規程の見直し
- ③ 会計処理方法に係る手順書・マニュアル等の作成

## 2. 計画的な資産管理

将来における施設設備の修繕・更新費用の予測、また各拠点が所有する資金の有効活用とその基準策定について以下の事項に取り組みます。

- ① 将来必要な大規模修繕・更新費用の試算
- ② 積立資産計上についての基準の検討
- ③ 資金運用規程等の運用基準の検討

## 3. 与謝の園移転・新築事業に係る資金計画

現在計画中の与謝の園移転・新築事業の資金計画について、建設準備室と連携し、以下の事項に取り組みます。

- ① 補助金・借入金等、必要な財源の調整
- ② 事業計画に基づいた事業収支スケジュールの策定
- ③ 基本財産等重要な財産に係る会計処理

## ○ 事業課

令和3年度 事業課では、以下の事業を行っていきます。

1. 北星会における公益的な取組事業
2. 与謝の園建替え事業
3. 栗田のびのび放課後児童クラブ事業
4. 配食サービス事業
5. 北星会サービス会議事業
6. 北星会法人研修事業

### 1. 北星会における公益的な取組事業

平成28年改正社会福祉法において、社会福祉法人の公益性・非営利性を踏まえ、法人の本旨から導かれる本来の役割を明確化するため、「地域における公益的な取組」の実施に関する責務規定が創設されました。北星会においても「地域における公益的な取組」を積極的に行っていく必要があると思われまます。法人本部事業課では、公益的な取組を法人全体として行っていくようにしていきたいと思っております。

#### ① 北星会各拠点での地域における公益的な取組状況の把握とサポート

各拠点において以前より行われている公益的な取組状況の把握を行い、必要なサポートを法人本部が行っていきます。

#### ② 公益的な取組（案）

- ・認知症カフェの開催

- ・介護教室、健康教室、ヨガ教室、災害避難所、独居高齢者支援、子育てママサロンなど
- ・ワークショップ（もの作り、手芸、料理など）趣味活動（手芸、囲碁、将棋、パソコン、カメラ、絵画、ちぎり絵、生け花など）イベント（フリーマーケット、お祭り）
- ・コミュニティカフェ、〇〇食堂
- ・その他 映画上映会、会議、会合、研修、学生の自習スペース、災害時の避難スペースなど
- ・買い物支援、送迎サービス

### ③（仮称）北星会公益的な取組検討委員会の開催（2か月に1回）

各拠点より地域における公益的な取組に対するニーズをひろいあげ、法人としての取組を検討していく委員会を行っていきます。

※ 現在、新型コロナウイルスの発生が全国的に深刻な状況となっております。人との距離をとるソーシャルディスタンスをはかる事が必要になると、交流するような事業が実施できるかどうかは、その時の感染状況によって検討が必要となる可能性が十分に考えられます。

## 2. 与謝の園移転・新築事業

施設の老朽化に伴い、令和5年度に移転・新築を行う予定です。事業課としては、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、少人数であっても質の高いサービスを提供できる効率性の高い業務体制を構築し、事業継続可能な施設となるように以下の事を中心に支援していきたいと考えています。

- ① ICT、AI、ロボット等の導入
- ② Wi-Fi 環境の整備
- ③ インターフェースの改善

※DX・・・データとデジタル技術を活用して、サービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務や、組織、プロセス、企業文化を変革し、競争上の優位性を確立すること。

※インターフェース・・・異なる種類のものを結びつける。機器と機器の接点となっている部分を改善することで、作業効率をアップさせようという意味です。

## 3. 栗田のびのび放課後児童クラブ事業

栗田のびのび放課後児童クラブは、宮津市の事業委託を受け、今年度で3年目を迎えます。利用する児童にとって家庭、学校以外で心のよりどころとなるような場所として、放課後支援員と北星会とが協力して事業を行っております。今年度は、以下の点について、重点的に事業を行っていきたいと思います。

### ① 学校、保護者との連携

学校の先生、保護者と情報を共有しながら児童に対する指導や助言を行うにあたっての共通認識を高めるようにします。

### ② 児童クラブでの過ごし方のバリエーションを増やす。

今までは、児童の主体性にまかせて時間を過ごすようにしていましたが、それぞれ

の特性や、興味などを考慮した遊びや学習が提供できるように、制作活動などにも力を入れたいと思います。

③ 福祉施設や高齢者との交流

コロナ禍で今後状況が不透明ですが、北星会が主体となって事業を行っておりますので、施設やサービスを利用するご利用者と児童クラブの児童が交流できる事ができればと考えております。

4. 配食サービス事業

現在、土曜日、日曜日に栗田地区 8 名、由良地区 12 名の方に配食サービスを行っております。栗田、由良地区ともにスーパーや食料品店がほとんどない地域となっておりますので、今後も継続が必要な事業となっております。法人の行う公益的な取組と組み合わせる事ができれば、さらに法人として地域に貢献できると考えています。

5. 北星会サービス会議事業

現在、北星会の各サービス事業の担当者に年 2 回の連絡会議を開催して意見交換を行っているところです。令和 2 年度はコロナ禍において、Zoom を使用した会議により感染症対策を実施いたしました。また、移動時間の負担を減らすこともできました。今年度は、各サービスだけでなく、職種間の交流事業やサービス事業状況の確認を行い、各拠点の管理者と連携して収益、サービス向上に向けた支援を継続していきたいと思っております。

6. 法人研修計画

職員の資質向上、人材育成を目的に法人で研修を行いたいと考えております。研修内容は以下のものを予定しています。

※ 基本的には、法人本部で研修を行う形をとりますが、新型コロナウイルス感染症の発生状況を踏まえて、Zoom を使用したリモート研修へ変更を検討する必要があると思われます。

- ① 新入職員研修
- ② リーダーシップ研修
- ③ 感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
- ④ 人権の擁護及び虐待防止に関する研修
- ⑤ 身体拘束の排除の為の取組に関する研修
- ⑥ 認知症及び認知症ケアに関する研修
- ⑦ 事故発生又は再発防止に関する研修
- ⑧ 財務管理者研修

# 総合在宅支援 天橋園 事業計画書

## 【施設理念】

ご利用者とご家族の願いが叶えられるように、私たちは学び、共に歩みます。

## 【基本方針 重点項目】

### ■基本方針

「介護が必要になってもこの丹後の地で暮らし続けることが出来る様に」と願う住民の声が、天橋園の開設に結びつきました。急速な人口の減少と高齢化が進む丹後地域においては、生活の状況や介護サービスのニーズも日々変わってきています。天橋園開設時の住民の願いを守る為にも、令和2年12月には「総合在宅支援 天橋園」が竣工し、北星会・天橋園の各事業所・職種が連携を強めながら、介護が必要になってもこの地で暮らし続けることが出来る様に地域包括ケアシステムの一翼を担うように努めていきます。

### ■重点項目

リニューアルオープンしました「総合在宅支援 天橋園」は、今後の天橋園拠点区分内の事業展開については、認知症介護に重点を置きながら基本方針を遂行します。また、恵まれた立地条件を有効に活用し、地域住民の方に身近な法人・事業所として地域交流に努めていきます。

## 【中長期目標】

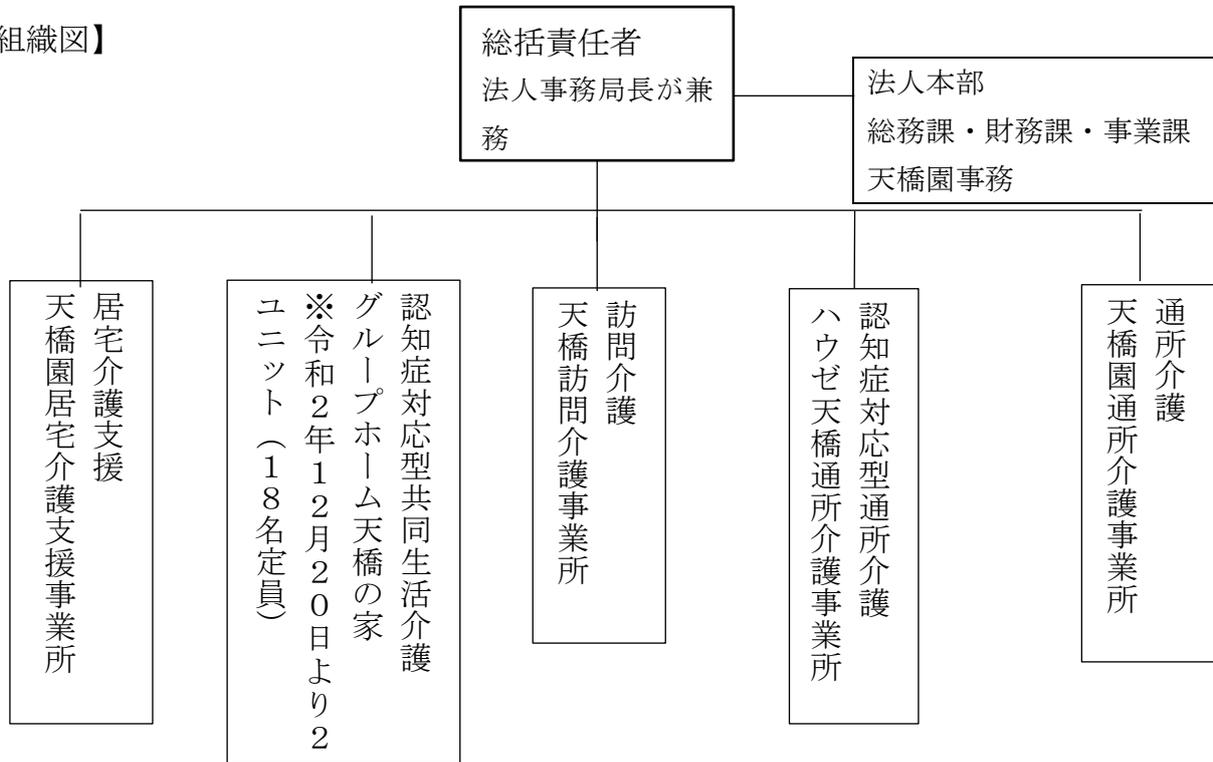
高齢者の単身世帯や夫婦のみの世帯が増加するこの地域に必要なサービスを提供する宮津市・北星会の各施設・事業所と共に考え、地域包括ケアシステムの一翼を担うように、天橋園拠点区分内の各事業を進めていきます。

## 【今年度目標】

新型コロナ禍で感染予防に努めながら高齢者の生活を支える為に、サービスの提供に務めます。また、令和3年4月の介護報酬改定による加算算定要件となる※「科学的介護推進体制加算」について検討し、算定可能となるように取り組みます。※「科学的介護推進体制」とは、介護関連データベースによる情報の収集・分析、現場へのフィードバックを通して、科学的裏付けに基づく介護の普及・実践を図る。

- ①効率よくサービスが提供できるように事業展開については、デイサービスと認知症デイサービスの業務内容については可能な業務から共に進めていきます。
- ②各事業においても認知症ケアについて見直し、より良質なサービスの提供や地域住民への認知症の理解と支援の広がりを目指していきます。
- ③天橋園拠点区分内においては本部業務と天橋園の事務について有効に効率良く業務が遂行できるように順次検討し進めていきます。

【組織図】



【事業計画】

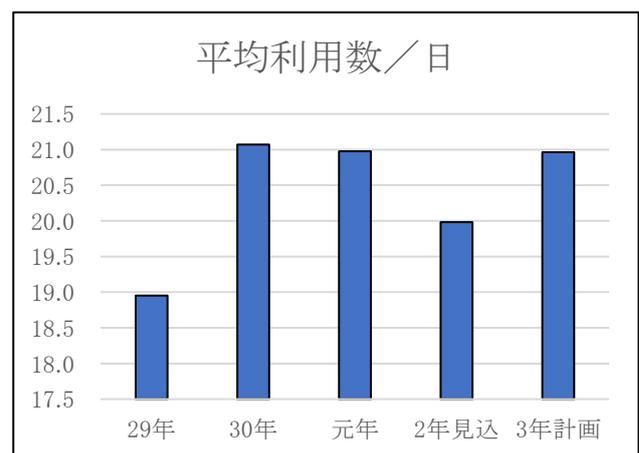
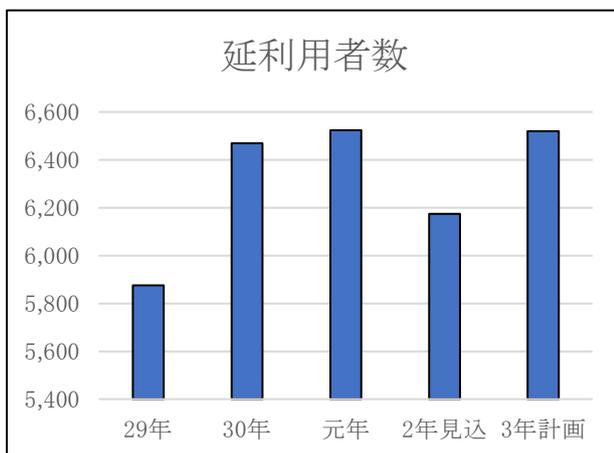
1. 通所介護及び介護予防・日常生活支援総合事業

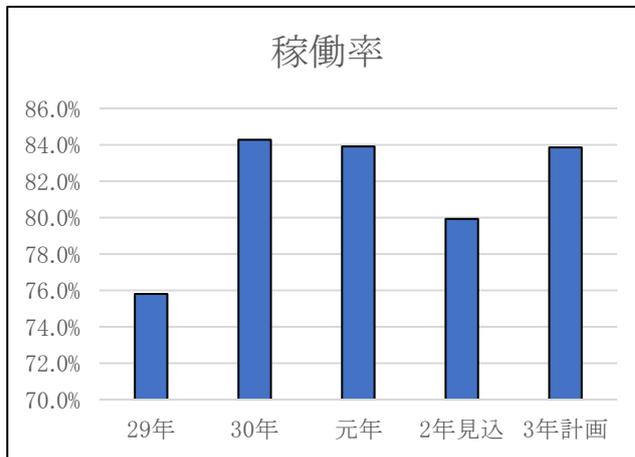
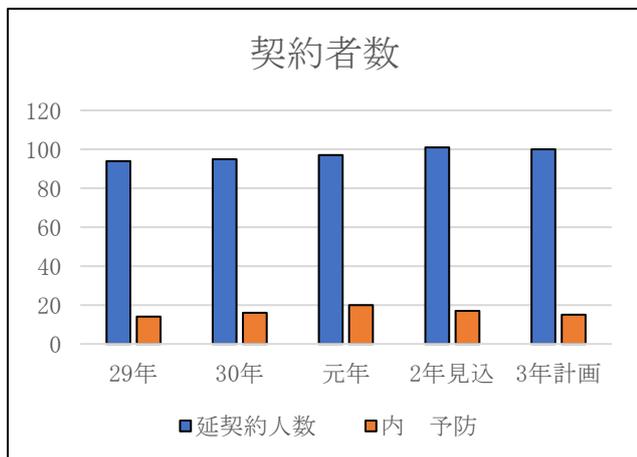
●天橋園通所介護事業所

(1) 令和3年度計画

<稼働率> (利用定員：25名)

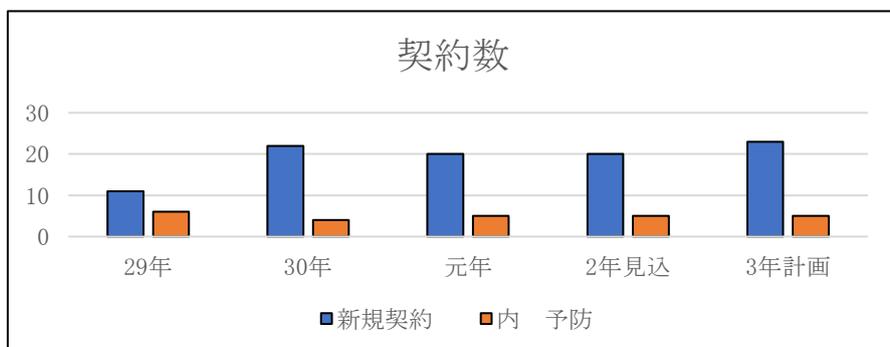
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	310日	307日	311日	309日	311日
延利用定員	7,750人	7,675人	7,775人	7,725人	7,775人
延契約人数	94人	95人	97人	101人	100人
内 予防	14人	16人	20人	17人	15人
延利用者数	5,875人	6,469人	6,524人	6,175人	6,520人
平均利用数／日	19.0人	21.1人	21.0人	20.0人	21.0人
稼働率	75.8%	84.3%	83.9%	79.9%	83.9%
平均介護度	1.7	1.8	1.8	1.8	2.0





<契約>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規契約	22人	20人	20人	20人	23人
内 予防	5人	6人	4人	5人	5人



(2) サービス内容

i 全体

新施設となり、ハウゼ天橋と共に円滑なサービスが提供できるよう協力しながら取り組んでいきます。

「目配り・気配り・心配りの出来る職員であれ」を当事業所の運営方針とし、ご利用者が安心して在宅生活を継続出来るようご家族や関係諸機関との連携を密にし、ご利用者・ご家族の思いを大切にしながら自立支援を基本に、質の高いサービス提供ができるよう職員一同努力します。

- 常に傾聴に心掛けてコミュニケーションをはかる事により、ご利用者の孤立感や焦燥感の軽減につながるよう「かたわらにいる」ことを大切にします。
- ご利用者の健康管理、衛生管理に配慮し、口腔疾患・誤嚥性肺炎等の感染症予防の為に昼食後の口腔清浄を継続すると共にご家族への助言も継続していきます。

ii 介護予防・日常生活支援総合事業

今までのサービスに加え更に柔軟なサービス提供ができるようご利用者・ご家族の思いを確認しながら職員一同支援していきます。

- ご利用者の安全面に配慮しながら運動機能の維持や認知症予防の為のプログラムを楽しみながら参加していただけるよう提供していきます。
- 「作る楽しさ」「学ぶ楽しさ」等、意欲を引き出す工夫をすることにより、ご利用者が自主性を持って参加していただけるよう支援します。
- アセスメントにより課題を見つけ改善していく事により「その人らしい暮らし」を少しでも長く続けていただけるよう自立に向けて支援します。

・年間計画

利用定員の空きが見込まれる場合はケアマネと連絡を密にしながら利用を勧め、ハウゼ天橋と共に効率よくサービス提供が出来るように検討・準備します。

新型コロナウイルス感染症が収束後、ご利用者及びご家族を対象としたデイサービス見学会や介護教室等の開催を計画します。また、日課やサービス内容についても見直す機会を設け、日々のコミュニケーション・認知症の進行予防活動・各レクリエーション・リハビリ体操・四季の移り変わりを感じていただけるドライブや散歩等戸外活動も充実させます。

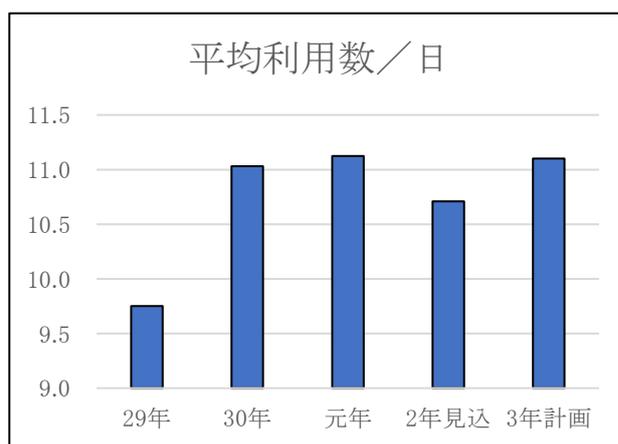
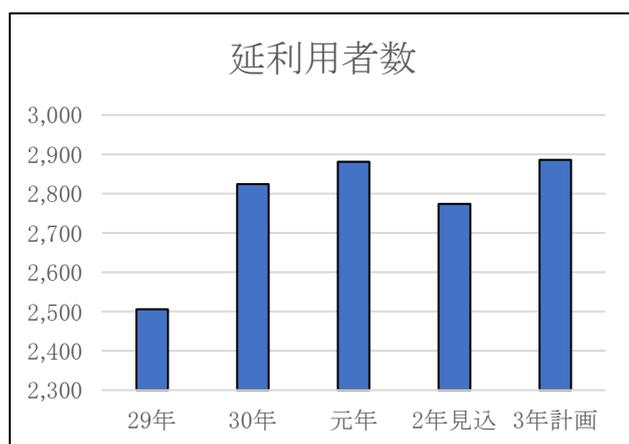
2. 認知症対応型通所介護及び介護予防

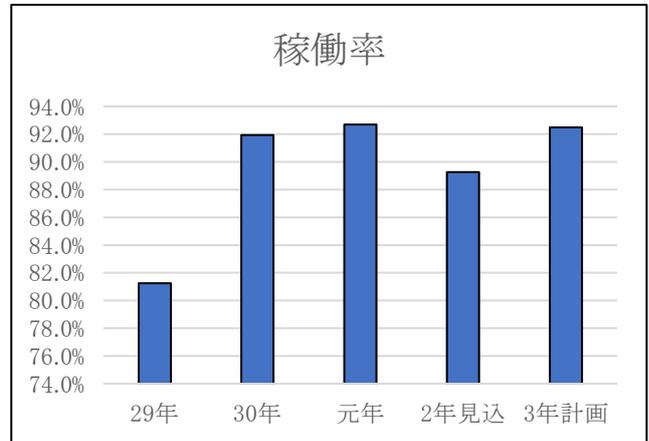
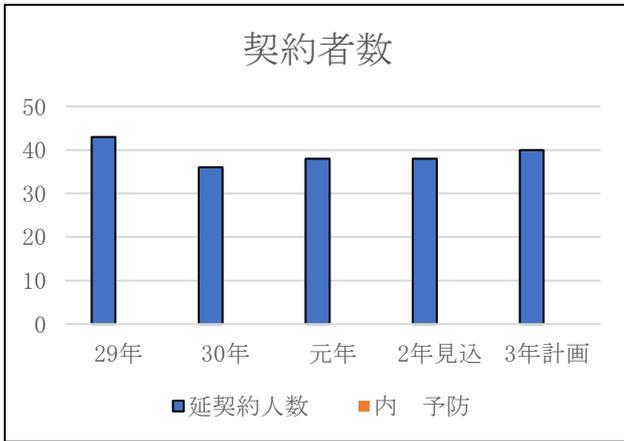
●ハウゼ天橋通所介護事業所

(1) 令和3年度計画

<稼働率> (利用定員：12名)

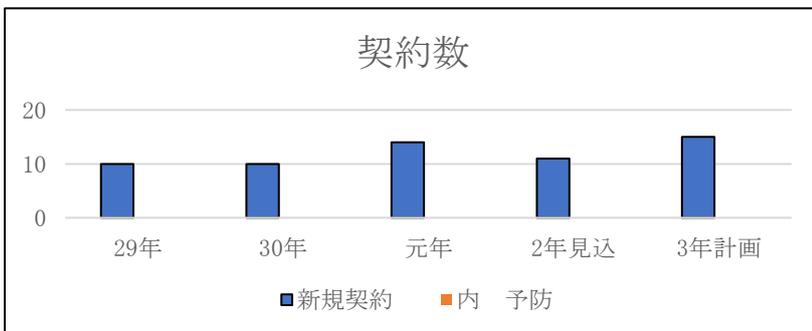
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	257日	256日	259日	259日	260日
延利用定員	3,084人	3,072人	3,108人	3,108人	3,120人
延契約人数	43人	36人	38人	38人	40人
内 予防	0人	0人	0人	0人	0人
延利用者数	2,506人	2,824人	2,881人	2,774人	2,886人
平均利用数／日	9.8人	11.0人	11.1人	10.7人	11.1人
稼働率	81.3%	91.9%	92.7%	89.3%	92.5%
平均介護度	2.7	3.0	3.2	3.1	3.2





<契約>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規契約	10人	10人	14人	11人	15人
内 予防	0人	0人	0人	0人	0人



(2) サービス内容

新しい建物でのサービス内容について、天橋園デイサービスと検討・協力していきます。

「認知症の方の自尊心の尊重と自立支援及び地域の認知症介護の起点となることを目指し、一日でも長い在宅生活の手助けができるよう努力します。」

○介護サービス

宮津市で暮らされる認知症高齢者の心身の特性を踏まえ、認知症状の緩和と心身機能の維持・社会的孤立感の解消及び介護者の介護負担の軽減を目指したサービスを提供します。

- ア ご家族・医療機関等及び各事業所・部署との連携を大切にし、家庭的な雰囲気の中でご利用者のニーズに基づき、一人ひとりに沿った各種サービス（園外活動・レクリエーション・認知症進行予防活動・生活機能向上リハビリ・口腔ケア等）や医療行為（バイタルチェック・処置・経管栄養・痰吸引等）を実施し、ご利用者が地域の中で尊厳をもちながら共生できるよう援助していきます。又、暮らしの継続や趣味・生きがいに繋がる『ドライブ外出サービス』や『買い物支援』に取り組んでいきます。
- イ 主治医や訪問看護等との連携を密にし、ご家族や民生委員・近隣の住民の方の協力を得ながら、1日でも長い在宅生活の手助けをしていきます。
- ウ 職員の資質・専門性向上を図る為、日々の業務内での記録の量を増やすことに心掛け、研修会・学習会等への参加を積極的にしていきます。又、業務外での

自己研鑽にも励みます。

○介護予防サービス

対象者の状況を考慮し、利用について関係機関と調整します。

・年間計画

天橋園デイと共に効率よくサービス提供が出来るように検討・協力していきます。

4～11月の間は平均利用者数11人以上を目標とします。冬季(12～3月)は感染症や介護老人保健施設への入所により稼働率がどうしても下がるので10人以上を目標にし、要介護度の高い方の受け入れや複数回利用を積極的に勧めていきます。また、ご利用者の体調や認知症の状態に合わせ提供時間等の柔軟な対応に努めます。

新しい施設になり環境が大きく変わりました。ご利用者の不安感を少しでも軽減し気分よく過ごしていただけるよう心掛け、個人のリズムに応じた他のデイサービスにはない空間を作っていきたいと思えます。

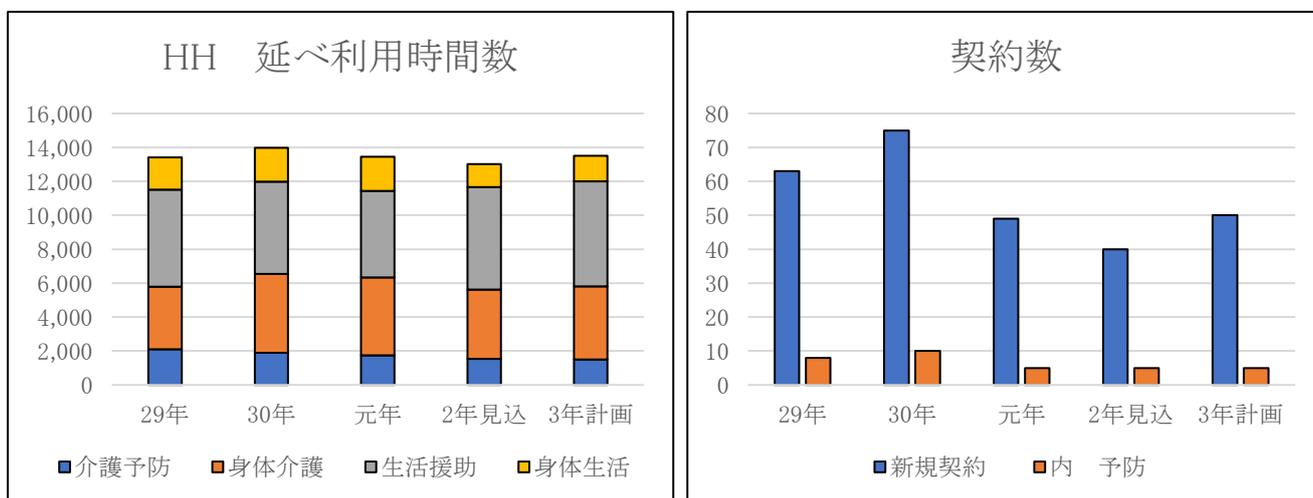
3. 訪問介護及び介護予防・日常生活支援総合事業

●天橋園訪問介護事業所

(1) 令和3年度計画

<稼働率>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	365日	365日	365日	366日	365日
職員数(常勤換算)	10.35人	10.45人	10.36人	9.81人	10.0人
延契約人数	154人	178人	194人	175人	190人
内 予防	33人	33人	33人	25人	25人
介護予防	2,099時間00分	1,895時間30分	1,736時間15分	1532時間00分	1,500時間00分
割合	15.6%	13.5%	13.0%	11.8%	11.1%
身体介護	3,694時間15分	4,649時間00分	4,609時間30分	4080時間30分	4,300時間00分
割合	27.5%	33.3%	34.0%	31.4%	31.9%
生活援助	5,712時間30分	5,437時間15分	5,093時間45分	6040時間15分	6,200時間00分
割合	42.6%	38.9%	38.0%	46.4%	45.9%
身体生活	1,915時間30分	2,000時間00分	2,011時間00分	1356時間30分	1,500時間00分
割合	14.3%	14.3%	15.0%	10.4%	11.1%
合計	13,421時間15分	13,981時間45分	13,450時間30分	13,009.時間15分	13,500時間00分
平均介護度	2.52	2.63	2.50	2.49	2.55



<契約>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規契約	63人	75人	49人	40人	50人
内 予防	8人	10人	5人	5人	5人

(2) サービス内容

「あなたの笑顔のために、<sup>ところ</sup>住み慣れた場所へやさしい心をお届けします」

事業所の運営方針に基づき、ご利用者とご家族のこれまでの生活を大切にすることに心掛け、住み慣れた場所でご利用者がその人らしい生活が継続できるよう、関係機関と連携し、自立支援に向けたサービスを提供します。

常にご利用者から学ばせて頂く気持ちを忘れずに共に笑顔になれるように一つの訪問を大切にします。

(重点目標)

- ・ご利用者やご家族の意向と現状に基づいた訪問介護計画書を作成し、定期的なサービス内容の評価・見直しを行い、より良いサービスの提供に努めます。
- ・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連絡を密にとり、ご利用者のサービス提供に必要な情報の共有をします。
- ・新規利用者の訪問依頼には迅速な対応を心掛け、ご利用者とご家族の希望の曜日・時間帯に出来る限り沿えるよう、訪問の調整を行います。
- ・ヘルパーの資質向上の為、研修の年間計画を立案し、毎月の例会の中で実施します。研修だけでなく常に自己研鑽に励み、専門職としての自覚と自信を身につけるように努めます。
- ・新型コロナはもとより、様々な感染症に対する知識と情報の把握と共有に努め、自己の健康管理と感染予防を心掛けます。

#### 4. 知症対応型共同生活介護

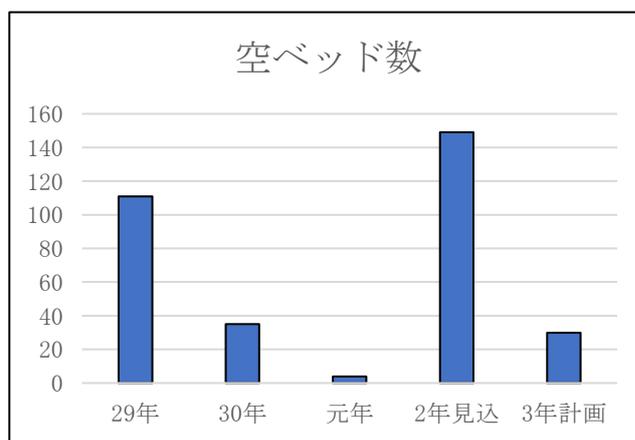
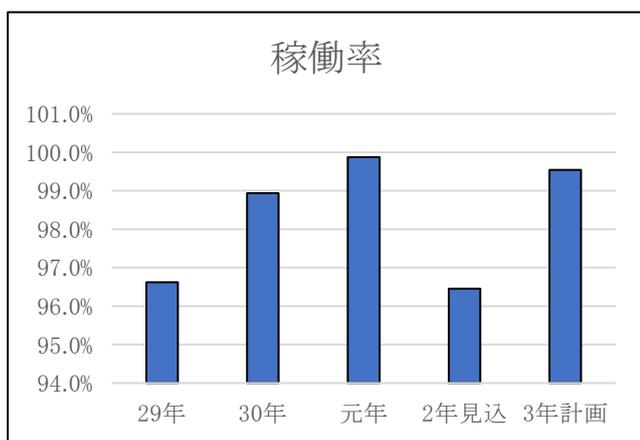
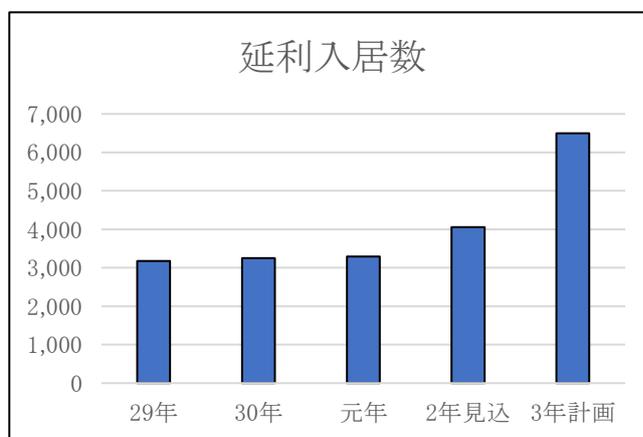
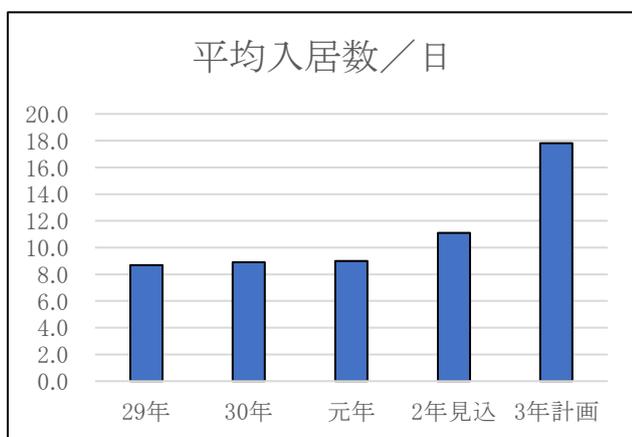
##### ●グループホーム天橋の家

##### (1) 令和3年度計画

<稼働率> (定員：18名)

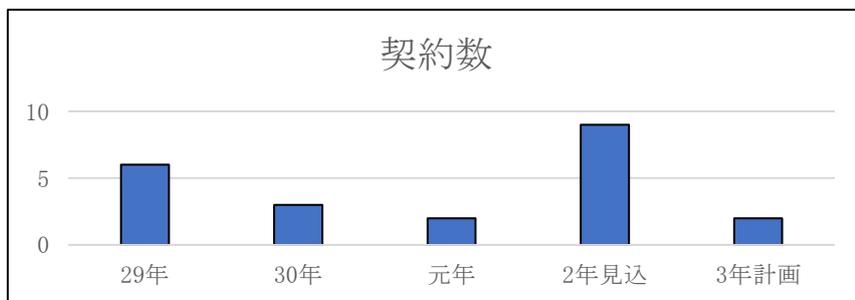
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	365日	365日	366日	365日	365日
延定員	3,285人	3,285人	3,294人	4,203人	6,530人
延利入居数	3,174人	3,250人	3,290人	4,054人	6,500人
空ベッド数	111床	35床	4床	149床	30床
平均入居数/日	8.7人	8.9人	9.0人	11.1人	17.8人
稼働率	96.6%	98.9%	99.9%	96.5%	99.5%
平均介護度	1.7	1.8	1.9	1.7	1.8

※令和2年12月20日より定員数9名から18名に増床する。



<契約>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規利用数	6人	2人	2人	9人	2人



## (2) サービス内容

グループホーム天橋の家は、3つの運営方針を基にご利用者の生活を支援します。

- ① 「第2の我が家を目指します」
- ② 「地域との繋がりを大切にします」
- ③ 「思いやりの気持ちを大切にします」

食事、入浴、排泄等、個々の身体状況に合わせた生活支援と自立支援に努めます。ご家族や地域との繋がりを大切にし、連携を密にしながらご利用者を支えます。

### ・年間計画

個別ケアの実践。『その人らしい生活』を、家族と共に協力し援助していきます。

新型コロナウイルスなどの感染症予防を徹底し、地域との関わり・季節感がある取り組みを実行していきます。

ベッド稼働率 99%台を目標に、空床とならぬようご利用者の体調管理、転倒等の事故防止に努めます。また日頃から各関係機関との連携を図り、スムーズな入退居を行います。

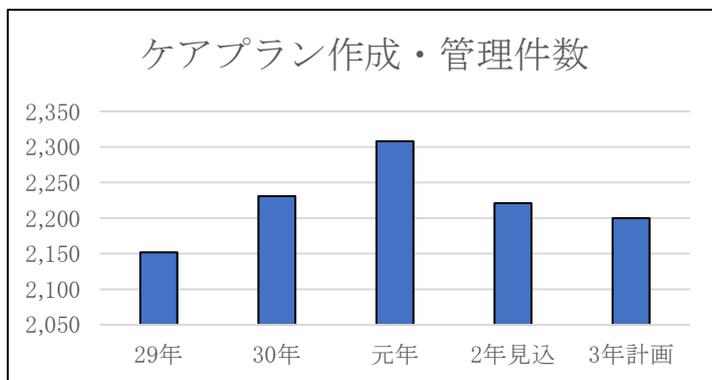
## 5. 居宅介護支援

### ●天橋園居宅介護支援事業所

#### (1) 令和3年度計画

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
職員数(常勤換算)	5人	5人	6人	5人	5人
相談件数	16,624	16,599	17,695	15,700	16,000
相談件数/月	1,385	1,383	1,474	1,300	1,300
ケアプラン作成・管理件数	2,152	2,231	2,308	2,221	2,200
内 予防	0	0	0	1	3
ケアプラン作成・管理件数/月	179	185	192	183	185
内 予防	0	0	0	1	3
平均介護度	2.1	2.1	2.0	2.0	2.1

\*相談件数につきましては、29年度より関連した相談内容を、1日1と計上しております。



## (2) サービス内容

「信頼されるケアマネジャーを目指します」※事業所運営方針

優しい笑顔で親身になってその人に寄り添い、信頼関係を築きながらその人らしい生活を支援します。

- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、自立支援に繋がる適切なケアマネジメントの実践に努めます。

- ①ご利用者やご家族の心身や環境状況をアセスメントし、ご利用者本位の視点で適切なサービスを迅速に提供できるように支援します。
- ②毎月自宅へ訪問しご利用者やご家族にモニタリングを行い、サービス事業所や医療機関など多職種連携を図りながら、看取りも含め居心地の良い環境の下で、きめ細かなサービスが提供されるように支援します。
- ③入退院時や施設入所退所の際には、適切な対応やサービス利用がスムーズに提供できるように、連絡を密に行い施設や医療機関との連絡調整を行います。
- ④虐待の早期発見や防止、また困難事例など、地域包括支援センターや関係機関と連携し、適切な対応がとられるように協力・支援を行います。

## ・年間計画

- ①ご利用者の望む生活の実現に向けて、地域に不足している社会資源の発見や、開発のためにできることを考え実現を目指す努力をします。
- ②各自が目標を持って地域ケア会議や関係会議、各種研修に参加します。
- ③自立支援に向けたケアマネジメントを実践していくために、個人・事業所内でケアプランの点検を行いながら、介護支援専門員自身の課題を明らかにし、知識・技術の向上につなげる努力をします。
- ④地域で選ばれる事業所となるよう努力し、居宅管理件数の安定に努めます。
- ⑤感染症予防については、常に手洗いや手指消毒及びマスクの着用を徹底し、利用者訪問やカンファレンス等の際も感染予防に十分に配慮します。

## 6. 事務部門 各事業所の取り組み（項目別）

### (1) クラブ・レクリエーション活動

- i 天橋園通所介護（午前中を中心にした趣味活動）  
趣味活動・裁縫、編物、塗り絵、ドリル、書道、読書、工作（小物作り）、貼り絵カラオケ、おやつ作り、調理、卓球、テレビ体操、ストレッチ体操等皆様が興味を持って取り組んでいただけるよう継続していきます。
- ii ハウゼ天橋通所介護  
ご利用者が興味関心のある囲碁将棋や琴演奏での歌唱などを勧め、生活意欲が持てるように働きかけていきます。
- iii グループホーム天橋の家  
レクリエーションを中心に身体を動かす機会や、頭、指先を使う機会を設けていきます。また昔からの生活における季節折々の取り組みや、ドライブ、散歩等、外出の機会を設け、地域との繋がりを大切にします。生活意欲を高めていただく為にも個別の楽しみを見つけ、援助していくことに取り組みます。

### (2) 地域連携（新型コロナウイルス感染状況も考慮しながら進めていきます）

- i 天橋園通所介護  
平成26年度から実施しているオレンジカフェ（各公民館への出張型）や地域行事にも参加し、レクリエーションの実施や介護教室等を継続していきます。  
幼稚園・小学校等との交流を継続し、高齢者に対する理解やご利用者にとっての楽しみが継続出来るように続けていきます。
- ii ハウゼ天橋通所介護  
独居・認知介護等のご利用者の安否確認を近隣の方の協力をお願いし、必要に応じてボランティア等にハウゼ利用中の囲碁の対戦やお話し相手を依頼させていただきます。
- iii 天橋訪問介護  
オレンジカフェ、地域ケア会議、認知症サポーター養成講座等へ積極的に参加し、地域の方々や関係機関と連携する姿勢を大切にしていきます。
- iv グループホーム天橋の家  
ボランティア、地元老人会、保育所等の地域住民との交流を大切にし、開かれた事業所となるよう努めます。また事業所の特性を活かし、認知症あんしんサポート相談窓口を始め、認知症サポーター養成講座等、認知症への理解に繋がる活動を行い地域社会に貢献します。
- v 天橋園居宅介護支援事業所  
上宮津地区のオレンジカフェや、担当者の多い栗田・由良地区のカフェに参加し、住民とのつながりの中で、生活を支えるサービスの充実に向けて、関係機関や多職種、民生委員と連携しながら、地域に足を運ぶケアマネジャーとなるよう心がけます。

### (3) ボランティア・実習受け入れ

（新型コロナウイルス感染状況も考慮しながら進めていきます）

i 天橋園通所介護

ボランティア訪問は、ご利用者の日課に大きな刺激となり、ご利用者とボランティア双方に大切な時間となるように支援すると共に職員の提供するサービス内容を見直す良い機会にとらえ、協力していく。

京都暁星高校の施設実習・ボランティアの受け入れを継続し就職に繋げていきます。

ii ハウゼ天橋通所介護

ボランティア訪問は、ご利用者の日課に大きな刺激となり、ご利用者とボランティア双方に大切な時間となるように支援します。看護学校の実習を受け入れる中で、日頃のサービス内容について見直す機会にしていきます。

iii 天橋訪問介護

実習生の受け入れを、自分たちの仕事を見直す良い機会と認識した上で、同行訪問を通して介護・援助の仕方をきめ細やかに指導します。将来の就職につながるように興味関心を深めて頂ける支援を心がけます。

iv グループホーム天橋の家

ボランティア訪問は、ご利用者の日課に大きな刺激となり、ご利用者とボランティア双方に大切な時間となるように支援します。

施設実習や見学希望があれば積極的に受け入れを行い、介護や福祉に興味、関心がある方に体験をして頂く機会を設け、就職に繋がります。

v 天橋園居宅介護支援

職業倫理や業務に対する姿勢、要介護高齢者の様々な生活実態を知っていただくために、介護支援専門員となる受講者の受け入れを引き続き行い、自分たちの業務について見直す機会にしていきます。

(4) 地域連携の会議

i 宮津市地域ケア会議（対象；天橋園通所介護、ハウゼ天橋通所介護、天橋訪問介護、天橋園居宅介護支援）

会議の内容・事例検討の内容により参加し、地域の情報を職員で共有し、地域に求められているサービスについて考えていきます。

ii 運営推進会議（対象；ハウゼ天橋通所介護、グループホーム天橋の家）

自治会長、民生児童委員、介護相談員、行政（介護保険係）職員、ご利用者の家族等に出席頂き、サービスの内容等の情報開示を行い、地域と連携し運営できるよう努めます。

## 7. 会議

会議名	開催予定日・回数	出席者及び内容
職員会議	1回/年	全職員、事業計画の共有及び利用者の人権の擁護について学ぶ。

業務運営会議	12回/年	管理者・各主任、翌月の事業について・施設長会議等の報告、各種検討事項の協議。 リスクマネジメント委員会・苦情報告及び苦情解決について協議、身体拘束ゼロ委員会・感染症対策委員会・その他報告連絡事項。
労働安全衛生委員会	12回/年	衛生管理者・(産業医)・管理者・各主任、職員健康管理と意識向上への取組について
デイ会議	適宜	デイ職員、日課や業務内容の検討。 日々の報告連絡や利用者の情報共有は、毎日の終業ミーティングで実施。
ハウゼ会議	12回/年	ハウゼ職員、会議の報告、利用者の情報共有や日課業務の検討。
ハウゼ運営推進会議	2回/年(6月・12月)	自治会長・介護相談員・行政(介護保険係)職員・ご利用者家族に出席いただき半年間の状況報告を行い、助言等を受けながらサービスの向上に努めます。
ヘルパー例会	12回/年	常勤及び非常勤ヘルパー、利用者の情報共有や連絡報告事項。研修会の実施。 日々の報告連絡や利用者の情報共有は、毎日の適宜ミーティングで実施。
グループホーム会議	12回/年	グループホーム職員、会議の報告及び事業所内のリスクマネジメント・苦情報告及び苦情解決について協議、虐待防止及び身体拘束ゼロ・感染症対策について報告協議。 次期入居者の検討。
グループホーム運営推進会議	6回/年(偶数月)	自治会長・介護相談員・行政(介護保険係)職員・ご利用者家族に出席いただき2ヶ月間の状況報告を行い、助言等を受けながらサービスの向上に努めます。
居宅 部署内会議	1回/週	居宅職員、会議の報告、利用者の情報共有や日課業務の検討。研修の報告。 担当ケースについてケアマネジメントに関する技術・向上に努める。

## 8. 委員会

委員会名	委員	開催予定回数及び内容
労働安全衛生委員会	衛生管理者・(産業医)・管理者・各主任	12回/年、健診結果の総評と健康安全の向上について検討協議。研修会の検討。

①リスクマネジメント委員会 ②苦情解決委員会 ③虐待防止及び身体拘束ゼロ委員会 ④感染症対策委員会	管理者・各主任	12回/年（業務運営会議にて） ①事故発生状況の確認、原因及び対策の検討。 ②寄せられた苦情及び解決について検討。 ③虐待及び拘束事例の有無の確認と防止について協議。 ④近隣の感染症発症状況の確認と予防対策についての検討。
--	---------	---

## 9. 研修

### ●内部研修

研修名	開催予定月	参加対象者
感染症予防について	10月	全職員
事故防止について	6月	全職員
人権擁護について (拘束・虐待防止について)	適宜	全職員
健康について	11月	全職員

### ●外部研修

研修名	参加対象者
虐待防止研修（宮津市主催）	介護職員、※1コース3日間
認知症介護実践者研修（京都府）	介護・看護職員、相談員
認知症介護実践者リーダー研修（京都府）	介護・看護職員、相談員
認知症介護基礎研修（京都府）	介護・看護職員
身体拘束ゼロ推進研究委員会リーダー職員研修会（京都府老人福祉施設協議会）	介護職員、相談員
デイサービス職員研修会（京都府老人福祉施設協議会）	デイサービス職員
入所施設感染症予防対策研修会	介護・看護職員
介護支援専門員法定研修（京都府）	介護支援専門員
介護支援専門員委員会企画研修（介護支援専門委員会）	介護支援専門員

## 令和3年度 社会福祉法人北星会

# 与謝の園 事業計画書

### 【施設理念】

子どもから高齢者、垣根を超えすべての人々が笑顔で暮らせるよう地域のふれあいやつながりを深めることができる居場所づくりに努めます。

### 【基本方針 重点項目】

与謝の園は施設の老朽化による不具合が顕著であり、危機管理や感染症対応をはじめ、安心・安全・安楽で快適な生活環境の設定及び寄り添う介護の実践が困難な状況にありますがいよいよ令和4年度事業（令和5年度開設予定）で桑飼小学校跡地に与謝の園を新築移転することになりました。

桑飼小学校は令和2年3月末で廃校になりましたが地域の皆さんにとっては、147年の伝統と歴史があり、地域の宝として大事にされてきた思いを大切に、与謝の園が新しく地域の宝となるような施設づくりに努めます。

与謝の園では、現施設での事業の継続とともに新たな施設でのご利用者の「暮らしの継続」が実現できるように多職種協働のもと以下の取り組みを重点的に展開して行きます。

1. 利用者・入居者の尊厳を守りプライバシーの保障された生活の実現に努めます。
2. 笑顔と思いやりの心で居心地の良い施設づくりに努めます。
3. 地域のすべての方の福祉に貢献出来る施設づくりに努めます。

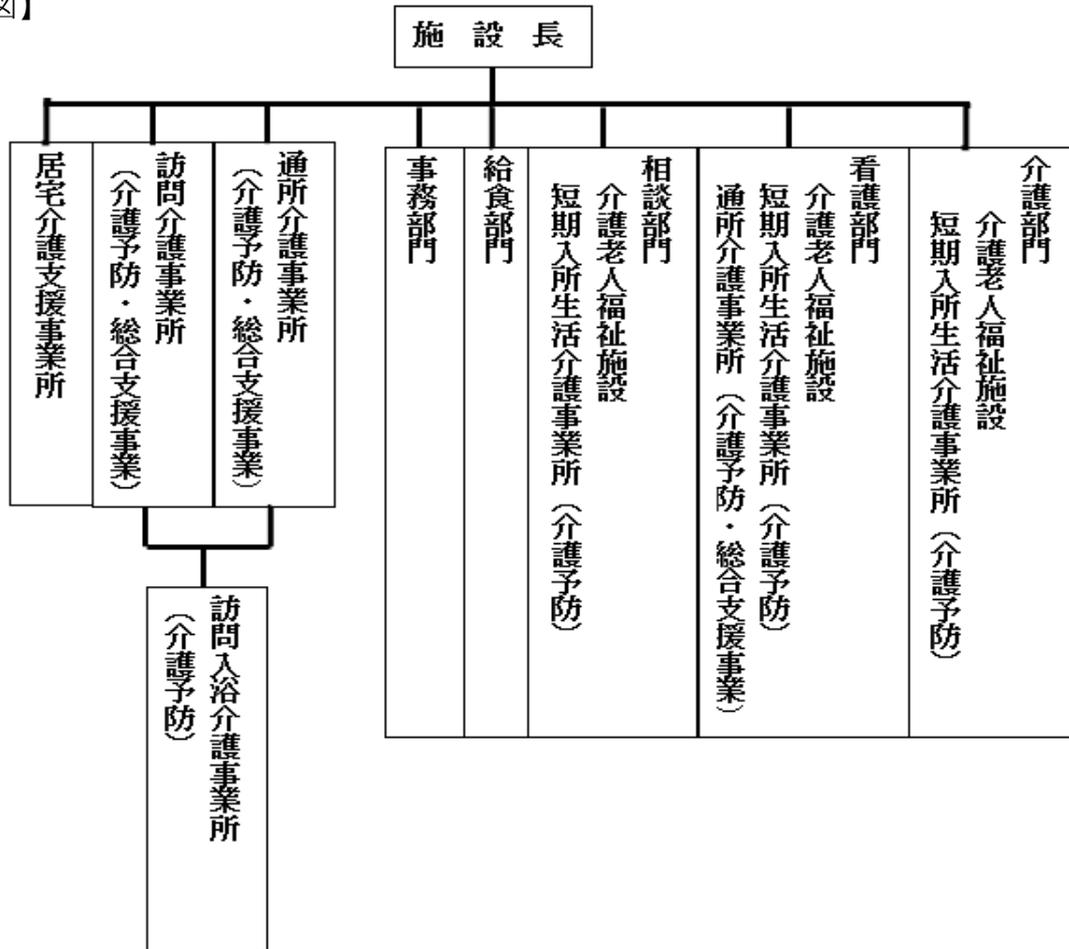
### 【中長期目標】

1. 人手不足の中でも介護サービスの質の維持向上を実現するため、テクノロジーを活用し介護イメージの改善、人材確保・定着を進めます。
2. 重度の要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制づくりに努めます。
3. また認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者が地域で安定して生活できる枠組みを支える地域包括ケアシステムの構築に努めます。

### 【今年度目標】

1. 1日の暮らしにケアの視点を持ち利用者主体のケアを実践に取り組みます。
2. ユニットケアについて各部署連携して職員研修を実施します
3. 最期までご本人らしく暮らせるよう看取りケアに取り組みます
4. 新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止又は発症時の対応について適切に対応できるように努めるとともに、感染症対策を徹底しながら、必要なサービスを継続する体制づくりに努めます。
5. 各種加算が算定できるように検討します。  
(褥瘡マネジメント、排泄、認知症専門ケア)
6. 短時間勤務希望者や高齢者等の多様な人材の確保、育成、定着促進等総合的な人材確保に努めます

【組織図】



【事業計画】

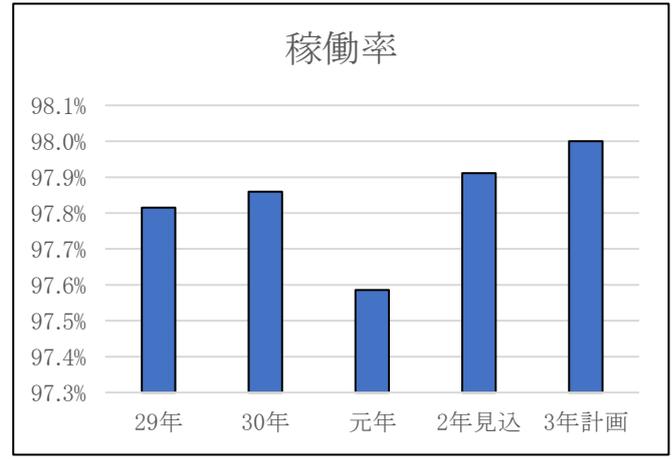
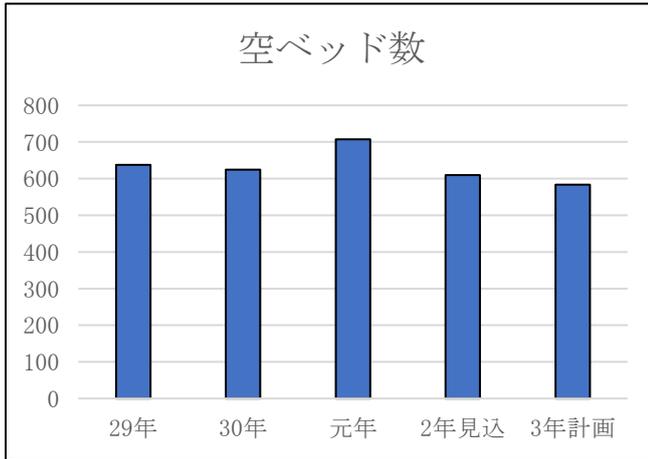
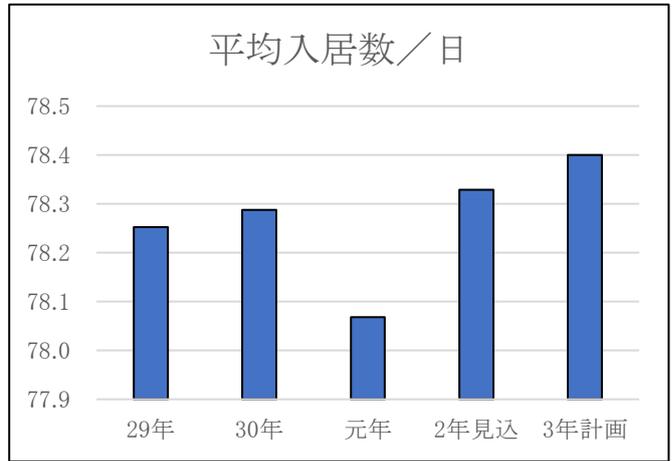
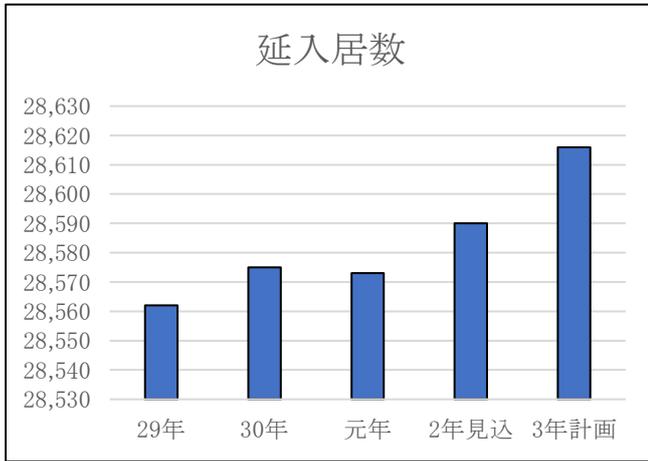
1. 介護部門

① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

I 令和3年度目標

<稼働率>（定員80名）

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	365日	365日	366日	365日	365日
延入居定員	29,200人	29,200人	29,280人	29,200人	29,200人
延入居数	28,562人	28,575人	28,573人	28,590人	28,616人
空ベッド数	638床	625床	707床	610床	584床
平均入居数/日	78.3人	78.3人	78.1人	78.3人	78.4人
稼働率	97.8%	97.9%	97.6%	97.9%	98.0%
平均介護度	4.3	4.3	4.1	4.0	4.0



#### 【介護部門】

入居者が、「自分らしく」を継続していくために、一人ひとりの入居者に寄り添い、個別ケアの提供に努めます。

ア、入居者の尊厳ある暮らしの継続を第一に考えます。

イ、建て替えに向けてユニットケアを目指し、利用者主体のケアに努めます。

ウ、入居者の「自分らしさ」を大切にするために、多職種連携に努めます。

エ、ご家族との繋がりを大切にします。

オ、新型コロナウイルス感染予防の為、入居者や介護員自身の健康管理に努めます

#### <新館西ユニット目標>

入居者の変化に合わせよりよい個別ケアを提供する。

- ・ケアプランに基づき個別ケアに取り組む。
- ・入居者の思いを尊重した対応を行う。
- ・職員一人ひとりが気付き行動する。

#### <新館東ユニット目標>

入居者のその人らしい生活を守るため、家族とのかかわりを密にして情報交換に努め支援していく

- ・毎日、丁寧な声掛けを行い小さな状態の変化にも気づくよう努める。
- ・入居者一人ひとりの生活リズムを把握しその人に合った個別ケアに努める。
- ・家族に対し情報を発信する。

<旧館西ユニット目標>

利用者と家族の意向を大切に信頼関係を築く。

- ・利用者及び家族の意向を共有するため職員間で声を掛け合い協力しあいます。
- ・利用者の一人ひとりの好みやこだわりを把握できるように努める。

<旧館東ユニット目標>

入居者の「自分らしさ」を大切にするために、多職種連携に努めます。

ご家族との繋がりを大切にします。

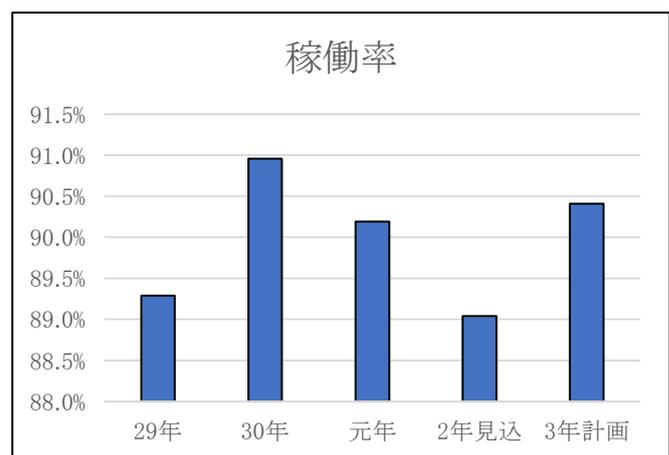
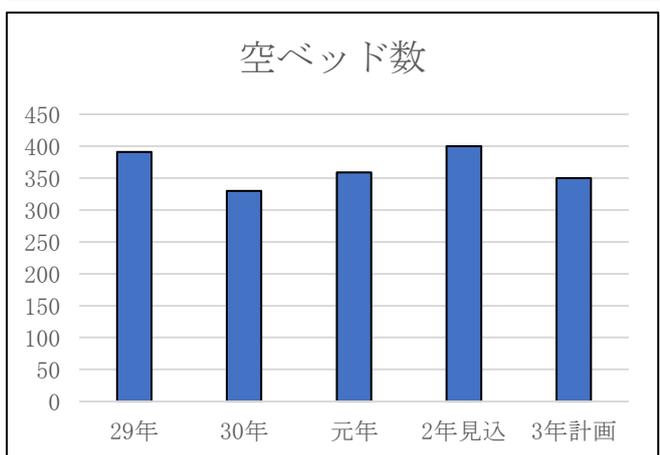
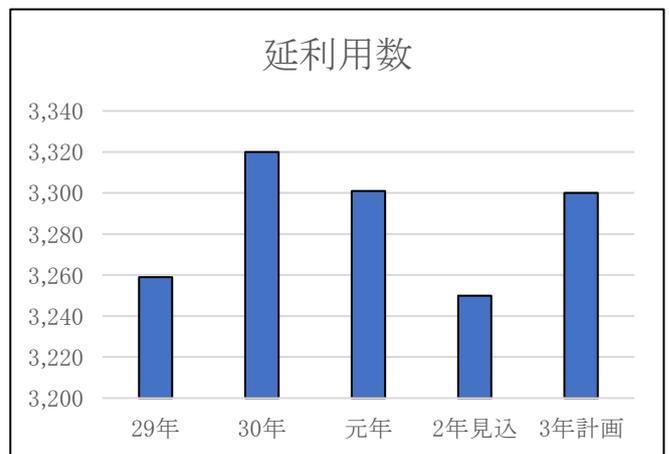
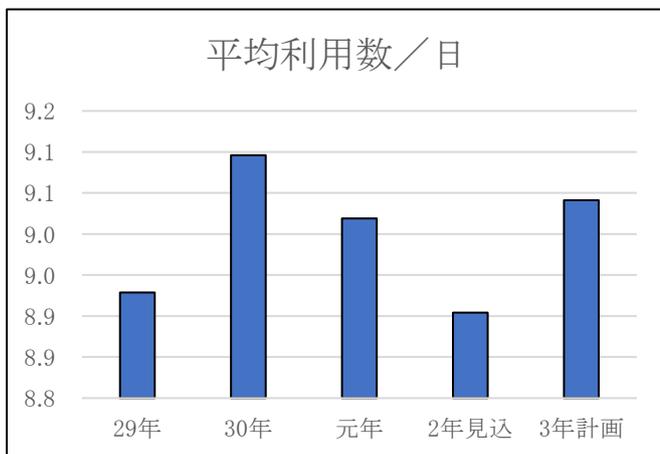
- ・家族と信頼関係を作る。
- ・利用者とのかかわりを持ってその人らしさを知る。

② 短期入所生活介護（ショートステイ）

I 令和3年度目標

（<稼働率>定員10名）

	29年度実績	30年度実績	元年度見込	2年度見込	3年度計画
営業日数	365日	365日	366日	365日	365日
延定員	3,650人	3,650人	3,660人	3650人	3,650人
延利用数	3,259人	3,320人	3,301人	3250人	3,300人
空ベッド数	391床	330床	359床	400床	350床
平均利用数/日	8.9人	9.1人	9.0人	8.9人	9.0人
稼働率	89.3%	91.0%	90.2%	89.0%	90.4%
平均介護度	3.06	2.91	2.56	2.54	2.8



### ○介護サービス

ご利用者・ご家族および居宅介護支援事業所、関係機関等と密接に連携を図り、安心して在宅生活が維持できるよう支援するとともに、ご利用者にご家族に寄り添いながら満足度の高いサービスを提供できるように努めます。

### ○介護予防サービス

ご利用者・ご家族および地域包括支援センター、関係機関等と密接に連携を図り、ご利用者及びご家族のニーズを尊重し、意欲的で自立した在宅生活を送れるよう質の高いサービスの提供に努めます。

## 2. 看護部門

### ① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

#### I 令和3年度目標

担当看護制のもと、より一層、利用者と向き合い、利用者本人及び家族の意向を尊重し、最期の迎え方も視野に入れ、それぞれのニーズに沿った生活を送って頂けるよう支援します。また、職員は、地域の福祉に寄与していることを自覚し、地域住民の健康的な暮らしのお手伝いをします。

（重点目標）

- ・利用者の身体状況、生活状況を把握・アセスメントし、健康維持、予防的ケアに努めます。また、納得した医療が受けられるよう、医療機関への架け橋となり支援ができるように努めます。
- ・面会がなかなかできない現状においても家族に安心してもらえるよう、日々の些細な変化をキャッチし、情報提供をまめに行い、信頼関係の構築に努めます。
- ・多職種連携に努め、医療的ケア・感染症対策・褥瘡対策・看取りケアなど、チームの要として進めていきます。特に感染症対策には力を入れ、安心して生活できるように支援します。
- ・専門職としての自覚を持ち、自己研鑽に努めます。
- ・地域に、感染症予防についての情報を発信するなどして住民の健康的な生活を支援します。

### ② 短期入所生活介護（ショートステイ）

#### I 令和3年度目標

関係各所との連携を密にし、利用者及び家族の在宅生活の維持・継続のために支援をしていきます。

（重点目標）

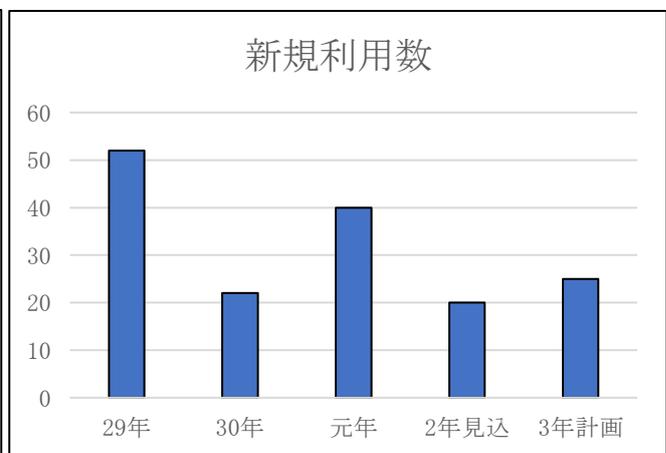
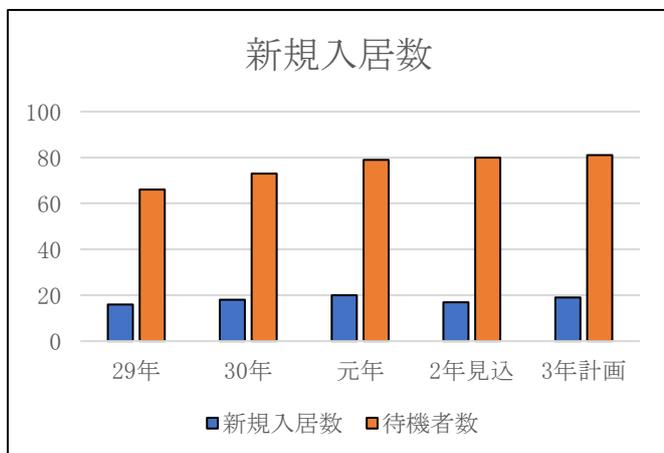
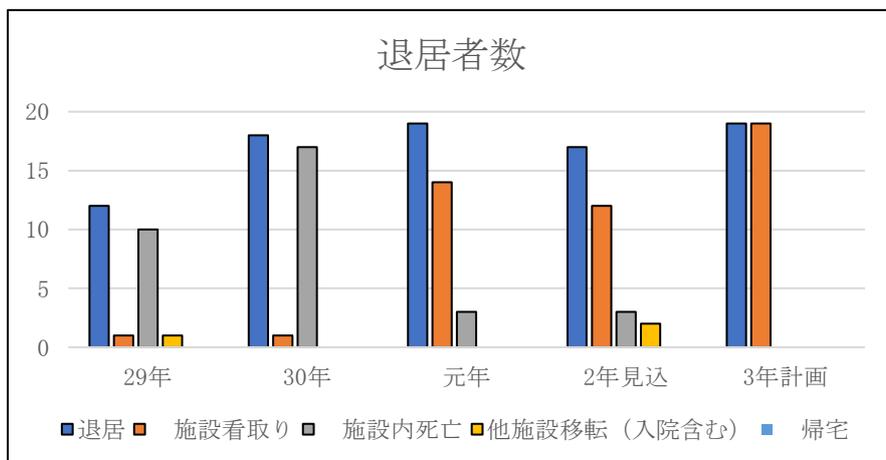
- ・状態観察により健康管理に努め、変化があれば、速やかに対応します。
- ・医療的処置の継続の支援をします。

### 3. 相談部門

#### I 令和3年度目標 <契約>

##### ① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度計画
新規入居数	16人	18人	20人	17人	19人
待機者数	66人	73人	79人	80人	81人
退居	12人	18人	19人	17人	19人
施設看取り	1人	1人	14人	12人	19人
施設内死亡	10人	17人	3人	3人	0人
他施設移転（入院含む）	1人	0人	2人	2人	0人
帰宅	0人	0人	0人	0人	0人



## ② 短期入所生活介護（ショートステイ）

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度計画
新規利用数	52人	22人	40人	20人	25人

### II サービス内容

#### i 介護老人福祉施設

##### ・サービス内容

##### 【生活相談機能】（生活相談及びケアマネージャー）

利用者の声に耳を傾け「心に寄り添うサービス」を提供します。また、地域やご家族との結びつきを重視し、その関係性が入所しても途切れることなく継続できるように配慮します。

- ア 支援に必要なさまざまな情報収集し利用者の生活機能がどのような状態にあるのか、また、利用者を取りまく環境や利用者の個性が生活機能にどのような影響を及ぼしているのか客観的に分析・統合し、利用者とともにニーズを導きます。
- イ 部署間の連携を図り、お互いの意思をスムーズに通わせ、意思統一を図るために必要な情報を正しく伝え思いを共有するとともに職員が一体的となり深いかかわりが持てるように努めます。
- ウ サービス担当者会議をより充実し、正確で適切な情報の取り扱い（アセスメント）。他職種や他機関の状況を踏まえたバランスのよい支援方針決めと実践（プランニング）。ポイントを押さえた日頃の状況把握（モニタリング）を行います。また利用者、家族の参加を促し喜びや楽しみが実感できるように努めます。
- エ 認知症サポーター養成講座講師派遣やオレンジロードつなげ隊等の活動を積極的に受け入れ地域の方々との交流を広げます。
- オ ボランティア（活動）を積極的に受入れ、一人ひとりのニーズに合わせた余暇活動の充足をはかり地域の社会資源を有効に活用します。また、地域社会との交流を受け入れながら、施設内の生活だけでなく地域社会の一員であることを認識できるように努めます。
- カ 感染症情報を積極的に取り入れ蔓延防止対策等に貢献します。

#### ii 短期入所生活介護事業所

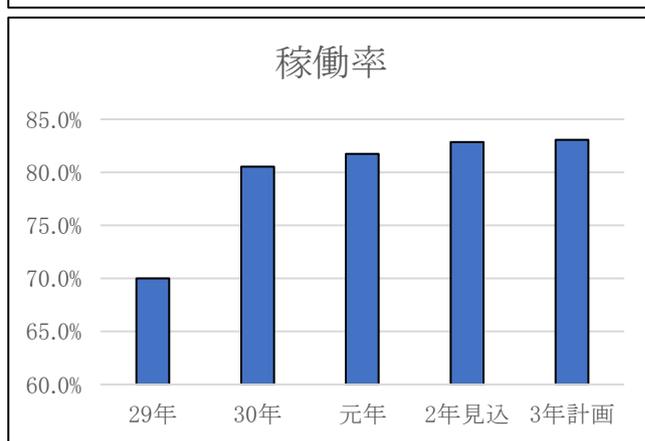
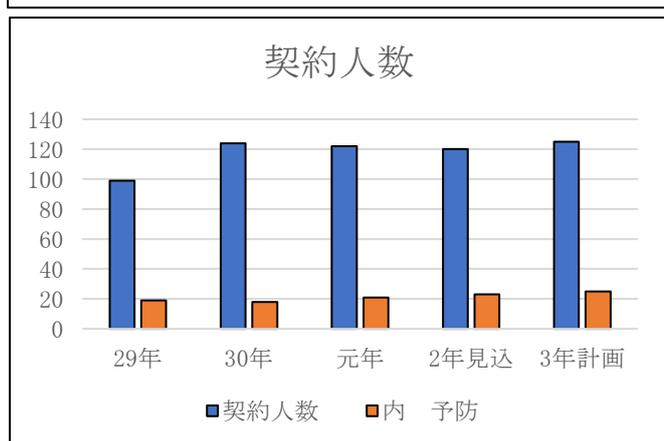
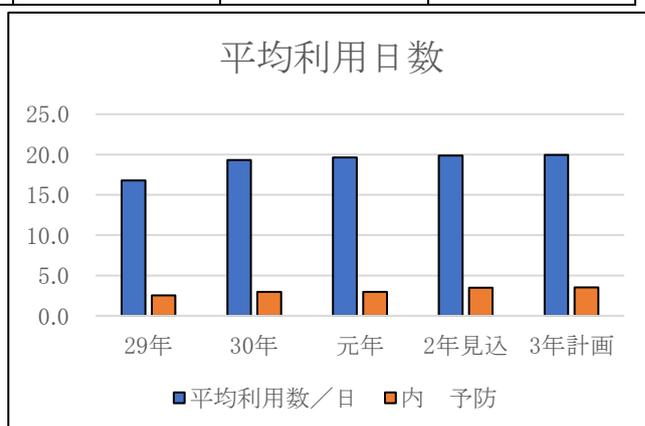
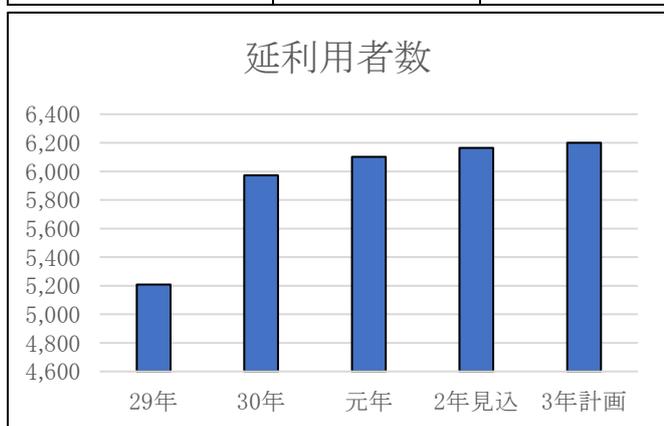
- ・ご利用者のニーズに応じた、安定した受け入れ体制を維持できるようにします。
- ・緊急受入等、ご利用者の困りごとの解決の一助となるよう柔軟に対応します。
- ・各部署の専門性を発揮し、それらの協働・連携を以て高度なニーズに対応できるようにすることで、在宅中重度者や看取り期にあるご利用者の受け入れも積極的にこなします。
- ・ご利用者・ご家族および各関係機関との連携を強化し、切れ目のない在宅生活を送ることができるようになります。
- ・新型コロナウイルスをはじめとした感染症に対し、特養と連動して感染症拡大予防に努めます。

#### 4. 通所介護

##### ① 令和3年度目標

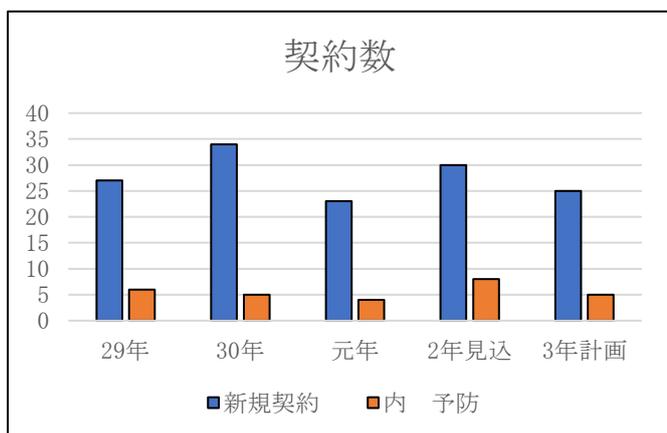
<稼働率> (定員 24名)

	29年度	30年度	31年度	令和2年度見込	令和3年度計画
営業日数	310日	309日	311日	310日	311日
定員数	24人	24人	24人	24人	24人
延定員	7,440人	7,416人	7,464人	7,440人	7,464人
契約人数	99人	124人	122人	120人	125人
内 予防	19人	18人	21人	23人	25人
延利用者数	5,208人	5,973人	6,101人	6,164人	6,200人
内 予防	787人	920人	925人	1,080人	1,100人
平均利用数/日	16.8人	19.3人	19.6人	19.9人	19.9人
内 予防	2.5人	3人	3.0人	3.5人	3.5人
稼働率	70.0%	80.5%	81.7%	82.8%	83.1%
平均介護度	1.8	2.0	2.1	2.0	2.0



<契約>

	29年度	30年度	31年度	令和2年度見込	令和3年度計画
新規契約	27人	34人	23人	30人	25人
内 予防	6人	5人	4人	8人	5人



## ② 実施事項

### ・サービス内容

：各関係機関との連携により、ご利用者が住み慣れた地域で自立的で意欲的に在宅生活が継続できるよう、質の高いサービスの提供に努めます。

：ご利用者・ご家族との関わりを密にし、専門職としてのサービス提供とご利用者と共に過ごす和みの時間を大切にしていきます。

：「介護予防・日常生活支援総合事業」の受け入れを行います。

### ・クラブ活動等

：レクリエーションの取り組みとして、認知症予防につながる脳内トレーニングや身体機能維持につながる体操や運動レクリエーションを行います。

：利用者より希望のある外出レクに前年度以上に取り組めるように計画します。

### ・運営推進会議

#### 地域連携

社会資源の活用として、ご利用者に与謝野町内の行事に参加いただけるような取り組みを計画します。

与謝の園が主催する認知症カフェに職員も参加し、地域の住民の方とのかかわりを大切に地域の方の居場所作りに繋がるように努めます。

### ・年間計画

施設内外の研修会・勉強会に参加するなど専門職としての資質向上に努めます。

### ・実習の受け入れ

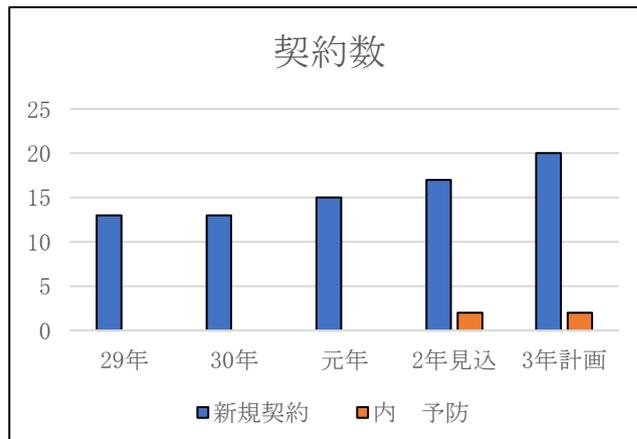
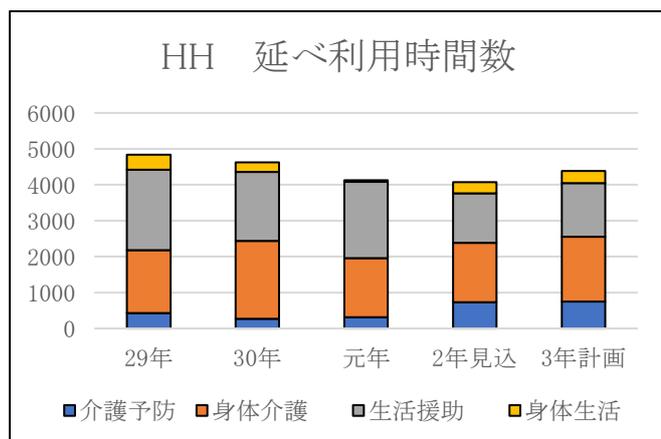
地域中学生「職場体験」実習・京都暁星高等学校生「初任者研修」実習  
福祉即戦力人材養成

## 5. 訪問介護事業所（介護予防・総合支援事業）

### I 令和3年度目標

<稼働率>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度計画
営業日数	362日	362日	362日	363日	362日
職員数(常勤換算)	4.55人	4.5人	5.55人	4.4人	4.1人
契約人数	80人	71人	63人	66人	70人
内 予防	9人	7人	12人	12人	12人
介護予防	434時間	272時間	317時間 17分	732時間	750時間
割合	9%	6%	7%	18%	17%
身体介護	1,746時間 25分	2,166時間 50分	1637時間 55分	1651時間	1800時間
割合	36%	47%	40%	40%	41%
生活援助	2,241時間 5分	1,915時間 20分	2127時間 25分	1381時間	1500時間
割合	46%	41%	52%	34%	34%
身体生活	414時間 10分	268時間 30分	45時間 30分	310時間	330時間
割合	9%	9%	1%	8%	8%
合計	4,835時間 40分	4,622時間 40分	4128時間 7分	4074時間	4380時間
平均介護度	2.05	2.12	2.10	2.58	2.60



<新規契約>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度計画
新規契約	13人	13人	15人	17人	20人
内 予防	0人	0人	0人	2人	2人

### II 実施事項

利用者の尊厳を保ち、住み慣れた地域や家庭で安心して生活が継続できるように各居宅介護支援事業所、地域包括支援センター及び関係機関と連携し、サービスを利用することによって「その人らしい生活」を送って頂けるよう、自立支援に向けたサービス提供に努めます。また、地域の皆さんから選ばれるヘルパーを目指します。

(重点目標)

- ・個々の訪問介護計画書に基づいたサービスが提供できているか、利用者や家族の意向

や現状に沿ったサービスの提供ができていないか等、サービス内容の評価の中で見直しより良いサービスが提供できるよう努めます。

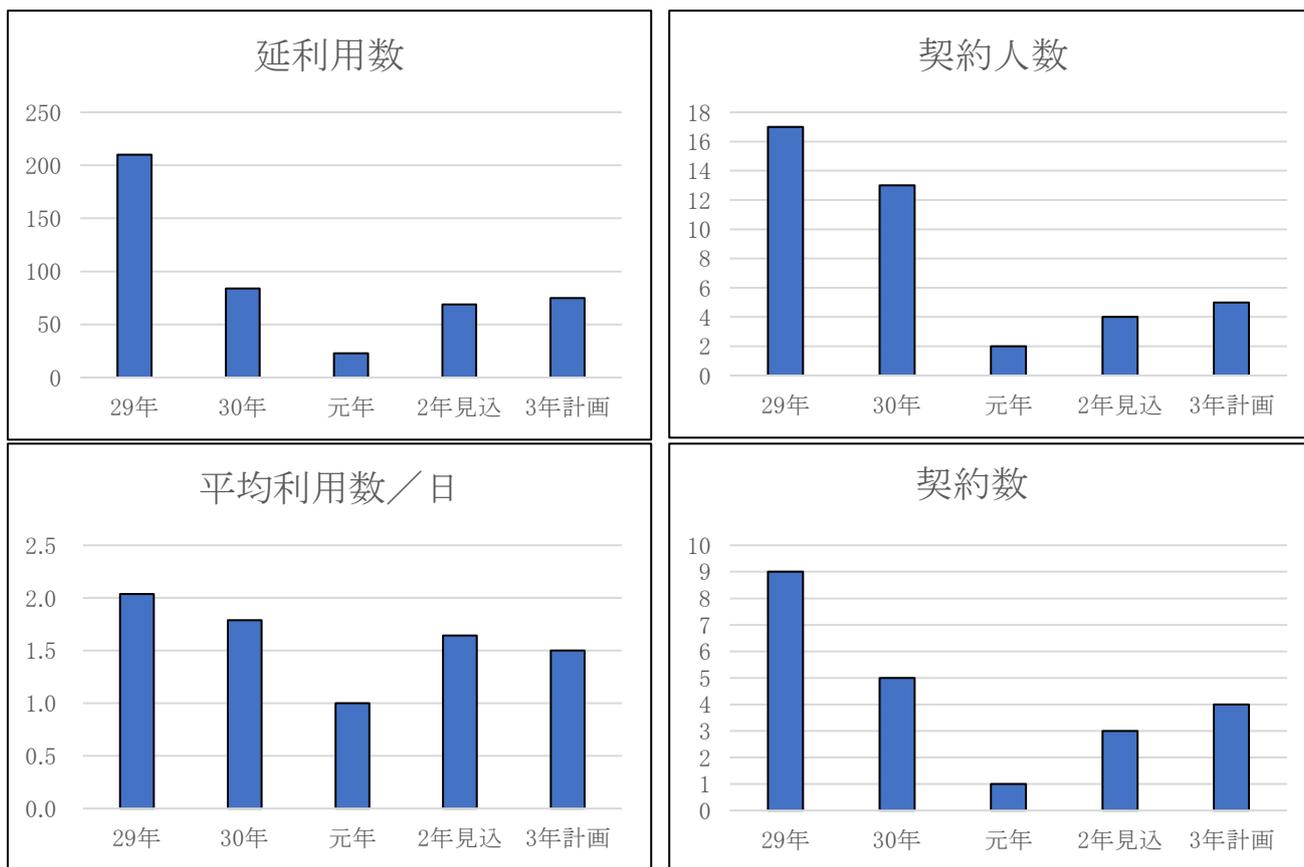
- ・利用者の情報を他の事業所と密に連絡をとり、共有化を目指し、援助内容もヘルパー間で確認・徹底し、同レベルのサービスが提供できるように努めます。
- ・居宅介護支援事業所や地域包括支援センターより、新規利用者の訪問依頼があった場合は、できる限り速やかに対応（面接、訪問調整）します。
- ・利用者や家族に対して満足度調査を実施し、利用者のニーズや家族の思いを汲み取り、家庭で安心して生活ができるように介護サービスの提供に努めます。
- ・サービスの質の向上の為、当事業所としての年間研修計画（全体・個人）を立て、計画書に基づいて月1回程度定期研修会を開催します。また、半期に一度、今年度の重点目標や個人目標の評価を行い、プロの専門職として誇りをもって、サービスを提供します。
- ・月に1回程度ヘルパー会議を開催し、ヘルパー間で利用者等に関する情報を共有し、同レベルのサービスが提供できるようにします。
- ・実習生等の実習依頼の依頼があれば、積極的に受け入れます。また、新人職員への指導など人材育成に努めます。
- ・感染対策に必要な備品は常に備え、その都度会議などを設け情報収集を行い、統一し対応で訪問が出来るように努めます。

## 6. 訪問入浴

### ① 令和3年度目標

<稼働率>

	29年度	30年度	31年度	令和2年度見込	令和3年度計画
営業日数	103日	47日	23日	42日	50日
契約人数	17人	13人	2人	4人	5人
内 障害	0人	0人	0人	0人	0人
延利用数	210人	84人	23人	69人	90人
内 障害	0人	0人	0人	0人	0人
平均利用数/日	2.0人	1.8人	1人	1.6人	1.8人
内 障害	0人	0人	0人	0人	0人
平均介護度	4.3	3.4	3.5	3.2	3.5



<契約>

	29年度	30年度	31年度	令和2年度見込	令和3年度計画
新規契約 介護	8人	5人	1人	3人	4人
内 障害	0人	0人	0人	0人	0人

② 実施事項

ご利用者の気持ちや家族の思いを大切に希望にそった入浴サービスの提供や楽しみにつながる援助に努めます。

・ サービス内容

周囲の環境整備にも努め、身辺すべての清潔保持を実施します。重度ご利用者（人工呼吸器・I V H・癌末期など）への対応も行います。他の居宅事業所からの依頼や新規利用者の積極的に受け入れます。

・ 地域連携

各事業所の介護支援専門員や訪問看護師との連絡を密にし、より良いサービス提供へつなげます。

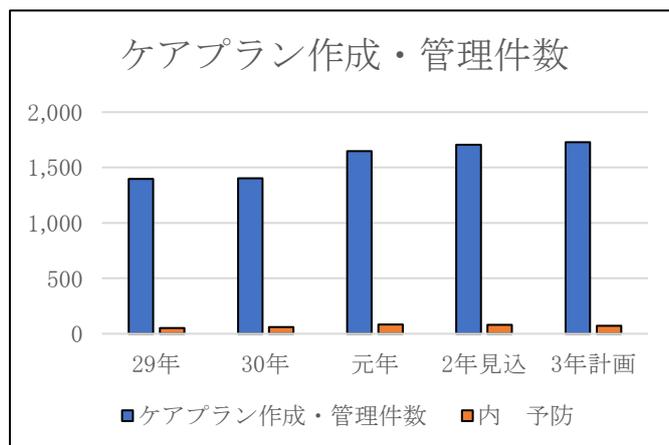
・ 年間計画

担当職員の質の向上に努め、毎月研修会を実施します。  
入浴車は、1年に1回以上専門業者による定期メンテナンスを実施し、月1回以上職員による定期点検の実施と稼働毎の給湯チェックを実施します。

## 7. 居宅介護支援事業

### ① 年度目標

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
職員数（常勤換算）	3人	3人	4人	4人	4人
相談件数	9,113	8,788	11,170	11,820	12,000
相談件数／月	759	732	930	985	990
ケアプラン作成・管理件数	1,397	1,403	1648	1,706	1,728
内 予防	52	60	83	80	72
ケアプラン作成・管理件数／月	116	117	137	141	146
内 予防	4.3	5	6.9	6.7	6
平均介護度	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2



### ② 実施事項

#### ・サービス内容

利用者やその家族とよりよい信頼関係を築き、利用者が抱える課題や意向を速やかに把握して、利用者が望む暮らしの実現に向けて自ら選択していただけるよう、サービスの提案や調整を行います。

新型コロナウイルス感染症により、昨年度から社会全体の生活様式が大きく様変わりし、居宅介護支援事業所業務としても、包括支援センターや医療機関、関連事業所等との連携方法が以前とは変わってきています。利用者においても、活動の自粛から、精神的な閉塞感があり、活動量が低下して身体機能面が低下することが懸念されますので、よりいっそう関係機関との連携を深め、利用者一人ひとりの環境や生活状況に配慮した支援を行っていきます。

#### ・地域連携

コロナ禍での新しい生活様式に沿って、地域や事業所における感染拡大を防止するための対策を講じるとともに、利用者が住み慣れた地域や家庭で安心して生活を継続できるよう、地域の社会資源を有効に活用し、地域住民となじみの関係を築いていきます。

地域ケア会議やケアマネ連絡会、各種研修などへの参加で、関係機関と顔の見える連携作りを行います。

- ・実習の受け入れ

介護支援専門員実務研修実習について、受け入れ態勢を整えています。

## 8. 給食部門

### ①実施事項

#### 【給食部全体】

- ア、安全な食事提供の為、衛生管理の徹底と厨房職員の意識を高め、食中毒や感染症の発生防止に努めます。
- イ、建て替えに向けて、他部署との連携を密に協力し理想の新施設作りが叶う様、取り組みます。

#### 【管理栄養士】

- ・ご利用者の嗜好、身体状況、咀嚼・嚥下機能、日々の摂食状況などを把握しご利用者、一人ひとりに適した栄養ケアプランを作成しそれを元にした食事を提供します。
- ・糖尿病食、減塩食、カリウム制限食、脂肪制限食などの特別食や個別対応、アレルギーによる代替食の提供に努めます。

#### 【給食部】

- ・利用者の重度化に伴い嚥下機能の低下した利用者への食事内容の改善やひと手間をかけることを惜しまず質の良い食事を提供します。
- ・需要の高まっているゼリー食の充実については継続し取り組みます。
- ・看取り期に入られたご利用者に最期まで口から食べていただけるよう、他職種協働で取り組みます。
- ・建て替えに向けてハード面、ソフト面の情報を収集し、他の職員に伝達できるよう努めます。
- ・常に日常の業務内容を見直し、より効率よく安全に作業が行えるよう、また「one for all, all for one」の精神で自分の仕事に責任を持てるよう努めます。

## 9. 事務部門

### I クラブ活動

- ・年間計画書に基づき小グループ活動を主体とした個別ケの実施
- ・ご本人の自由な選択による個別レクリエーションの提供
  - ・脳トレ・塗り絵・カラオケ・パズルを実施。
  - ・利用者の要望に対応。内容の追加や変更を行う。

### i 介護老人福祉施設

#### 行事計画に基づくクラブ活動

- ・書道クラブ
- ・生け花レク
- ・物づくり

ii 短期入所生活介護

書道クラブ

- ・生け花レク
- ・物づくり

iii 与謝の園通所介護

<グループ活動>

- ・年間計画書に基づき小グループ活動を主体とした個別ケアを目指します。

## II 地域連携

### 実習・研修の受け入れ

- ・福祉体験学習（与謝野町立加悦中学校）
- ・職場体験学習
- ・介護実習生の受け入れ
- ・インターンシップの受け入れ
- ・認知症サポーター養成講座の実施
- ・施設見学等

### 地域貢献活動

- ・オープンデイ
- ・認知症サポーター養成講座の実施
- ・認知症カフェ
- ・若年性認知症カフェ（与謝野町）講師派遣

iii 与謝の園通所介護

- ・認知症カフェ（桑飼シルクカフェ）やオープンデイを通して地域の方との交流を深め、又地域のニーズに合わせ、介護教室等を開催し地域住民と共に歩むデイサービスとなるよう努めます。

## III ボランティア

i 介護老人福祉施設（短期入所生活介護も含む）

- ・シーツ交換ボランティア 第1金曜日
- ・かるかも会（衣服補修） 年4回
- ・車椅子清掃 第1、第3日曜日
- ・傾聴ボランティア 月1回
- ・社協ボランティア 毎月お楽しみ会

ii 与謝の園通所介護

## IV 実習受け入れ

i 介護老人福祉施設

- ・福祉体験学習（与謝野町立加悦中学校）

- ・福祉即戦力人材養成
  - ・介護実習生の受け入れ
  - ・施設見学等
- ii 短期入所生活介護
- ・福祉体験学習（与謝野町立加悦中学校）
  - ・福祉即戦力人材養成
  - ・介護実習生の受け入れ
  - ・施設見学等
- iii 通所介護
- ・福祉体験学習（与謝野町立加悦中学校）
  - ・福祉即戦力人材養成
  - ・介護実習生の受け入れ
  - ・職場体験学習（与謝野町立江陽中学校）
  - ・施設見学等
- iv 訪問介護事業所
- ・介護実習生の受け入れ
  - ・福祉即戦力人材養成
- v 居宅介護
- ・介護支援専門員実務研修現場研修

## V 年間行事

開催月	行事			
1月	お楽しみ会	新年互礼会	新春茶話会	初詣
2月	お楽しみ会	節分		
3月	お楽しみ会	ひな祭り		避難訓練（日中想定）
4月	お楽しみ会	お花見		
5月	お楽しみ会	節句		
6月	お楽しみ会	あじさい花見		
7月	お楽しみ会	七夕	夏まつり	
8月	お楽しみ会	地藏盆	スイカ割大会	避難訓練（夜間想定）
9月	お楽しみ会	敬老を祝う会		与謝の園祭り
10月	お楽しみ会	運動会		外出レク
11月	お楽しみ会	焼き芋大秋		
12月	お楽しみ会	餅つき大会	クリスマス会	

## VI 会議

会議名	開催予定日・回数	出席対象者
職員会議	1回/年	全職員
主任会議	12回/年	施設長・各主任
入所検討会議	12回/年	施設長・相談室長・介護主任・看護主任・介護支援専門員・与謝野町福祉課職員
ユニットリーダー会議	12回/年	介護主任・介護副主任・ユニットリーダー
ユニット会議	12回/年(各ユニット)	ユニット毎介護員
SS連絡調整会議	12回/年	生活相談員、介護員、看護師、管理栄養士
部署間連絡会議	6回/年	施設長、相談員、介護主任、看護主任、管理栄養士
デイ会議	4回/年	通所職員
医務会議	2回/年	医務職員
厨房会議	12回/年	調理職員
居宅会議	12回/年	介護支援専門員
ヘルパー会議	12回/年	サービス提供責任者、訪問介護員
居宅事業所定例会議	1回/週	介護支援専門員

## VII 委員会

委員会名	委員名	開催予定・回数
感染症対策委員会	施設長・各主任	主任会議
身体拘束ゼロ委員会・認知症ケア部会	施設長・各主任	主任会議
リスクマネジメント委員会	施設長・各主任	主任会議
研修委員会	施設長・各主任	主任会議
安全衛生委員会	安全衛生委員	12回/年
看取りケア委員会	看取りケア委員	3回/年
医療ケア委員会	医療ケア委員	4回/年
認知症専門ケア委員会	認知症専門ケア委員	4回/年
サービス向上委員会	行事部会	6回/年
	排泄部会	6回/年
	広報部会	2回/年
与謝の園祭実行委員会	与謝の園祭実行委員会	7回
褥瘡対策委員会	褥瘡対策部会	4回/年

## VIII 研修

### ○内部研修

研修名	開催予定日	参加対象者
褥瘡対策委員会	6月	全職員
感染症対策委員会	5月9月	全職員
リスクマネジメント委員会 (事故リスク)	6月10月	全職員
身体拘束ゼロ委員会・認知症ケア部会	7月11月	全職員
安全衛生委員会	5月8月11月3月	全職員
看取りケア委員会	7月	全職員
実践報告会	10月、3月	全職員
居宅担当者会議の持ち方	4月	介護支援専門員
居宅災害時の対応	7月	介護支援専門員
居宅ケアプランチェック	11月	介護支援専門員
居宅伝達研修	毎月	介護支援専門員
訪問介護員研修	毎月	訪問介護員
訪問入浴事業所内研修	4月7月10月11月3月	介護員、看護師

○外部研修

研修名	開催予定日	参加対象者
新人職員研修	5月	新人職員
福祉職のためのマナー研修	5月	全職員
認知症介護実践者研修	5月 8月 12月	介護員、相談員
認知症介護実践者リーダー研修	9月	介護員、相談員
認知症介護基礎研修	9月	新人職員
身体拘束ゼロ推進研究委員会リーダー職員研修会	9月	介護職員
デイサービス職員研修会	8月 10月	デイサービス職員
ユニットリーダー研修	6月 12月	介護職員
入所施設感染症予防対策研修会	11月	看護職員
食に携わる職員のためのユニットケア研修	10月	管理栄養士、調理員
看護職のためのユニットケア研修	9月	看護師、看護職員
スーパーバイザー養成研修	5月	相談員、主任、管理者

# 令和3年度 社会福祉法人北星会 天橋の郷 事業計画書

## 【施設理念】

一人ひとりの「生きる力」を支える

### 基本方針 重点項目】

1. 少子高齢化が著しく進む中であって、地域の社会資源の一つとして入所・在宅サービスのいずれにおいても、最後の瞬間までその人らしく生きることができ、一人ひとりの尊厳が守られるよう、施設理念を実践する。
2. 介護・医療の連携、他職種協働を推し進め、地域包括システムの具体的な取り組みやシステム作りに寄与できるように努める。
3. 介護・看護人材不足を補うために、多様な働き方や人材登用を行い、レベルの高い専門職人材の育成に努める。

### 【中長期目標】

令和3年度は介護保険制度の改定年度であり、その重点項目に沿った形で中長期目標を設定します。

1. 感染症や災害への対応力強化
  - ①事業継続計画の策定
2. 地域包括ケアシステムの推進
  - ②認知症への対応力向上
  - ③看取り対応の充実
3. 自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの提供
  - ④機能訓練、口腔、栄養の取り組み強化
  - ⑤科学的介護の実現
4. 介護人材の確保と介護現場の革新
  - ⑥業務効率化、業務負担軽減の推進

### 【今年度目標】

- ① 事業継続計画の策定
  - (ア) 感染症対策強化に向け、研修の実施に加え、定期的な訓練を実施します。
  - (イ) 感染症や災害が発生した場合であっても業務が継続できるよう、計画の検討を開始します。
  - (ウ) 災害等対応について、更新した設備を利用した計画を策定し、地域との連携を

すすめます。

② 認知症への対応力向上

(ア) 無資格者の認知症介護基礎研修受講をすすめます。

③ 看取り対応の充実

(ア) 人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに沿った取り組みを充実させます。

④ 機能訓練、口腔、栄養の取り組み強化

(ア) 生活機能向上連携加算、ADL維持加算を算定するよう努力します。

(イ) 入居者全員へ丁寧な栄養ケアの実施と体制強化、口腔衛生の体制がとれるよう努めます。

(ウ) 通所事業所においては、生活機能向上連携加算、個別機能訓練加算に加え口腔スクリーニングや栄養アセスメントの取り組みを開始するよう努めます。

(エ) 各事業所、部所においてWEB会議が可能となるよう準備を行います。

⑤ 科学的介護の実現

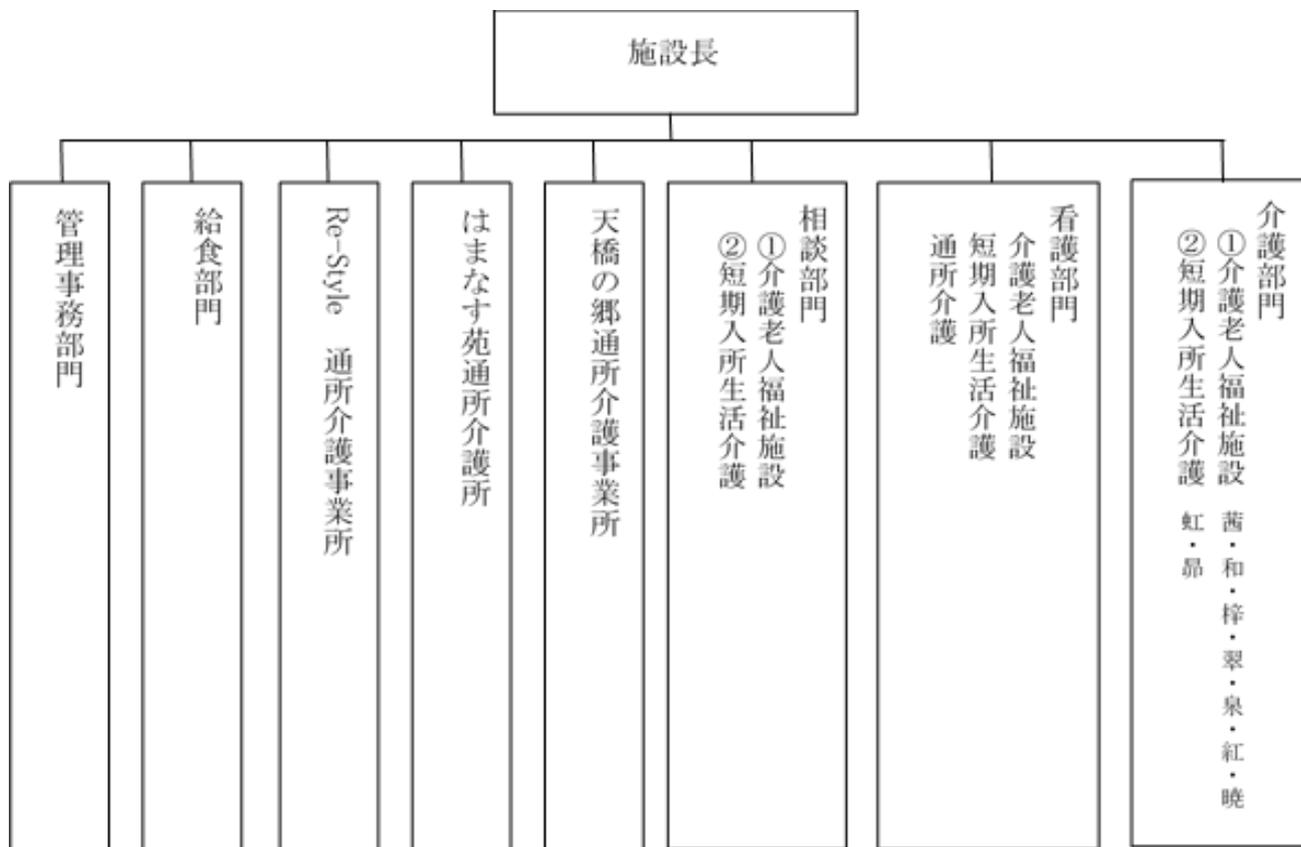
(ア) LIFE (CHASE・VISIT) 活用の準備をはじめます。

⑥ 業務効率化、業務負担軽減の推進

(ア) 人員・運営基準の緩和をふまえ、テクノロジーの導入や柔軟な職員配置等による業務効率化を検討します。

(イ) ハラスメント対策を強化し、働きやすい職場づくりに努めます。

【組織図】



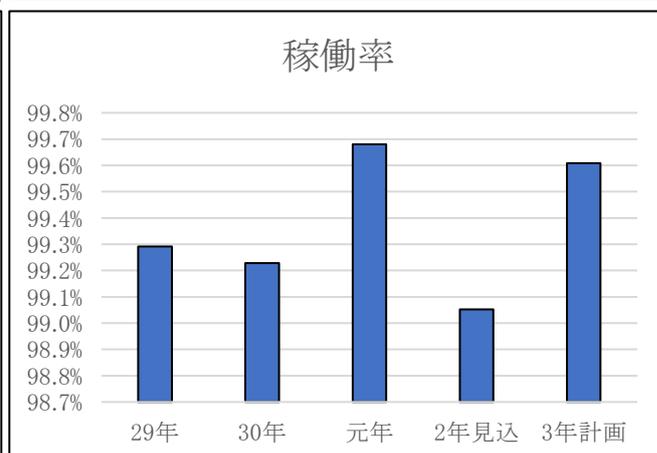
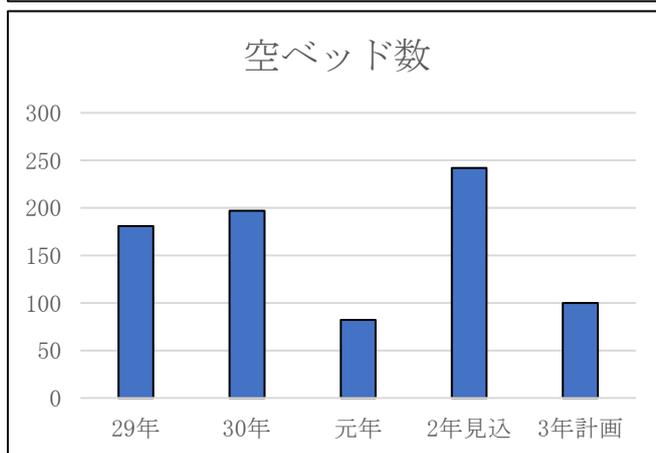
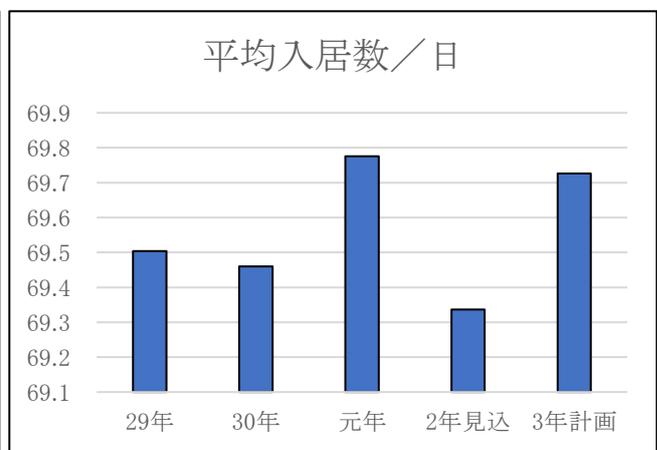
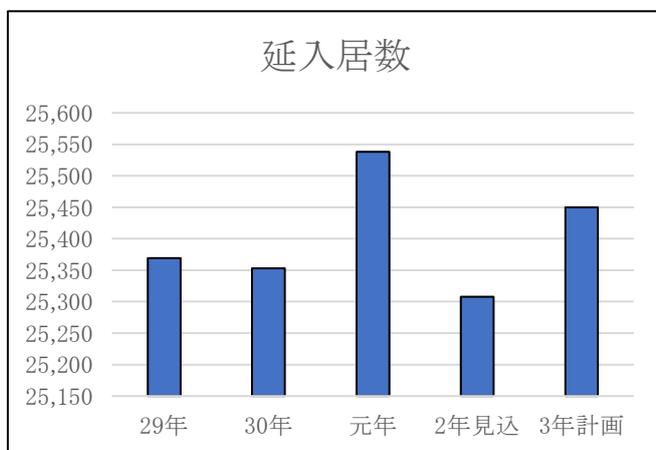
# 【 事業計画 】

## 1. 介護部門

### ① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

#### I 令和3年度目標

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	365日	365日	366日	365日	365日
延入居定員	25,550人	25,550人	25,620人	25,550人	25,550人
延入居数	25,369人	25,353人	25,538人	25,308人	25,450人
空ベッド数	181床	197床	82床	242床	100床
平均入居数／日	69.5人	69.5人	69.8人	69.3人	69.7人
稼働率	99.3%	99.2%	99.7%	99.1%	99.6%
平均介護度	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0



## II サービス内容

- ・感染症対策を柔軟に更新しながら、入居者の安全な暮らしを支えます。又入居者や家族の不安や心配を払拭できるようにサービスを提供します。
- ・職員指導・プリセプター制度の見直しを行い、認知症の方・看取り期に向かわれる方に安心を感じて頂けるケアが提供できる介護のプロを育成します。
- ・ユニット運営の見直しを継続し、スタッフが積極的に企画、運営に参加できる環境整備を行います。職員配置や業務改善を図るとともに、入職者の多様な働き方を検討し人材

確保に努めます。

- ・口腔衛生の管理体制を整備し、健康の保持を図ります。
- ・科学的介護の実現 LIFE (CHASE・VISIT)の活用のための準備を始めます。

【茜】 入居者一人一人と向き合い、その方の生活スタイルが尊重される快適な住まいとなる環境を作り、最期の瞬間までその人らしく生きることができるユニットを目指します。

- ・入居者一人一人の出来ることを把握し、情報共有を強化し、どこにサポートが必要かを明確にしたチームワーク作りに努めます。
- ・価値観・多様性を理解し個性や気持ちを引き出し、感染対応をしながら入居者の生活歴や、なじみの地域を思い出して頂けるような活動や行事を行います。
- ・科学的介護の実現、LIFEの活用について学び専門職としての意識を高めます。
- ・茜翠ユニットの協力体制をより意識し職員間のコミュニケーション力強化を図り、情報共有と業務習得に努めます。また、入居者だけでなく職員共に気持ちよく、円滑に業務が進められるよう、常に配慮ある行動に努めます。
- ・眠りスキヤンの活用をステップアップさせ、有効的に活用できるような計画を立て取り組みます。

【和】 一人ひとりの思いに寄り添い、入居者が充実した暮らしを支えるユニットを目指します。

- ・感染対策を第一に考え、入居者との関りを大切にし、心地よく過ごし、ご家族にも安心して頂けるよう努めます。
- ・その人らしく最期の時まで、入居者とご家族の想いを汲み取り、最善のケアを支援します。
- ・ユニット、他部署とも情報を密に共有し、チーム全体で支え、スタッフ全員がユニット運営に参加し理解を深めユニットとしてチームワークやチーム力向上を目指します。
- ・科学的介護の実現、LIFE 活用について、知識習得に努めます。

【梓】 一人ひとりに寄り添い、その方らしく最期の時まで穏やかで安心して暮らして頂けるユニットを目指します。

- ・言葉使いや態度に気を付け、気持ちよく過ごして頂けるよう丁寧なケアを提供します。
- ・各職員、各部署と連携しチーム力を上げることで、入居者の生活を支えます。
- ・より良い最期を迎えられるようその方や家族の想いをしっかりと汲み取り、些細な変化にも気づけるよう努めます

【翠】 入居者様一人ひとりの思いに添える安心した生活の維持と、やりがいや生きがいを

持ち「自分らしく過ごす」ことができる日常の提供。そして、最期の瞬間まで人の温みを感じる関りを提供します。

- ・様々な感染症が蔓延る世の中で、感染症への正しい知識を高め、安全に生活して頂けるよう基本的な感染症対策の徹底と予防に努めます。
- ・閉鎖的な日常にも沢山の会話や笑い声を絶やさず、時には音楽療法を用いたリズム体操等で心と体の充実を図ります。
- ・常に知りたいという気持ちを持ち、知ろうとする事を惜しまず、その方やご家族の思いに少しでも近づけられるよう努め、最期の瞬間までその人らしく生き抜けるようチーム一丸となってサポートします。
- ・意識して自己覚知に努め、セルフマネジメント能力の向上を図り、穏やかな気持ちで全ての入居者様と接し、安心して生活して頂ける雰囲気づくりに努めます。
- ・職員へのコーチングで個々の能力開発を図り、信頼される職員育成に努めます。
- ・科学的介護加算について、LIFE がスムーズに運用できるよう知識習得に努めます。
- ・茜翠ユニットの協力体制をより意識し職員間のコミュニケーション力強化を図り、情報共有と業務習得に努めます。また、入居者様だけでなく職員共に気持ちよく、円滑に業務が進められるよう、常に配慮ある行動に努めます。
- ・眠りスキヤンの活用をステップアップさせ、より有効に活用できるような計画を立て取り組みます。

【泉】 入居者様一人ひとりの思いを汲み取り、各々の生活スタイルが尊重され快適で安心した日々を送れる温かいユニットを目指します。

- ・感染対策を徹底しつつ、入居者様に日々の生活の中で笑顔を引き出さるような取り組みを模索し穏やかな気持ちでケアにあたります。
- ・職員個々がそれぞれ協力し合い各自のケアのあり方を見つめ直し「介護のプロ」として成長していきます。
- ・紅泉ユニットの協力体制を整えるために職員間の情報交換を密に、他部署とも連携し、入居者様の出来る事やどこにサポートが必要なのかを明確にチーム力で生活を支えて行きます。
- ・最期まで「その人らしく」過ごして頂けるよう些細な変化にも気づき、対応することでご家族にも安心して頂ける最善のケアを提供していきます。
- ・科学的介護の実現、LIFEの活用について知識習得に努めます。

【紅】 入居者一人ひとりのその方らしさ、思いに寄り添い、心地よく過ごしていただけるユニットを目指します。

- ・入居者の方との関わりを大切に、その方らしさを引き出して行けるよう支援します。
- ・ユニット、他部署との連携を深めて、入居者の方をチームケアで支援します。
- ・感染症への意識を高め、専門職としての丁寧なケア、接遇を実践します。
- ・最後の時までその方らしさを尊重し、安心して過ごしていただけるように努めます。

- ・科学的介護の実現、L I F Eの活用について理解を深めます。

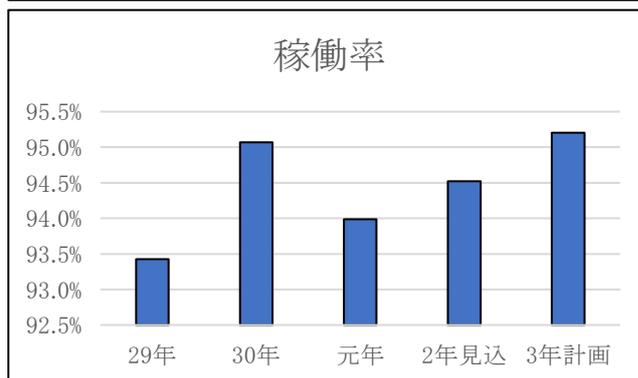
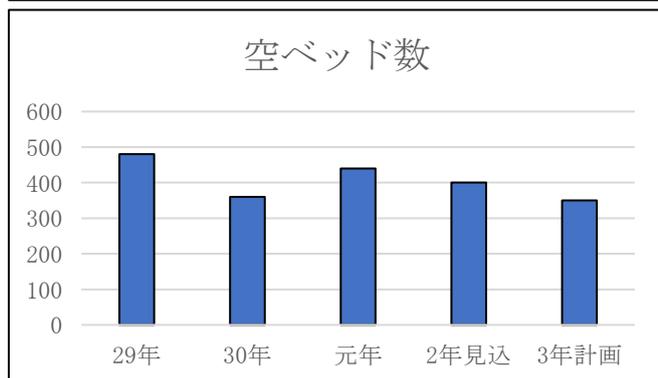
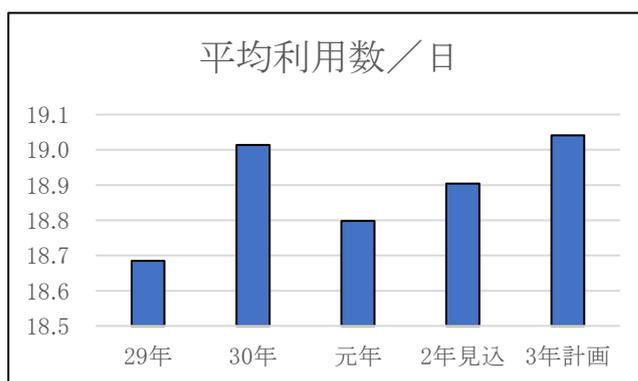
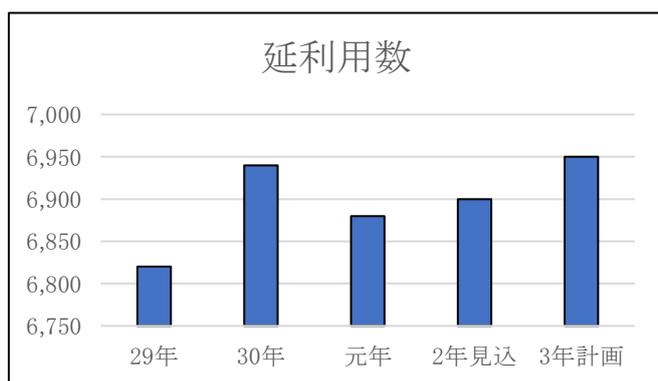
【暁】 入居者一人ひとりの想いを大切に、最期の瞬間までその人らしさを尊重し尊厳を守りその人の生きる力を支えることができるユニットを目指します。

- ・スタンダードプリコーション（標準的予防措置）を徹底しマニュアルに沿った感染症対策に努め、感染症対策中であってもご家族との繋がりを大切にします。
- ・他部署と連携しながらその人が持っている力の発揮、残存機能の維持、自立支援ができるよう根拠あるケアを行います。
- ・職員一人ひとりが向上心を持ち、関わる人誰にも言葉遣いや態度に気をつけて円滑なコミュニケーションを取り、一丸となってチームケアを行えるよう努めます。
- ・科学的介護の実現の為、質の高い記録と PDCA サイクルで過不足の無い支援ができるよう努めます。
- ・ICT化を見据え、人間だからこそできる支援を考え実践していけるよう努めます。

## ② 短期入所生活介護（ショートステイ）

### I 令和3年度目標

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	365日	365日	366日	365日	365日
延定員	7,300人	7,300人	7,320人	7,300人	7,300人
延利用数	6,820人	6,940人	6,880人	6,900人	6,950人
空ベッド数	480床	360床	440床	400床	350床
平均利用数／日	18.7人	19.0人	18.8人	18.9人	19人
稼働率	93.4%	95.1%	94.0%	94.5%	95.2%
平均介護度	2.5	2.65	2.48	2.5	2.5



## II サービス内容

職員一人ひとりが在宅生活支援サービスの1つとして、重要な役割を担っていることを意識し、ご利用者とご家族が地域で豊かに在宅生活が継続できるように施設理念を実践していきます。

1. 認知症への対応を深めていきます。また、介護技術だけでなく、コミュニケーション能力や接遇面の強化を図り、ご利用者一人ひとりの尊厳が守られる質の高いケアの実践が行えるように取り組みます。
2. コロナをはじめとする感染症に対する知識を深め、持ち込まない対策強化、発生時の早期対応に努めていきます。
3. 家事、介護など専門的に業務が行えるように見直し、改善を進め、業務負担軽減を推進していきます。また、職員同士の信頼関係を深め、働きやすい職場環境作りに努めていきます。
4. 根拠を持ったケア、自立支援、重度化防止の効果を最大化するための科学的介護の実現のため、LIFEを活用し、科学的介護推進体制加算がとれるように準備を行います。
5. 家事支援業務を専門に行う。など多様な働き方による人材確保に努めます。
6. 利用者の健康状態の維持や生活の質の向上のため、口腔衛生を取り入れたサービス提供を検討します。

### 【虹】 安心して在宅生活を送れるように支援を行い、笑顔の絶えないユニット

- ・職員一人ひとりが認知症や感染症への知識を深め、ご利用者とのコミュニケーションをしっかりと図りながら、ニーズに沿ったケアを提供します。
- ・ご利用者の清潔保持や口腔衛生にも配慮した質の高いケアが提供できるように努めます。また、趣味嗜好を生かしたレクリエーションや行事を計画・実施し、楽しみの提供にも努めていきます。
- ・職員同士が協力し合いながら働きやすいユニットになるように環境整備、業務整備に努めます。
- ・科学的介護の実現のため、LIFEが活用できるように準備を行います。

### 【昴】 利用者と家族が安心して在宅生活ができるように支援します。

- ・専門職として認知症に対するケア、感染症に関する知識などをしっかり習得します。また、ご利用者の身だしなみや接遇面にも配慮し、ご利用者一人ひとりの個性を尊重した満足していただけるケアとサービスが提供できるように努めます。
- ・他部署、他ユニットとの連携強化、負担軽減の業務改善に継続して取り組み、職員が積極的に業務が行える環境作りに努めます。
  - ・科学的介護の実現のため、LIFEが活用できるように準備を行います。

## 2. 看護部門

### I サービス内容

高齢化が著しく進む中、入居者一人一人をよく知り、その人らしい生活が送れるように健康管理に努めます。また認知症も重度化傾向にあるため、コミュニケーション能力や対応の方法など多職種、チーム全体で取り組むための核となるよう、つとめます。

看取り期への対応に対しても同様、入居者の変化を知り、嘱託医や担当医の指示のもと、その人らしい最期の時が迎えられるように多職種協働で家族と共に取り組んでいきます。

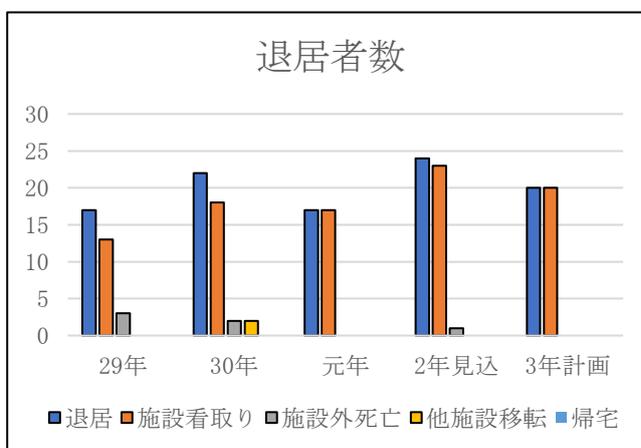
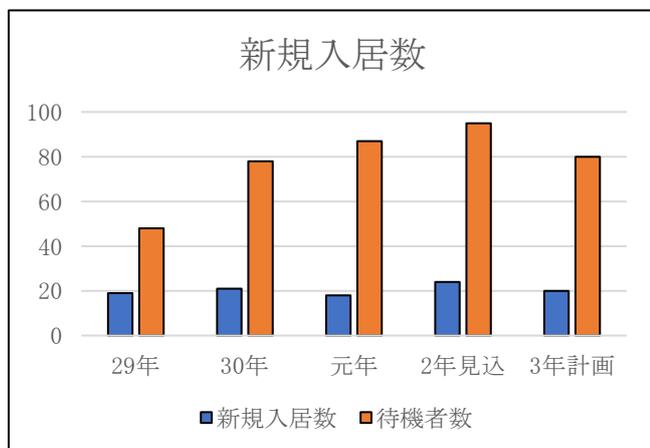
昨年より新型コロナウイルス感染症をはじめ、あらゆる感染症に対応できるようにリーダーとして知識を深め、対策強化に向け検討し、早期対応行えるようにします。

## 3. 相談部門

### I 令和3年度目標 契約

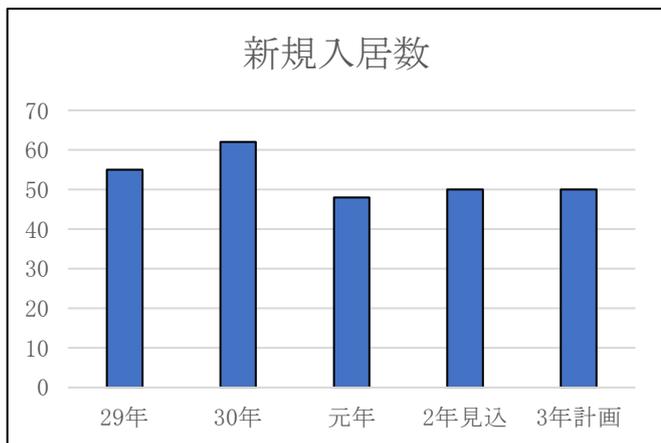
#### ① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規入居数	19人	21人	18人	24人	20人
待機者数	48人	78人	87人	95人	80人
退居	17人	22人	17人	24人	20人
施設看取り	14人	18人	17人	23人	20人
施設外死亡	3人	2人	0人	1人	0人
他施設移転	0人	2人	0人	0人	0人
帰宅	0人	0人	0人	0人	0人



#### ② 短期入所生活介護（ショートステイ）

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規入居数	55人	62人	48人	50人	50人



## Ⅱ サービス内容

### ① 介護老人福祉施設

入所待機者の争奪が激化している中で、空床をつくらず早期の入所に繋げるための準備を居宅介護支援事業所や地域連携室と密に連絡を取り合い進めていくことがますます重要になってきました。面接も儘ならない中ですが、オンラインを利用した面接を実施し入居者の情報収集に努めます。

看取りケアへの移行のタイミングが難しく、看取りケア加算対象者が昨年は減少する結果となってしまいました。今年度からは看取りへの対応の充実が図られ 45 日前から加算対象となる為、多職種と連携しながら入居者の小さな変化を察知し看取りケアへと繋げます。また、人生の最終段階における看取り期が、入居者・家族の意思を尊重したプラン通りのものになるよう支援します。

昨年度同様にコロナ禍にありますが、入居者の安全を確保しつつ施設での生活が潤いのあるものとなり、また入居者や家族の不安や心配が払拭できるように、オンライン等の積極的な利用を進めていきます。

### ② 短期入所生活介護

天橋の郷ショートステイが地域の社会資源の一つとして重要な役割を担い、住み慣れた地域で在宅生活が継続できるよう、地域に寄り添った信頼される、選ばれる事業所となるよう以下のことに重点的に取り組んでいきます。

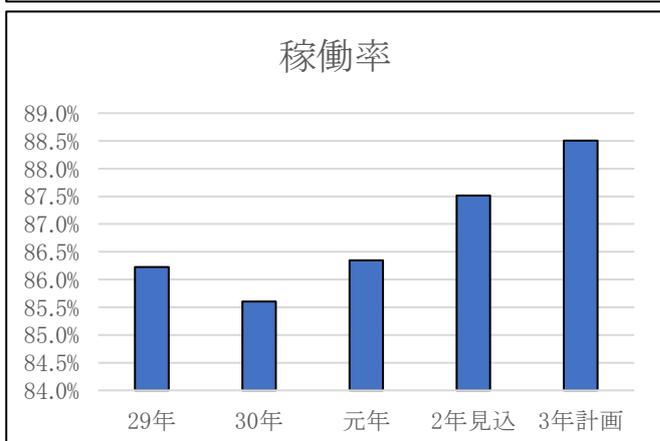
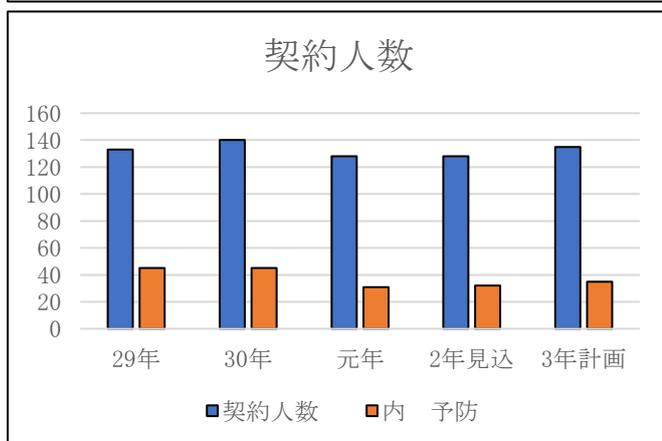
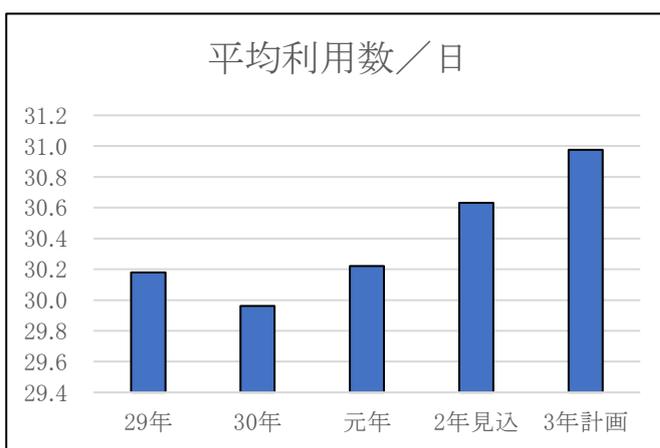
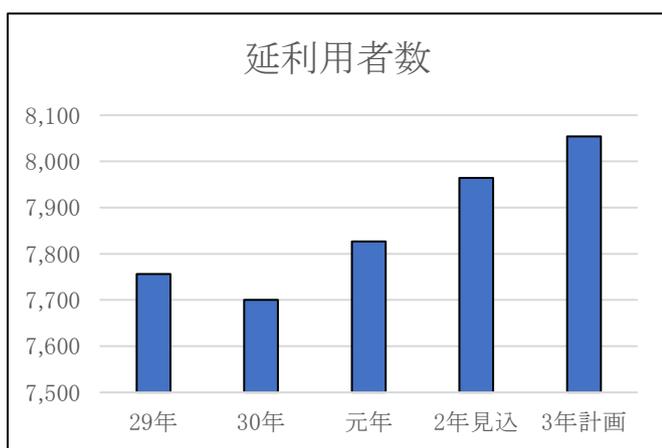
- 1:感染症に対する知識を深め、対応の強化に努めていきます。
- 2:在宅での終末期におけるレスパイトケアを多職種と協働し、実践していきます。
- 3:介護報酬改定に伴い、加算の見直しを行います。また、積極的かつ柔軟な受け入れを実践し、常に稼働率を意識した業務に努めます。
- 4:法人内、施設内での連携を深め、通所から看取りまでのパイプ役となり、利用者の自立を支援します。

## 4. 天橋の郷通所介護

### I 令和3年度目標

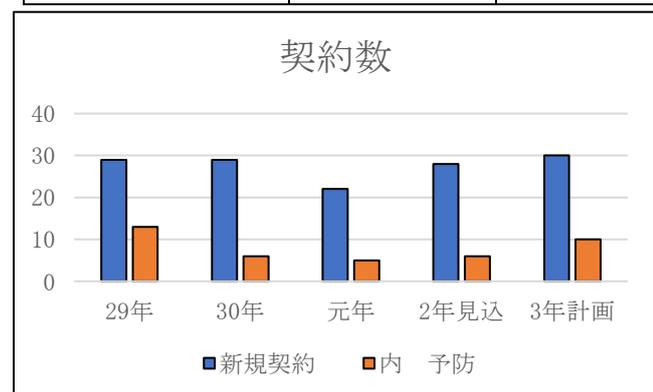
<稼働率> (定員：35名)

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	257日	257日	259日	260日	260日
延定員	8,995人	8,995人	9,065人	9,100人	9,100人
契約人数	133人	140人	128人	128人	135人
内 予防	45人	45人	31人	32人	35人
延利用者数	7,756人	7,700人	7,827人	7,964人	8,054人
平均利用数/日	30.2人	30.0人	30.2人	30.6人	31人
稼働率	86.2%	85.6%	86.3%	87.5%	88.5%
平均介護度	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3



<新規契約>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規契約	29人	29人	22人	28人	30人
内 予防	13人	6人	5人	6人	10人



## II サービス内容

楽しみながらご利用して頂き、レクリエーションや機能訓練の提供や余暇活動により、心身の健康維持を図ります。

また、居宅介護支援事業所や他サービス事業所など、関係各署と密に連携を取り、自律した在宅生活の継続・ご家族の介護負担軽減が図れるように努めます。

### ① グループ活動

小グループ活動の充実を図り、ご利用者自身がレクリエーションや活動の選択を行う事で自主性・主体性を尊重し、目的をもってサービスの利用が継続出来るよう、京都市選べるデイサービスのより一層の発展・充実を進めていきます。

**【創作】**…書道や四季の設え、壁面飾り、手芸、刺し子、ランチョンマットの作成などご利用者ともに季節応じたもの相談しながら物づくりを行います。

**【園芸】**…季節に応じた野菜の栽培

収穫した野菜で行事食を行うなど、収穫の実感・喜びをご利用者全員が共感出来るように進めます

**【運動】**…ペタボードやスナッグゴルフ、ボッチャ、スカイクロスなど、提供中の物を継続しながら、どなたでも参加できるテーブルゲームなど準備を行い、レパトリーを増やし、ご利用者の状況や状態に合わせて楽しみながら身体を動かす機会が持てるような取り組みを進めます

**【脳トレ】**…計算・漢字・塗り絵・カラオケ

ご利用者の要望を聞きながら、計算問題や漢字問題・クイズなどの問題に取り組んだり、歌体操や馴染みの流行歌の歌唱などリズムを取りながら歌うことで楽しみながら認知機能の維持やリラックスを図ります

**【季節の行事】**…ドライブ（お花見・紅葉）、買い物・外食ツアー、調理レクなど

コロナ禍で実施できる行事に限りがある状況ですが、状況が許せば外に出て非日常の時間を楽しんで頂く取り組みも進めていきます。

### ② 人材育成

職員自身が自己覚知出来るような働きかけを行い、自身で振り返りながらスキルアップを図り、実感を得る事で意欲・意識の向上を図り、介護技術だけでなく対人援助技術の向上や職員間の連携力・協調性の維持・向上を図り、経験の浅い職員だけでなく、中堅、ベテラン職員においても底上げが図れるよう育成を進めていきます。

### ③ 環境整備

感染症対策はもちろん、職場環境全体の5S活動に努めてご利用者は勿論、職員にとっても動きやすい、働きやすい環境となるよう環境の整備に努めます。

#### ④ 介護報酬改定に伴う対応

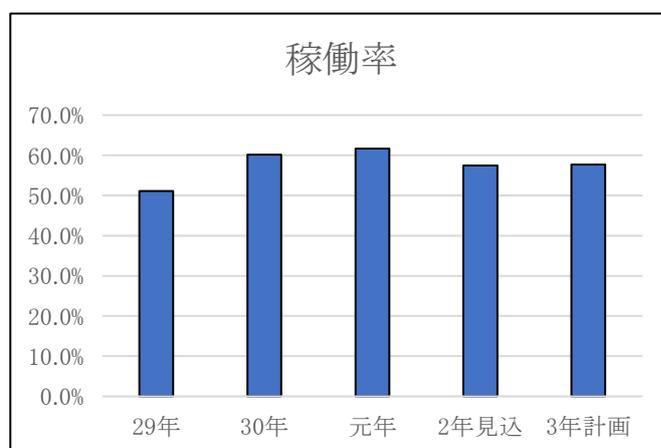
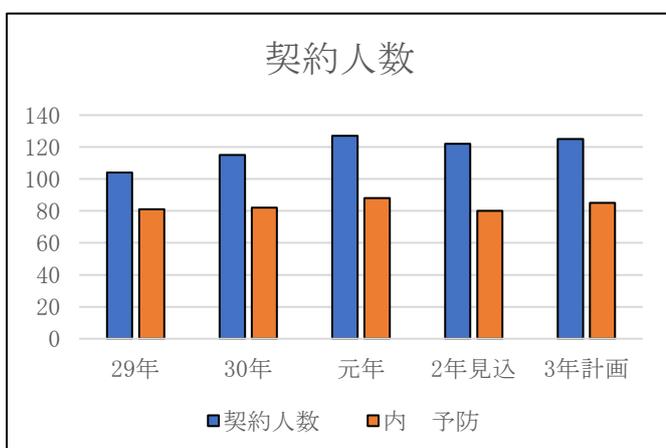
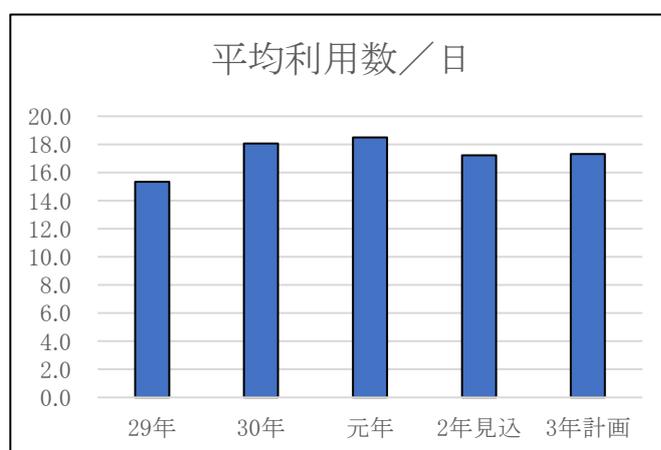
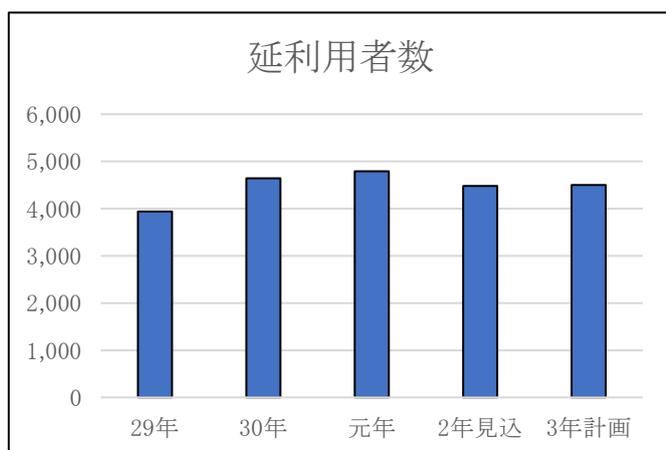
改定内容を確認し、加算算定に向けて柔軟に対応を行います。口腔・栄養スクリーニング加算、ADL 維持等加算など算定可能な加算については積極的に算定出来るように情報収集・準備を行います。

### 5. Re-Style (通所介護事業)

#### I 令和3年度目標

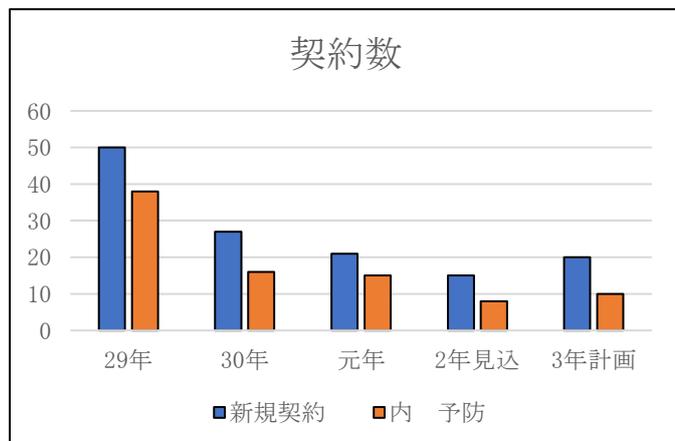
<稼働率> (定員：15名/ユニット 2ユニット/日)

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	257日	257日	259日	260日	260日
延定員	7,710人	7,710人	7,770人	7,800人	7,800人
契約人数	104人	115人	127人	122人	125人
内 予防	81人	82人	88人	80人	85人
延利用者数	3,940人	4,640人	4,792人	4,480人	4,500人
平均利用数/日	15.3人	18.1人	18.5人	17.2人	17.3人
稼働率	51.1%	60.2%	61.7%	57.4%	57.7%
平均介護度	0.7	0.75	0.78	0.84	0.85



<新規契約>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規契約	50人	27人	21人	15人	20人
内 予防	38人	16人	15人	8人	10人



## II サービス内容

地域の一員として、安心して健康的且つ意欲的な生活を送ることが出来るよう、身体機能の維持、改善を図るサービスを提供します。

また、喜びや楽しみあふれる在宅生活になるよう支援します。

- ① 不活動筋の活性化を図る為に、パワーリハビリテーションを実施し、心身機能の維持、改善を促します
  - ・レッグプレス、ローイング、トーソフレクション、ヒップアブダクション (随時)
  - ・自転車エルゴメーター (随時)
  - ・足裏、首マッサージ (随時)
- ② 日常生活の基本である「歩く事」「立つ事」への強化を図り、歩行能力の維持、改善に努めます。また、専用のポールを使用することにより、姿勢及び関節可動域の維持、改善や筋力の強化を図ります。
  - ・ポールウォーキング (随時)
  - ・ポール体操 (随時)
  - ・お散歩ウォーク (随時) 漁連駐車場
- ③ 徹底した感染症予防対策を行い、継続した業務が平常通り続けられるように努めます。また、適度な運動や楽しみのあるプログラムを提供する事で、免疫の維持、向上を促します。
  - ・バランスマット体操 (随時)
  - ・スローエアロビック (随時)
- ④ 一人一人のご利用者とは丁寧なコミュニケーションを図ることで、それぞれのニーズを掘

り起こし、出来る限り個々のニーズに対応した柔軟なプログラムを提供します。

- ・ニュースポーツ祭り（2月、8月）ディスコン、ボッチャ、ウェルネスダーツ
- ・クリスマス忘年会（12月）
- ・ウォーキングマック（10月） 舞鶴文化公園、途中が丘公園
- ・ゲームオリンピック（随時）

⑤ 地域へ出掛ける事で、社会への参加を促し、地域との繋がり強化やリフレッシュ効果による心身の活性化を図ります。

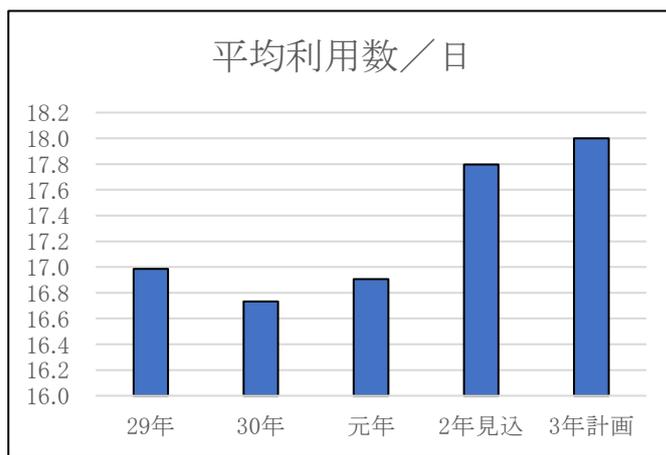
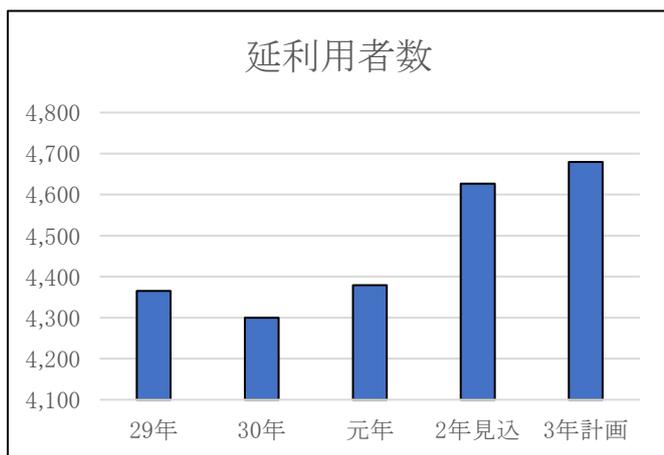
- ・グランドゴルフツアー 春場所（5月） 島崎公園、滝上公園
- ・グランドゴルフツアー 秋場所（10月） 島崎公園、滝上公園
- ・地域イベントへの参加（随時）

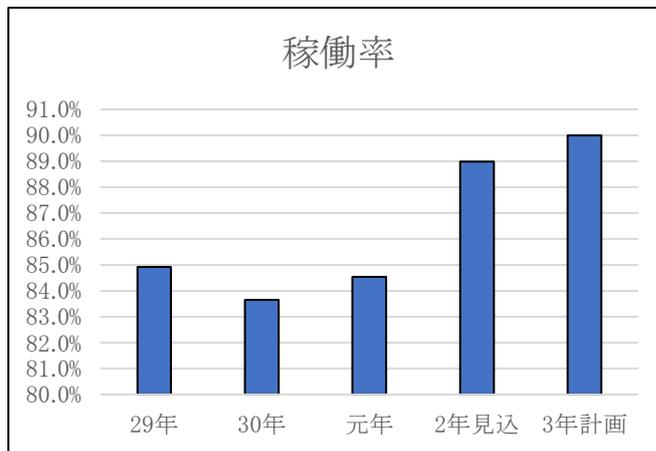
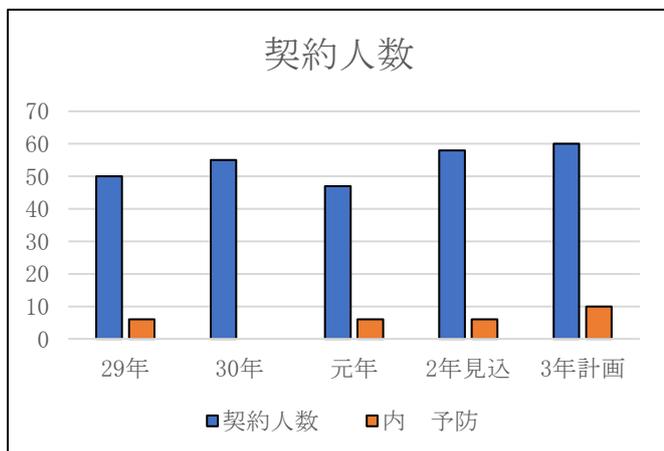
## 6. はまなす苑（通所介護事業）

### I 令和3年度目標

<稼働率>（定員：20名）

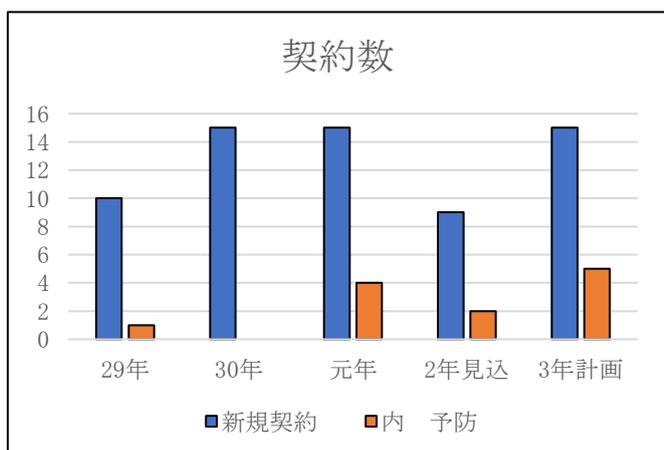
	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
営業日数	257日	257日	259日	260日	260日
延定員	5,140人	5,140人	5,180人	5,200人	5,200人
契約人数	51人	55人	47人	58人	60人
内 予防	7人	0人	6人	6人	10人
延利用者数	4,365人	4,300人	4,379人	4,627人	4,680人
平均利用数／日	17.0人	16.7人	16.9人	17.8人	18.0人
稼働率	84.9%	83.7%	84.5%	89.0%	90.0%
平均介護度	1.8	2.0	2.0	1.9	2.0





### <新規契約>

	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度計画
新規契約	10人	15人	15人	9人	15人
内 予防	1人	0人	4人	2人	5人



## II サービス内容

住み慣れた地域で、地域社会の一員として自信を持って生活して頂けるようサポートしていきます。また、ご利用者、ご家族の様々なニーズに応えられるようスタッフひとりひとりが寄り添い対応していきます。そして、ご利用者がより良い生活を過ごして頂けるよう居宅介護支援事業所や他サービス事業所など関係機関との連携を密にとり、ご家族の身体的かつ精神的負担も軽減できることを目指します。

### ① 個別活動の充実

やりがい・楽しみに重点をおき、目標を持って取り組んで頂けるものをしっかりとコミュニケーションを取りながら提供していきます。ご利用者の可能性や意欲を引き出せるよう対応していきます。

### ② レクリエーションの充実

やりがい・楽しみに重点をおき、身体機能・認知機能の維持、向上できるものを提供していきます。誰もがその時間を有意義に楽しい時間を過ごして頂けるよう、グループを分け参加しやすい環境づくりを提供します。

### ③ 四季の行事

- ・季節を感じるドライブや外出

季節の風景や草花を感じ少しでも心身がリフレッシュできるよう行います。

- ・ウォーキング

まずは歩く楽しみを感じて頂きながら、目標を持って行えるメニューを提供し、かつ自信を持って歩いて頂けるよう心身機能の活性化を図ります。

- ・園芸

誰もが参加しやすい環境づくり、アプローチを行い個々に応じた作業内容を提供することで身体機能・心身機能の向上に繋がります。

※昨年同様、車いす等の方も園庭に出られるよう整備を行います。

- ・行事食

非日常的な空間を大切にします。季節の行事をご利用者といっしょに準備し、特別な日の食事を大勢で会話をしながら食べる楽しみを味わって頂くなど食欲増進にも繋がります。ご利用者とともによりよいイベントとなるよう、コミュニケーションを取りながらいっしょに作り上げていきます。

#### ④ 地域貢献活動

地域と寄り添い、由良地区が元気でよりよい地域となるよう、はまなす苑から様々なものを発信していきます。はまなす苑のご利用者も地域社会の一員として生き生きと生活して頂けることも目的とします。

#### ⑤ 人材育成

いかなる時も当たり前の方が当たり前でできること、いかなる時も変わらずご利用者に心のこもった優しい対応ができることを徹底します。職員・ご利用者ともにストレスなく気持ちよく日常が過ごせるよう努めます。

#### ⑥ 環境整備

感染対策とともに、ご利用者・職員にとって動きやすく、働きやすい環境となるよう環境整備に努めます。

### 7. 給食部門

- i ・他部署と連携をとりながら食事内容、食事形態を工夫し、一人一人が健康を維持できる食事を提供できるように栄養管理に努めます。
- ・終末期においても、本人の意思を尊重しながら、無理のない範囲で経口摂取ができるようにサポートし、最後の瞬間までその人らしく安心して過ごして頂けるよう努めます。
- ii ・その人らしい生活を支えるため多様化するニーズにこたえながら、地元で採れた新鮮な食材を使用し、楽しみとなる食事の提供に努めます。
- ・熟練職員の技術や知識を伝達する仕組み作りを行い、職員教育、新人教育に力を注ぎます。
- ・配食弁当は気持ちを込めて丁寧に盛り付け、独居の方の安否確認を兼ねてお届けすることに努めます。
- ・H A C C P の考えに沿った衛生管理を行い、安全、安心な食事が提供できるように努めます。

## 8. 管理事務部門

### I 令和3年度目標

天橋の郷・はまなす苑・Re-styleの各事業所がご利用者・地域に対し、安全かつ安心してご利用して頂けるよう新型コロナウイルス感染予防対策を支援し、より良いサービス提供が実施できるように各事業所の課題を総合的に管理し各事業所管理者と協同し課題解決に当たります。

#### 【経営面】

- ・新型コロナウイルス感染予防を徹底し、外部からウイルスを持ち込まないよう、外来者の体温測定、健康状況の聞き取り等を徹底します。
- ・介護保険改定に伴う各加算は、しっかりと法令を順守しつつ算定するよう事務手続きを行います。
- ・科学的介護推進体制加算のための手続きを進めます。
- ・施設長と職員の直接面談の機会を定期的にするなど、ハラスメントの早期発見や働きやすい職場づくりをすすめ、人材の確保と定着をめざします。

#### 【環境面】

- ・公用車の老朽化に伴い車輛入替の検討を行うます。
- ・建物、設備の給水設備や電子錠の老朽化に伴う適宜修繕・入替を検討します。はまなす苑は指定管理施設であるため、都度宮津市と検討協議を行い対応します。
- ・昨年度実施しましたBCP発電機導入に伴い、防災計画等の内容更新を行うとともに緊急時等に地域の一時避難所としての役割を果たせないか。近隣自治会と協議を行います。

### II サービス内容

#### ① 地域貢献

※新型コロナウイルスの市内、近隣市町の感染状況をみて実施を検討します。

##### (1) 実習・研修の受入

- ・次世代担い手育成事業（栗田中学校）
- ・介護実習生受入
- ・施設見学の受入

##### (2) 地域住民に向けての活動

※地域貢献PR委員会が中心となり、施設全体として連携を図り実施

- ・介護の日（オープンデイ、ふれあいフェスタイベント等の開催）
- ・職員による出張出前講座等（地域からの依頼に伴い開催を検討）
- ・認知症カフェ（栗田地区 毎月第二金曜日開催分）は、委託者である宮津市と連携を取り、開催の可否を判断します。

##### (3) 配食サービス

地域でのニーズに基づいて実施

	介護配食	持ち帰り弁当
平成30年度	1,134食	2,955食
令和01年度	1,021食	2,225食

令和02年度見込	1,260食	2,600食
令和03年度計画	1,200食	2,500食

#### (4) 年間行事計画の策定

計画内容	開催予定日	対象者	担当者
お花見ドライブ	4月	長期・SS利用者	ユニットスタッフ
郷食堂	5月・9月	長期利用者	支援室・ユニットスタッフ
麺処さと	7月・11月	長期利用者	支援室・ユニットスタッフ
遠足	5月～10月	長期利用者	支援室・ユニットスタッフ
流しそうめん	7月・8月	SS利用者	ユニットスタッフ
敬老会	9月	長期	ユニットスタッフ
フェスタ	10月頃	地域・利用者	全職員
お正月企画	1月	長期・SS利用者	ユニットスタッフ
節分祭	2月	長期・SS利用者	ユニットスタッフ
バレンタイン企画	2月	長期・SS利用者	ユニットスタッフ
ひな祭り	3月	長期・SS利用者	ユニットスタッフ
さーくる＊なないろ	毎月2回・随時	長期利用者	支援室・ユニットスタッフ
利用者の願いを叶える企画	不定期	長期・SS利用者	ユニットスタッフ

#### (5) 会議

会議名	開催予定日・回数	出席対象者
業務運営会議	12回/年	施設長・各主任・管理栄養士 生活相談員・生活支援専門員
長期会議	12回/年	施設長・介護主任・長期ユニットリーダー・ 長期生活相談員・生活支援専門員 SS主任・SSリーダー・SS相談員
SSリーダー会議	12回/年	ユニット職員・各専門職
デイ会議	12回/年	デイ職員
はまなす会議	12回/年	はまなす職員
Re-Style 会議	12回/年	Re-Style 職員
支援室ミーティング	6回/年	相談室職員
職員会議	1回/年	全職員
入所判定会議	12回/年	施設長・介護主任・介護副主任・看護主任・ 生活相談員・生活支援専門員
給食会議	6回/年	管理栄養士・調理主任・長期、SS、DS各主任・ 長期、SS生活相談員・生活支援専門員
医務会議	12回/年	医務職員
調理会議	12回/年	調理職員

(6) 委員会

委員会名	委員名	開催予定・回数
感染症予防対策委員会	感染症予防対策委員	4回/年及び緊急時
排泄ケア委員会	排泄ケア委員	4回/年
褥瘡予防委員会	褥瘡予防委員	4回/年
安全衛生委員会	安全衛生委員	12回/年
看取りケア委員会	看取りケア委員	12回/年
認知症ケア委員会	認知症ケア委員	4回/年
身体拘束廃止・事故発生防止委員会	身体拘束廃止・事故発生防止委員	12回/年
フェスタ委員会	フェスタ委員	6回
地域連携PR委員会	各部署主任	12回/年

(7) 研修

●内部研修

開催主体	開催予定日	参加対象者
排泄・褥瘡委員会	4月	全職員
感染症予防委員会	5月・10月	全職員
事故防止委員会	6月・12月	全職員
拘束廃止委員会	6月・12月	全職員
看取り委員会	7月	全職員
認知症ケア委員会	8月	全職員
安全衛生委員会	11月	全職員
実践報告会	3月	全職員

●外部研修

研修名	開催予定日	参加対象者
新人職員研修	5月	全職員
福祉職のためのマナー研修	5月	全職員
認知症介護実践者研修	6月	介護職員
認知症介護実践者リーダー研修	9月	介護職員
認知症介護基礎研修	9月	介護職員
身体拘束ゼロ推進研究委員会 リーダー職員研修会	9月	介護職員
ユニットリーダー研修	6月 12月	介護職員
入所施設感染症予防対策研修会	11月	全職員

## 令和3年度 社会福祉法人北星会

# 介護老人保健施設リハ・ヴィラなぎさ苑 事業計画

### なぎさ苑 3つのケア方針

1. なぎさ苑は、その方らしい生活を支援します
2. なぎさ苑は、その方の持っている能力を引き出します
3. なぎさ苑は、笑顔を大切にします

#### 【基本方針 重点項目】

平成30年度の介護保険法改正に伴い、在宅生活維持のために老健が担うべき役割が明確となり「在宅支援・在宅復帰のための地域拠点となる施設」、「リハビリテーションを提供する機能維持・回復の役割を担う施設」と位置づけられました。従って、令和3年度においても当施設は丹後地域における高齢者の在宅生活支援と在宅復帰を推進すべく事業を展開していきます。

また、宮津市の高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画を踏まえ、宮津市を含む丹後地域の医療・保健・介護などの福祉計画に寄与するよう、地域住民や行政、近隣の医療機関等と協力し地域包括ケアシステムの連携や地域貢献に関わる事業を推進します。

令和3年度には介護報酬の改訂が予定されていることから、迅速に対応すべく情報収集に努め、電子ケアカルテの改修を行うなど効果的な経営努力を推進します。

#### 【中長期目標】

1. 老健の利用者である要介護者に対して、心身の機能の維持回復を図り、居宅における生活を営むための支援、重度化防止の取り組みを推進する。
2. 自治体が推進する介護福祉計画に対応して地域包括ケアシステムと地域貢献を推進する
3. 新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中であって、それらへの対応力を強化し、安定した持続可能な高齢者介護福祉の実現に向けて事業をすすめる
4. 介護人材確保のためのリクルート・研修活動を強化するとともに、ICTの導入など介護現場の革新をすすめる。
5. 電力消費の削減や二酸化炭素排出量や水道光熱費の削減など、エネルギー資源の見直しを行い、環境にやさしい介護施設の整備と運営をすすめる。

#### 【今年度の重点項目】

### 1. 在宅復帰・超強化型の算定維持、その他の専門的加算の充実

在宅復帰・超強化型加算は、平成30年6月から継続・維持してきました。今年度も、超強化型加算を維持しながら、短期集中リハや認知症短期集中リハ等の加算等を取得、介護保険収入の安定と充実したサービスの提供に努めます。専門職の研修に努め、認知症ケアや口腔ケア、経口維持、褥瘡、排泄等の専門的サービスを多職種協働で提供する体制を拡充し、厚労省が令和3年度より導入する予定の科学的介護情報システム（Long-term care

Information system For Evidence;LIFE ライフ) を対応、これを活用することにより専門的サービスの効果的な提供を進めていきます。在宅復帰と在宅生活支援機能を維持・強化し、在宅復帰・超強化型加算を継続するよう取り組みます。

## **2. 居宅介護支援センターの整備、ケアマネ等の専門職の確保・育成**

「入院から在宅への流れ」に対応し、施設での介護に限定することなく、リハビリや介護、栄養管理、口腔ケア、感染症や認知症対応、看取りなど、居宅介護支援や訪問リハなどの在宅支援や地域貢献等、地域のニーズに応え、居宅と施設ケアの密接な連携を構築します。

また高齢者の介護ニーズに対応できるケアマネ・相談員の確保・育成に取り組みます。

## **3. 在宅支援・在宅復帰施設としての体制強化**

在宅復帰施設を基本とし、在宅での生活を維持して行くための支援にも重点をおき、地域での中核施設としての役割を果たしていきます。各専門職を配置し効果的にサービスの提供をできるよう体制の充実はもちろんですが、老健施設の在宅復帰・超強化型加算の算定維持に必要な体制を検討し構築していきます。

## **4. 職員研修 (OJT、Off-JT) の充実、職員間の情報共有**

新型コロナウイルスに対応する感染症対応の見直し、マニュアルの整備・更新を随時行い、職員の研修活動を繰り返し行う。

また、苑外での研修に限ことなく、リモート研修やアーカイブ配信等を積極的に活用して情報収集や情報の共有化を図るとともに、会議室やフロアに設置した大型モニター等を用い、職員間で共有すべき情報を絶えず見える化・共有し、感染対策やリスクマネジメント、虐待防止などに関する情報提供やカンファレンス等に活用する。

## **5. 環境にやさしい介護施設の整備**

令和2年度に引き続き、CO<sub>2</sub> 排出削減と使用電力の削減、水資源やゴミ削減、プラスチック利用削減に積極的に取り組みます。施設内の住環境を改善、消費電力の大幅な削減に有用で、不必要な水道光熱費の見直しを行い環境に配慮した施設運営を職員全体で取り組んでいきます。職員休憩室、更衣室の改善やロッカーの更新を行い感染対策や安全衛生面の改善など職場環境の改善をすすめる。

## **6. 利用者の障害や状態に対応し、安全・安心でかつ楽しい食事を提供する**

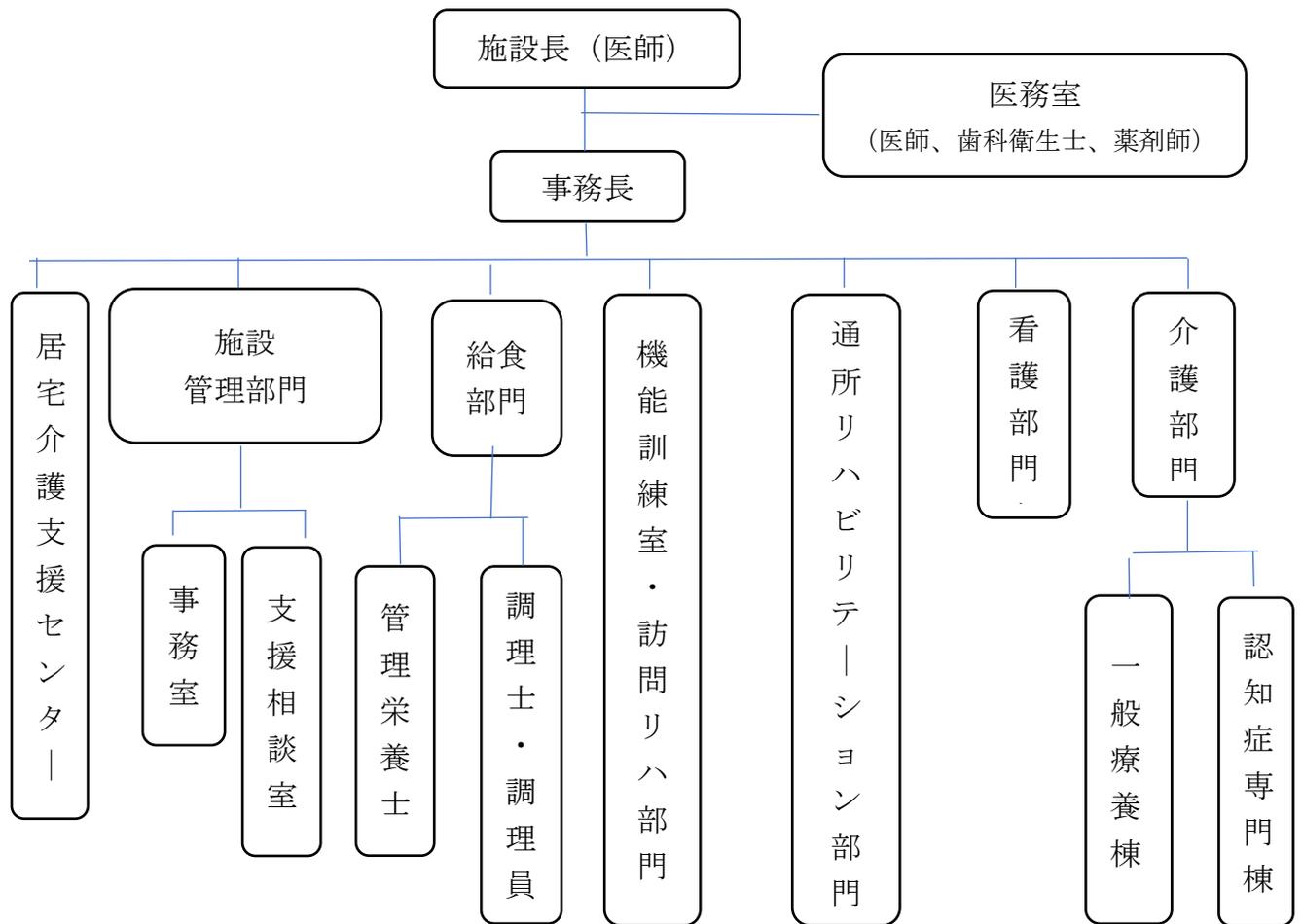
なぎさ苑の利用者に限らず、食事提供を行っている新しくオープンした天橋園のデイサービスやグループホームの利用者を含め、利用者の障害や摂食・嚥下状態に対応し、安全・安心でかつ栄養バランスのとれたメニューと楽しい食事を提供できるよう給食と栄養管理体制を整備していきます。

## 【今年度の課題と目標】

1. 在宅復帰・在宅生活維持支援施設としての機能強化と質の向上
  - ・ 支援相談員・施設ケアマネと居宅ケアマネの有機的な連携
  - ・ 訪問サービス強化の環境整備、リハビリ専門職と介護支援専門員の整備・協力体制
  - ・ 多様なサービス（訪問リハ、通所、短期入所、居宅）の連携した提供による在宅支援
  - ・ 多職種間の連携、チームケアの推進、情報ネットワーク活用と情報共有
  - ・ 令和3年度介護報酬改定に対応した体制整備
  - ・ 科学的介護情報システム（LIFE）に対応するシステム環境の整備と活用
  - ・ 丹後地域における在宅と介護の連携、人材育成。研修活動における中核となる
  
2. 人材育成・研修活動
  - ・ なぎさ苑の3つのケア方針の推進
  - ・ 介護支援専門員（ケアマネ）・相談員の養成、居宅ケアマネと施設ケアマネの連携
  - ・ 専門職（看護職、介護職、リハビリセラピスト、管理栄養士・調理員他）の研修
  - ・ 他部門研修・他職種との連携（リハビリ、口腔ケア、栄養管理指導）
  - ・ リスクマネジメント、感染対策、虐待防止、栄養マネジメント、救急対応、その他
  - ・ 法人内他施設との人事交流
  - ・ 施設内研修（OJT）と施設外研修（Off-JT）、研究会等への参加支援
  
3. 施設設備、備品の改修
  - ・ 施設内備品管理と更新：介護用品（ベッド、車いす）等の更新、低床ベッドの整備
  - ・ 介護ロボット導入の検討
  - ・ 公用車の維持、管理、更新
  - ・ CO2 排出削減へ向けた経営へ向けて設備の見直しを検討
  
4. 地域貢献
  - ・ 法人本部と連携・協力し、多職種専門職の宮津市総合支援事業への参加・協力
  - ・ 京都府立医科大学北部医療センターなどの地域医療機関との連携
  - ・ 地域サロン、勉強会、行政が行なう研修会等への職員の講師派遣
  - ・ 即戦力介護研修生の実習受入れ、学生の実習や体験学習の受入
  - ・ ハローワークや法人本部と協力したリクルート活動
  - ・ 認知症カフェ、サポーター養成講座、健康講座などの実施・継続
  
5. 経営基盤の確立
  - ・ 安定した利用者の確保（在宅復帰超強化型・稼働率の維持、通所、訪問リハ、居宅）
  - ・ 各専門職の知識・技術・研修に基づく各加算の取得
  - ・ 消費電力の節約と二酸化炭素排出量の削減、環境にやさしいゴミ・省資源対策
  - ・ 職員全員がコスト意識を持ち主体的に運営に参画し、業務効率化を図る
  - ・ 職員の健康管理意識を高める（健診の徹底、年休、特休）
  - ・ 法人本部への業務の集約化と効率化

【組織図】

介護老人保健施設リハ・ヴィラなぎさ苑



## 部署別事業計画

### (1) 支援相談室

平成 30 年度介護報酬改正で老健の在宅復帰・在宅生活維持支援の役割が明確化され、老健は 5 つの段階（超強化型、強化型、加算型、基本型、その他型）に類型化されました。

当施設では平成 30 年 6 月から超強化型を継続し、高い介護報酬を得て経営基盤を強化しており、令和 3 年度も引き続き、超強化型の継続と稼働率の向上に努めます。

また令和 3 年度の介護報酬改正では感染症等の対応強化、リスクマネジメントの強化等が掲げられ、各部署との更なる連携が必要となります。

感染等の対策については、面会制限等ご利用者、ご家族の理解、協力も必要となり、対面面会に代わるオンライン面会（施設へ来設、または自宅から）の推奨、普段の様子をこれまで以上に詳しくお伝えする、お便りの発行（定期・号外）を行ない、ご利用者、ご家族の皆様に安心して利用頂ける体制を構築していきます。

【在宅復帰・在宅療養支援等指標】	令和 2 年度見込	獲得点数	令和 3 年度目標
1. 在宅復帰率	平均 65%	20 点	毎月 50%以上
2. ベッド回転率	平均 18%	20 点	毎月 10%以上
3. 入所前後訪問指導	平均 45%	10 点	毎月 30%以上
4. 退所前後訪問	平均 45%	10 点	毎月 30%以上
5. 居宅サービス実施数	3 サービス	5 点	3 サービス継続
	通所リハ、訪問リハ、短期入所		
6. リハ専門職の配置人数 (PT. OT. ST の配置)	10 人	5 点	10 人以上
7. 支援相談員の配置人数	4 人	5 点	4 人以上
8. 重度者割合 (要介護 4+5)	33%	0 点	----
9. 喀痰吸引の実施割合	0 %	0 点	----
10. 経管栄養の実施割合	0 %	0 点	----
指標点数/合計		75 点	75 点以上
入所稼働率	97.0%		97.5%以上

#### 【算定要件】（基本型以上を算定するための要件）

- 退所時指導等（a. 退所時指導の実施、b. 退所後の状況確認<1 か月以内>）
- リハビリテーションマネジメント（リハビリ計画策定と評価の実施）
- 地域貢献活動：加算型以上は必須
- 充実したリハ（少なくとも週 3 回程度以上のリハビリ実施）：強化型以上は必須

【平成 30 年度新設項目】	令和 2 年度年度実績見込	令和 3 年度目標
入所前後訪問指導	90 回	90 回
褥瘡マネジメント加算	180 回	200 回
排泄支援加算	450 回	460 回

【過去4年間の実績（見込）と計画】

●入所（長期入所、短期入所）（定員：100名）、（短期入所は空床利用型）

	29年度	30年度	31年度	2年度見込	3年度計画
営業日数	365日	365日	366日	365日	365日
入所定員	100人	100人	100人	100人	100人
延べ定員	36,500人	36,500人	36,600人	36,500人	36,500人
長期入所延べ 人数（1日平均）	34,434人 （94.3人）	34,434人 （94.3人）	33,509人 （91.8人）	33,880人 （92.8人）	34,492人 （94.5人）
短期入所延べ 人数（1日平均）	1,141人 （3.1人）	1,165人 （3.1人）	1,505人 （4.1人）	1,455人 （4.0人）	1,095人 （3.0人）
延べ人数合計	35,575人	35,599人	35,014人	35,335人	35,587人
<b>稼働率</b>	<b>97.6%</b>	<b>97.6%</b>	<b>95.7%</b>	<b>96.8%</b>	<b>97.5%</b>
長期平均介護度	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0
短期平均介護度	2.6	2.8	2.9	2.8	2.8

	29年度	30年度	31年度	2年度見込	3年度計画
新規入所人数	78人	90人	95人	90人	90人
退所人数	171人	181人	193人	185人	170人
在宅復帰 （含在宅系施設）	94人	119人	111人	100人	110人
特養・老健	44人	25人	30人	40人	25人
入院	19人	25人	32人	20人	20人
死亡	14人	8人	16人	11人	10人
<b>在宅復帰率</b>	<b>59.9%</b>	<b>69.1%</b>	<b>62.0%</b>	<b>60.0%</b>	<b>毎月 50%以上</b>
（短期入所） 新規利用数	8人	26人	35人	30人	30人

【施設ケアマネ業務】

- （ア）電子カルテシステムとR4ケアマネジメント方式を積極的に活用し、在宅介護と施設介護の途切れない施設ケアマネジメントを行います。
- （イ）サービス担当者会議を定期的で開催し、他職種と協同してケアプランの作成と情報の共有に努めます。新しく設置される大型モニターを活用しケアプランカンファレンスの効率的な運用を図り、ペーパーレス化をすすめます。
- （ウ）全てのご利用者に対し、ご家族と各職種をつなぐ役割を担い、本人や家族の意向をケアプランに反映させます。とりわけ、看取り対象者に対しては緊密な橋渡し役を果たすよう努めます。

## 【支援相談員業務】

- (ア) 入所前インテークの段階から利用目的、利用期間を明確にし、効率的なベッドコントロールを行っていきます。
- (イ) 入所稼働率年間平均 97.5%を目標に、空床の効率的な活用を図ります。
- (ウ) 平成 30 年度の介護報酬改定で新設された超強化型の算定維持を目標に支援相談業務をすすめます。入所前後・退所前後訪問指導については他職種と連携し実施します。
- (エ) 他部門（居宅や通所、訪問リハ等）や地域の医療機関・介護施設や事業所などの各関係機関と積極的に連携し、新規利用者獲得に努めます。
  - ・ 北部医療センター等の医療機関と連携し、退院される方の入所を調整します。
  - ・ 随時、各居宅介護支援事業所や介護施設と連携を図り、効率的な運用に努めます。
  - ・ 新規利用者獲得のため定期的に各居宅介護支援事業所等を訪問し連携を強化します。
  - ・ 法人内外から相談員業務・ケアマネ業務に関心をもつ職員を募り、研修を支援するとともに、ケアマネ資格を取得できるよう指導・援助を行います。
- (オ) 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、地域貢献活動を行なっていきます。
  - ・ 須津なぎさカフェ（認知症カフェ）を毎月 1 回、開催します。
  - ・ 地域、小学校への認知症サポーター養成講座の派遣等を行います。

## (2) 介護部門

### (一般療養棟)

暮らしを支える専門職として、利用者に安心・安全な暮らしを提供するため、日々の暮らしに中で利用者向き合い、求められるケアを提供できるよう常に考え行動します。

- (ア) 多様な利用者のニーズに沿ったケアを提供するにあたり、多職種との連携を欠かさずことなく、自立支援や在宅復帰に向けて日常生活の中での生活リハビリを通してその方の持つ機能維持をサポート出来る様努めます。また、安心して暮らして頂ける様生活環境の整備、必要に応じたセンサー器具の選定を行います。昨年に引き続きナースコール、大型モニターを活用し記録を共有する事で統一したケアの提供に努めます。
- (イ) 認知症ケアについて、その方の個性、価値観や思い、人生の歴史を持つ主体として尊重し、心のこもった接遇を徹底します。その時々への対応力を高め、個々の思いに寄り添った関わりを実践する事で穏やかな暮らしの提供が出来る様努力します。また、認知症実践者研修、認知症リーダー研修への積極的な受講を推進し、認知症ケアについてのスキルアップを目指します。
- (ウ) 人生の最終段階に差し掛かられた看取り期のご利用者には、最期の時を穏やかに迎えて頂ける様、ひと時ひと時を大切にケアの提供を行います。また、介護士ならではの視点で看取り期への移行がスムーズに進むよう、多職種への発信にも力を入れます。
- (エ) 昨年に引き続き、感染症対策は利用者、職員、施設を守るためにも重要な課題となります。職員一人一人が責任のある行動をとる事、健康管理をしっかりと行い感染しない、させないを意識し予防に努めます。
- (オ) 職員一人ひとりが責任ある立場と認識し、接遇や業務改善に意欲的に取り組めるよう、お互いを認め向上できる関係作りを目指します。新人職員の育成についてもチーム全体で取り組むこと事で、仲間のために何が出来るかを考えられる職員となれるよう一人一人が努力します。

### (認知症専門棟)

認知症利用者の「安心」「安全」「安楽」な生活を守り、多職種協働のもと「機能回復・維持」「生きがい」に繋がるケアの提供ができるよう以下の取り組みを行います。

- (ア) 職員の積極的な人事異動を取り入れ、介護の視点の幅を広めるとともに、新たな築きを持ち、人材育成、モチベーションの維持、向上に努め、離職者をなくし、人材確保に努めます。また、新たに、ユニットの編成を行うと同時に、サブリーダーも再度検討し、細やかなサービスの提供が出来るよう努めます。
- (イ) 認知症専門棟として、「ユマニチュード」「パーソンセンターケア」の考えをしっかりと理解し、ご利用者が主体となるケアの実現に努めます。また、認知症実践者研修、認知症リーダー研修にも積極的に参加し、認知症加算維持、認知症の理解を深め、認知症高齢者の安心した生活が送れるよう努めます。
- (ウ) 感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、ノロウイルス感染症等）について、職員一人一人が高い意識を持ち、感染しない、させないためにも日頃の日常生活から体調管理、手洗い、消毒、うがい、マスクの着用に努めていきます。
- (エ) 看取りケアについて、その方の生きて来られた歴史を大切にし、本人、家族が安心して最期を迎えていただけるよう、日々の関わりを大切にし、多職種協働のもとケアに努めていきます。
- (オ) ホールや居室といった生活環境の整備、修繕を行いご利用者の安心、安楽な生活空間の確保、職員の業務の円滑化に繋げていけるよう努めます。また、センサーマットや低床ベッドの使用を見直し、ナースコール、モニターの活用、記録の共有、分析し、重大な事故が起こらないよう努めます。

### (3) 看護部門

全国的に新型コロナウイルスによる高齢者施設のクラスターが報告される中、外部からの持ち込み防止対策の実施、感染拡大予防対策を通し、感染症から利用者を守る対策に努めます。

- (ア) 新型コロナウイルス対策として、面会制限の調整、職員の体調管理を行い外部からの病原体の持ち込み防止に努めます。また、隔離対策、ゾーニング等のシミュレーションの実施や備品の整備、職員への个人防护具取り扱いに関する研修を通し感染症拡大防止対策について強化します。ワクチン接種については適切な情報提供や副反応への対策を通し安全、円滑に接種が行えるよう計画を立案します。
- (イ) 既往歴、病状の把握に努め、多職種協働のもと、異常の早期発見に努めます。慢性疾患の増悪時には速やかに対応し、安定した入所生活が継続できるよう努めます。
- (ウ) 褥瘡予防委員会の活動を強化し、全入所者への褥瘡予防対策、排泄支援の定期的評価の実施を行います。褥瘡の発生予防や状態改善等について評価を行う新たな取り組みにも着手します。スキンケアについても評価を実施し多職種で予防ケアに取り組みます。
- (エ) 人材育成についてはOJTプログラムの更新、外部研修会への参加支援、また伝達講習会を企画し看護職員のフィジカルアセスメント能力の向上を目指します。また、人事考課シートへのリーダー機能の組み込みについて検討します。
- (オ) 転倒による骨折、頭部外傷等の事故の減少を目指し、リスクアセスメントの実施に

よる客観的な評価、転倒時の衝撃緩和対策に取り組みます。また、誤認対策を継続し、職員への定期的な啓発を行い誤薬、ご配食防止に努めます。

- (カ) 看取り期における本人・家族との十分な話し合いや他の関係者との連携を一層充実させる観点から、看取りサポート研修看護師による ACP に関する研修会を開催し、意思決定支援への教育に取り組みます。
- (キ) 看護人材の安定による持続可能性の確保に向け、求人活動としてパンフレットの作成、HP の整備、SNS での情報発信に取り組みます。
- (ク) コロナ禍が続く中、直接家族と面会をして頂けない間はオンライン面会を活用し、状態説明等は来苑時や電話で行う事で離れて生活する家族の不安を取り除けるよう配慮します。

#### (4) 通所リハビリテーション部門

利用者が住み慣れた地域や自宅で安全・安楽に在宅生活が可能な限り継続できるよう、以下の項目に取り組みます。

#### 【過去4年間の実績と令和3年度目標】 定員 27 名

	29 年度	30 年度	31 年度	R2 年度見込	R3 年度計画
営業日数	256 日	257 日	259 日	259 日	259 日
延定員 (人)	6,717 人	6,939 人	6,993 人	6,993 人	6,993 人
実人数平均 (新規)	143 (15)	75.9 (24)	75.2 (24)	74.6 (26)	75 (25)
内 予防	21 (0)	14.7 (3)	13.9 (2)	10.9 (1)	12 (3)
延利用者数	5,801 人	6,105 人	5,801 人	5,664 人	6,000 人
<b>平均利用数/日</b>	<b>22.5 人</b>	<b>23.7 人</b>	<b>22.5 人</b>	<b>21.8 人</b>	<b>23.1 人</b>
<b>稼働率</b>	<b>83.5%</b>	<b>87.8%</b>	<b>83.5%</b>	<b>80.8%</b>	<b>85.5%</b>
平均介護度	2.0	2.1	2.2	2.2	2.2
リハマネ加算 I	909	935	909	882	900
<b>リハビリ提供 体制加算</b>	--	<b>3784</b>	<b>3992</b>	<b>4020</b>	<b>4020</b>
<b>短期集中 リハビリ (回)</b>	--	<b>128</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>認知症短期集中 リハビリ (回)</b>	--	<b>65</b>	<b>130</b>	<b>267</b>	<b>280</b>

#### 通所/介護予防事業

	29 年度	30 年度	31 年度	R2 年度見込	R3 年度計画
リハマネ加算	--	178	165	125	132
運動器機能向上 加算 225 単位	175	125	72	36	36
選択的サービス 複数実施加算 480 単位		56	93	86	96

- (ア) 利用開始前後に医師又はリハビリ専門職（PT・OT・ST）が自宅を訪問し、実際に生活されている生活環境や日常生活動作能力、家庭内での役割や趣味等を確認し、デイケア利用に対する具体的な生活課題を明確にし、多職種協働で作成した通所リハビリ計画をもとにリハビリやケアを提供します。
- (イ) 医師又はリハビリ専門職（PT・OT・ST）の評価のもと、病院や施設から退院、退所後に継続したリハビリが必要な方がスムーズに利用できるよう努めます。引き続き通所リハマネ加算や集中的なりハビリが継続して算定出来るように努め、必要な研修に参加し、整備をすすめていきます。とくに施設医との連携、リハビリセラピストの有機的な連携を図り、利用者の一人一人のニーズにマッチしたケアプランを作成し実践していきます。
- (ウ) 新規利用希望者が速やかに利用開始していただけるよう、居宅介護支援事業所や各関係機関との連携を図り、利用者数月平均 24 人以上を目標とし、稼働率の維持・向上を目指します。
- (エ) パワーリハビリマシンや個々の状態に応じた体操など自主トレーニングメニューを充実させ、既存の「受身的なりハビリ」から利用者が自分の人生や生活に対して自らが切り開いていく「主体的なりハビリ」へと行動変容に繋げていきます。又、1日の利用を通して、本人の能力が引き出せるよう「生活リハビリ」の視点を持ち、利用者自身が自分でできる喜びや達成感を感じられるように日々のケアを行っていきます。
- (オ) 利用者の些細な体調や精神面の変化に気づき、早期治療に繋がるよう家族やケアマネージャー、かかりつけ医などの医療機関、その他各介護保険サービス事業所、施設医との連携をさらに密にしていきます。
- (カ) 歯科衛生士の指導・協力をえて、適切な口腔衛生管理・口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎の予防、減少に努めます。また、口腔機能向上加算算定により選択サービス複数実施加算につなげ、利用者サービスの向上に努めます。**

#### (5) 機能訓練室

利用者様の身体面・精神面・ADL面の改善だけではなく、家屋評価やご家族への介護指導などを行い、利用者やそのご家族が住み慣れた地域で安心・安全に生活して頂けるようリハビリサービスを提供します。

また昨年と同様に、認知症カフェや各種事業所への訪問指導など地域に密着したサービスの質の充実を図り、入所リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリを軸に、利用者様が入苑生活から在宅まで、または医療入院から在宅復帰まで専門的なりハビリサービスを途切れることなく安心して利用できるよう努めます。

その他、**リハビリテーションの専門職としてより質の高いサービスが提供できるよう個人資質を向上するよう努めるとともに、セラピストが算定可能な加算には積極的に介入できるよう柔軟に対応していきます。**

【実績と令和3年度目標】（実施回数で示す。一回につき240単位加算）

	29年度	30年度	31年度	2年度見込	3年度計画
<b>短期集中リハ加算</b>	<b>5,308</b>	<b>6,468</b>	<b>5,570</b>	<b>5,692</b>	<b>5,700</b>
<b>認短集中リハ加算</b>	<b>3,283</b>	<b>4,027</b>	<b>3,417</b>	<b>3,466</b>	<b>3,500</b>
入所・個別リハ（加算なし）	7,828	10,125	10,200	10,411	10,400
短期入所個別リハ加算	337	409	430	557	560
<b>経口維持加算Ⅰ</b>	<b>197</b>	<b>305</b>	<b>269</b>	<b>265</b>	<b>270</b>
<b>経口維持加算Ⅱ</b>	<b>197</b>	<b>305</b>	<b>269</b>	<b>265</b>	<b>270</b>
通所リハ/実績・目標	※通所リハビリテーション部門参照				

【入所リハ】

(ア) 短期集中リハビリ

在宅復帰・在宅生活維持支援施設として、短期集中リハビリや認知症短期集中リハビリについては、可能な限り加算を算定し、質の高いリハビリを多くの利用者様に提供し、生活動作能力の改善・在宅復帰を目指します。

(イ) 個別リハビリ

超強化型維持のため入所者全員に個別リハビリの週3回提供を維持していきます。

(ウ) 食事観察・指導

安全においしく食べて頂けるよう食事形態や介助方法の指導を行い、食事観察会議を定期的開催し、必要な方には経口維持加算を算定します。

(エ) 入所前後、退所前後訪問指導

退所先となる自宅を退所前後ばかりでなく、入所前後にも訪問して家屋や周辺環境・必要な生活動作を把握し、入所中のリハビリ計画に反映させることを通して、退所後の生活に入所中のリハビリに活かします。入退所を繰り返して継続的に利用される方のリハビリ計画や在宅生活へのアドバイスに反映させます。

(オ) 職員指導

前年度に引き続き、職員の腰痛予防・利用者様の力を生かした安全な介護サービスの提供を目的に職員指導を行います。

(カ) 備品管理

車椅子・クッション・歩行車・リフト等安全に使用できるようメンテナンスや利用者に合わせて調整を行います。必要に応じて自助具や福祉機器の導入を提案します。

【短期入所リハ】

(ア) 在宅生活維持支援施設として、個別リハビリについては、可能な限り加算を算定し、質の高いリハビリを多くの利用者様に提供し、在宅生活が長く継続できるよう努めます。また、必要に応じ福祉用具や介助方法の変更・自主トレメニュー等の提案も行います。

(イ) 次回の入所や短期入所につながるよう、通所リハビリや訪問リハビリを活用するよう法人内外の関係機関との連携を図ります。

【通所リハ】

- (ア) リハビリ専門職（PT 又は OT）を通所リハに配置してリハビリを実施することにより、ADL を維持して在宅での生活を長く続けられるようサポートします。
- (イ) 施設医師、通所の相談員・介護職員と有機的に連携し、リハビリマネジメントのもと、利用者のニーズにマッチしたサービスを提供していきます。
- (ウ) 集団リハビリを実施しながら、利用者からのニーズがあり加算要件に合致する利用者に対しては個別に短期集中リハビリ、認知症短期集中リハビリを行います。

### 【訪問リハ】

	29年度	30年度	31年度	2年度見込	3年度計画
営業日数	257日	257日	257日	259日	259日
職員数（常勤換算）	1.5人	2.0人	1.2人	1.8人	2.0人
契約人数	32人	32人	25人	27人	31人
内 予防	5人	3人	2人	3人	2人
延提供回数	2,100回	4,446回	3,469回	4135回	4150回
平均提供数／日	8.17回	17.29回	13.49回	15.96回	16.02回
平均介護度	2.0	2.8	2.9	2.8	2.8

（1回＝1単位 20分）

	29年度	30年度	31年度	2年度見込	3年度計画
新規契約介護	32人	32人	9人	12人	16人
予防	5人	5人	3人	1人	2人

※令和2年度 9月よりコロナ感染症予防対策の為、職員体制を柔軟に対応

- (ア) 個々のケアプランを基に、生活課題や利用目的・リハビリ目標を明確にし、ご自身の人生や生活に対して自らが切り開いていく「主体的なリハビリ」へと行動変容を促していけるよう介入していきます。
- (イ) 医療機関（主治医）や地域包括支援センター、居宅介護支援事業等の関係機関の信頼を得て、安心して依頼しやすい事業所となるよう努めます。
- (ウ) 利用者の在宅生活の期間を通じ、そのADLを維持できるよう努め、居宅介護部門や他事業所との連携を図ることにより、次の入所や通所の利用につながるよう援助を行います。在宅強化型の維持、超強化型の獲得できるよう基盤整備に努めます。

### (6) 給食部門

昨年度に引き続き令和3年度も個々のニーズにあった栄養管理や衛生面に注意した安心安全な食事の提供に努め、管理栄養士と調理員の積極的で緊密な連携により、ご利用者のなぎさ苑での生活が豊かになるよう努めます。

	29年度	30年度	31年度	2年度見込	3度計画
栄養マネジメント 加算（入所）	34,067	34,417	33,438	33,800	34,500 (基本へ集約)
療養食加算（入所）	7,532	27,364 (9,121x3)	27,958 (9,319x3)	19,300 (6,433x3)	24,000 (8,000x3)
療養食加算（短期）	410	1,163	1,280	1,400	1,300

- (ア) 令和3年6月より完全施行される HACCP の対応を検討し取り組みを進め温度管理等に対する職員の意識を今以上に高めていきます。
- (イ) 給食部からの提供食数増に合わせ、全ての業務がより円滑に行えるよう職員全員で考え業務見直しに取り組み、円滑に対応できるようにします。又施設外での研修にも参加しながら嚥下食のあり方・調理法の研究に取り組みます。
- (ウ) 利用者個々のニーズを把握し、必要な療養食と適切な形態の食事を提供する。日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類 2013 に関する情報を収集し、誤嚥リスクの高い利用者に安全な食事メニューと食形態を提供できるよう体制を整える。また、施設内の他職種への情報提供に努める。
- (エ) 食事観察会議を定期的で開催し、介護・看護職員、言語聴覚士、歯科衛生士との円滑なコミュニケーションに努め、利用者の誤嚥予防に資する食事の提供に努め、やわらか食やソフト食の充実にも取り組みます。
- (オ) 検食の記録を集約して施設全体に情報提供を行い、栄養マネジメント委員会などを活用して改善策などを検討する。
- (カ) 給食部門の職員全員が参加する部署別会議を定期的で開催し、管理栄養士、栄養士、調理員などの連携とコミュニケーションを図り、OJT チェックシートの適宜実施、管理栄養士をはじめとした専門職の人材育成、研修への積極参加、スキルアップ等、働きやすい環境整備を図りチーム力向上を図ります。
- (キ) 保健所等の指導に対応し、業務改善に取り組みます。調理室の清潔保持、整理整頓に努め、感染症等が発生しないよう防止対策に努めます。

#### (7) 医務室（医師、歯科衛生士、薬剤師）

医師の指導の下、看護部門の協力をえて薬局および医務室の管理を担当します。

薬局（医師、薬剤師）は医薬品の管理を担当し、ジェネリック医薬品の導入をすすめコストの低減を図ります。定期処方（2週間）の度に見直しを行い、利用者の病状の変化に機敏に対応した臨時処方にも対応できるよう採用医薬品の無駄のない管理に努める。インフルエンザワクチンや甲状腺ヨード剤の管理に加え、新型コロナワクチンに関する新しい情報提供やワクチンの管理と接種も担当する

診察室（医師、看護師、歯科衛生士）は、必要な医療器材の整備と管理を担当し、利用者の病状の変化に機敏に対応できるよう情報共有、整理整頓に努める。

歯科衛生士は、歯科医の協力をえて、利用者の口腔ケアについて積極的に指導的役割を担い、口腔衛生管理（体制）加算を維持できるよう努める。訪問歯科診療のための連

携を行い、スタッフへの情報伝達や指導に努める。

	29年度	30年度	元年度	2年度見込	3度計画
所定疾患施設療養費	238	334	247	130	200
緊急時治療加算	5	0	4	0	10
ターミナルケア 加算（人数）	8人	5人	16人	9人	10人
口腔衛生管理体制 加算（入所）	1,269	1,290	1,258	1,270	廃止
口腔衛生管理 加算（入所）	1,027	1,111	1,064	1,130	1,200

#### (8) 事務室

令和3年度の介護報酬改正に係る対応を行っていきます。加算算定に必要項目や減算対象となる項目対応するため内容の精査と対応する体制を検討し提案していきます。特にLIFEに関わる環境整備と今後の活用へ向けて、情報ネットワーク委員会を通じて多職種と協力し進めていきます。

令和3年度はCO2排出削減に関わる取り組みを継続し、施設設備改修等計画的に進めていくよう中期計画を検討していきます。老朽化した施設設備については、修理などの対応を行っていきます。

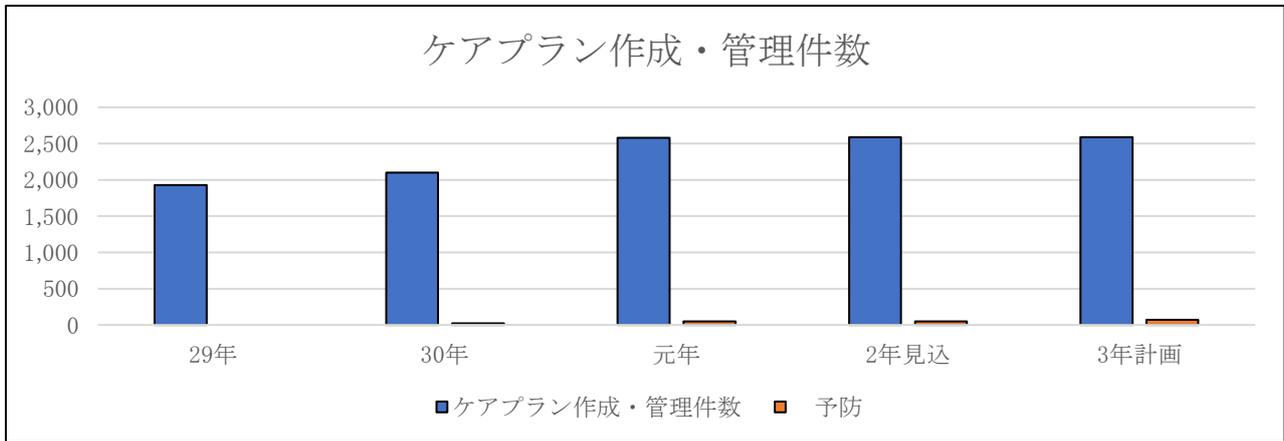
法人本部の業務の集約と効率化に伴い、事務業務の見直しをすすめます。

全国の関係団体、自治体や消防署、地域の医療機関などとの連携業務を担当し利用者の安全、安心に努め、防災・危機管理体制の見直し・整備をすすめる。

#### (9) 居宅介護支援事業所

住み慣れた地域で要介護状態となっても、個人の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、自立支援を目指した公正中立なケアマネジメントや、必要な相談・援助を行います。

	29年度	30年度	31年度	2年度見込	3年度計画
<b>職員数（常勤）</b>	<b>5人</b>	<b>5人</b>	<b>6人</b>	<b>6人</b>	<b>6人</b>
相談件数	17,897	20,400	24,200	24,300	24,500
相談件数／月	1,491	1,700	2,016	2,025	2,040
ケアプラン作成・管理件数	1,928	2,100	2,580	2,590	2,590
予防	0	24	48	50	70
ケアプラン作成・管理件数／月	<b>160</b>	<b>175</b>	<b>220</b>	<b>220</b>	<b>220</b>
予防	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>10</b>	<b>10</b>
平均介護度	2.1	2.1	2.0	2.0	2.1



- (ア) 宮津市及びその近隣地域（与謝野町）の住民を対象とし、広く信頼される事業所を目指します。
- (イ) サービスの必要性や優先性など、自立支援の観点から見直しを行い、利用者本位の効率的で適切なケアプランの作成に努めます。利用者への十分な説明を行い、複数事業所からの選択の権利保護に努めます。
- (ウ) 「在宅で看取りまでできる支援」を目指し、医療介護を切れ目なく提供できる在宅生活を支える、かかりつけ医や地域医療機関との情報連携を強化します。
- (エ) 各種外部研修や介護支援専門員研究会などに参加し、外部関係機関との交流の機会を通して、社会資源の開発などを目的とした提案を積極的に行うなど、事業所加算算定事業所としての役割を果たします。
- (オ) 地域のケアマネの資質向上のため事例検討会や研修会を開催します。
- (カ) ケアマネ6名体制を維持し、給付管理件数の増加に努めるとともに地域包括と連携し、要支援者、対応困難事例を含む新規受け入れに積極的に取り組みます。
- (キ) 感染症予防を含めた医療安全に対する意識を高める、コロナ感染予防の取り組みを実施していきます。

#### 【会議 開催計画】

会議名	開催予定日・回数	出席対象者
業務運営会議	毎月20日、前後・12回	施設長、事務長、各主任
入所検討会議	毎週火曜日・52回	施設長、支援相談員、各部署
看介護主任会議	毎月20日前後・12回	看護、介護主任
フロア会議	毎月フロア毎・12回	フロア所属介護、看護職員
ユニット会議	毎月各ユニット・12回	各ユニット職員
居宅会議	毎週・52回	居宅介護支援専門員
部署別会議	毎月末までに・12回	部署別職員

#### 【委員会活動】

委員会名	委員名	開催予定・回数
衛生委員会	施設長、各任命職員	毎月第2週金曜日・12回
サービス向上委員会	事務長、各任命職員	毎月第2週木曜日・12回
栄養マネジメント委員会	施設長、各任命職員	毎月第1木曜日・12回

認知症ケア委員会	各任命職員	毎月第1か第2月曜日・12回
リスクマネジメント委員会	施設長、各主任	業務運営会議後・12回
感染症対策委員会	施設長、各主任	業務運営会議後・12回
身体拘束適正・虐待防止委員会	施設長、各主任	業務運営会議後・12回
褥瘡対策委員会	施設長、各主任	業務運営会議後・12回
職員研修委員会	施設長、各主任	業務運営会議後・12回
情報ネットワーク委員会	施設長、各任命職員	毎月第1か第2月曜日・12回
合同排せつ委員会	各任命職員	毎月第3水曜日・12回
広報WG会議	各任命職員	毎月
転倒対策WG会議	各任命職員	毎月
苦情対応委員会	施設長、事務長、各主任	年2回定期開催、適宜臨時開催

### 【事業所内研修・外部研修参加計画】

#### ○内部研修

研修名	開催予定日	参加対象者
職員全体会議	5月開催・年1回	全職員
身体拘束廃止虐待防止委員会	年2回以上	全職員
リスク委員会	年2回以上	全職員
感染症委員会	年2回以上	全職員
衛生委員会	1月	全職員
各種研修会	月1回以上	職員研修委員会が研修会や実習を企画、上記各委員会と協力し計画的に開催する
新採用者研修	採用時・随時	施設オリエンテーション 他部署研修

#### ○外部研修

研修名	開催予定日	参加対象者
京老健・管理者部会	定期、臨時随時	施設長、事務長、各主任
京老健・看護介護部会	定期、臨時随時	看護職員、介護職員
京老健・リハビリ部会	定期、臨時随時	機能訓練室
京老健・ケアマネ部会	定期、臨時随時	施設ケアマネ・居宅ケアマネ
京老健・相談員部会	定期、臨時随時	相談室
京老健・栄養部会	定期、臨時随時	管理栄養士
全老健・各職種研修会	定期、臨時随時	当該職種
地域リハビリテーション 丹後圏域連絡会	定期、臨時随時	機能訓練室
宮津市地域ケア会議	定期、臨時随時	居宅介護支援事業所、機能訓練室
京都府看護協会研修センター	定期、臨時随時	看護職員